WALLSTATUS

使用・インストールマニュアル

Web ページ、ダッシュボード、文書、画像、ライブ配信を 1 台または複数のモニターに全画面表示し、Web の管理パネルで管理します。

バージョン 1.20.0

Windows 11 · macOS 11 以降

2026 年 11 月

目次

1	WallStatus とは	機能と動作要件
2	Windows PC へのインストール	インストール、自動起動、アンインストール
3	Mac へのインストール	インストール、macOS のセキュリティ、アンインストール
4	ビデオウォール PC の準備	自動ログイン、電源、複数モニター
5	管理パネル	ログイン、画面、状態
6	モニターとレイアウト	物理画面、レイアウト、手動ローテーション、一時停止とスキップ
7	コンテンツ	種類、X アカウント、問題発生時のみ表示されるコンテンツ
8	ユーザー名とパスワード	サイトへの自動ログイン
9	ライブ配信、ストリーミング、カメラ	YouTube、Twitch、HLS、IP カメラと Web カメラ、Teams
10	文書のローテーション表示	PDF、Word、Excel、PowerPoint、画像
11	RSS フィードとティッカー（流れる字幕）	重ねて表示するニュース、複数モニターにまたがる 1 本の帯
12	モニター上のメッセージ	重要なお知らせ、予約・サウンド付き、管理パネルとサイトから
13	サーバーモニター	チェック、通知、履歴、状態画面
14	帯域モニター	Cyberbox のダウンロード・アップロードのグラフ、ping、しきい値
15	拠点マップ	イタリア上の拠点、接続、流れる ping
16	携帯電話とブラウザーからの表示	スマートフォンと http://…/Monitor01 でモニターを表示
17	ユーザーと権限	各ユーザーができること、有効期限、映像ストリームへのアクセス
18	設定とアカウント	マイアカウント、ネットワークからのアクセス、再起動とシャットダウン（予約も可）
19	ポート切り替え機能とプロキシ	リモート デスクトップと管理パネルを同じポートで、インターネットへの接続

20 日常の使い方 — キーボードショートカット、実用例

21 トラブルシューティング — よくある質問

22 データ、バックアップ、セキュリティ — ファイルの場所、コマンドライン

23 コンテンツのスケジュール — 指定日時にモニターにコンテンツを表示、繰り返しも可

24 音声、音量、サウンドアラート — PC とテレビの音量、サウンド、イベントのアラート

25 ビジュアル Traceroute — ビデオウォール PC からアドレスまでの経路をマップ上に、モニターにも表示

26 外観と企業アイデンティティ — 色、ロゴ、フォント、モニター上の日付と時刻、デスクトップの壁紙

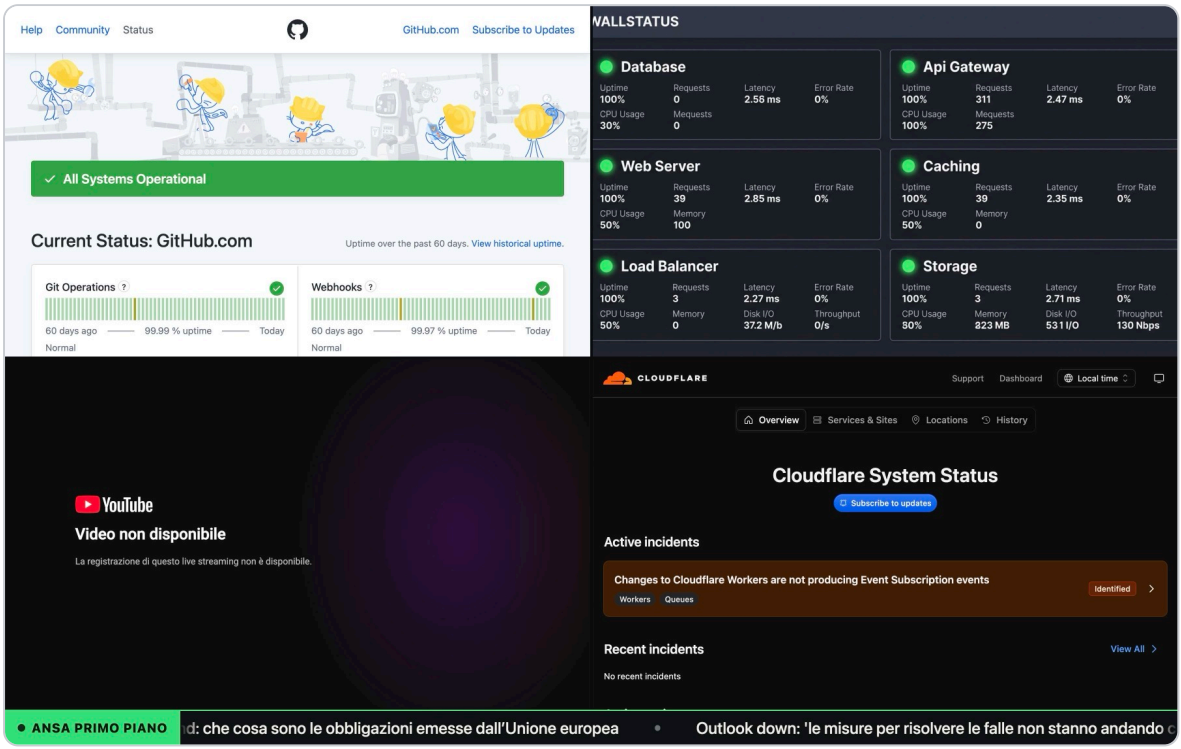
27 管理パネルのヘルプ — このマニュアルをいつでも手元に

28 PC を共有 — リモート PC の画面をモニターに表示

29 パネルからの更新 — 新しいバージョンをアップロードしてウェブから更新

1 WallStatus とは

WallStatus は、1 台または複数の画面に接続された Windows PC や Mac をビデオウォールに変えます。電源を入れると選択したページやコンテンツを全画面で表示し、自動的に更新し、Web の管理パネルから管理できます。



例: 2×2 グリッドのモニターに、2 つのステータスページ、画像、YouTube のライブ配信を表示。下部には RSS フィードのニュースが流れています。

バージョン 1.20 の新機能

- **パネルからの更新**（試験中のタブ）：設定タブで新しいバージョンの ZIP をアップロードすると、WallStatus はバックアップを残して自動的に更新・再起動します（第 29 章）。

バージョン 1.19 の新機能

- **PC を共有**（テスト中のタブ）：リモート PC がリンクを開き、ユーザー名とパスワードを入力して、何もインストールせずにモニターに画面を表示します。モニターの内容は一時停止し、共有終了時に自動的に戻ります（第 28 章）。
- **HTTPS**（パネルと同じポート。共有に必要）：WallStatus が自ら証明書を生成し、自動で更新します。ポート切替器は HTTPS の通信も転送します。

バージョン 1.18 の新機能

- **マップ**：**住所**から拠点の位置を設定（例：*Via Recanati, 26, 98035 Giardini Naxos ME*）、マウスホイールまたは +/– ボタンで**ズーム**、チェックボックスで**複数の拠点をまとめて削除**（第 15 章）。
- **ログ**：管理パネルで行った各操作に、それを実行した**ユーザー**が表示され、ユーザーとテキストで絞り込めます。**30 日**より古いイベントは自動的に削除されます（第 21 章）。
- **マニュアル**：目次の項目をクリックすると、その章に直接移動します（PDF でも同様）。

バージョン 1.17 の新機能

- **次回ログイン時のパスワード変更の強制**（Active Directory と同様）：ユーザーの作成時または編集時に有効にします。ユーザーはログインするとすぐ、ほかの操作の前に新しいパスワードを設定する必要があります（第 17 章）。
- **パスワードのリセット**：管理者は、ほかの管理者を含むすべてのユーザーのパスワードをリセットでき、初回ログイン時の変更を必須にすることもできます。開いているセッションはすぐに終了されます（第 17 章）。

バージョン 1.16 の新機能

- **9 言語に対応**: イタリア語、英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、日本語、アラビア語。管理パネル、Web ビューと携帯電話ビュー、モニター画面、マニュアルに対応しています（第 18 章）。
- **XML ファイルによる言語**: 各言語は 1 つのファイルで、管理パネルからダウンロード、修正、再アップロードできます。プログラムを更新せずに新しい言語を追加できます（第 18 章）。
- **公式サイト** `wallstatus.bytenooks.com`: ダウンロード、マニュアル、全言語の XML 言語ファイルを提供しています。

バージョン 1.15 の新機能

- **外観のカスタマイズ**: 会社のロゴ、名前、アイコン、フォント（企業フォントも可）、管理パネル、ビュー、モニター画面、メッセージ、待機ページの**すべての色**を、既製のテンプレートとともに設定できます（第 26 章）。
- **モニター上の日付と時刻**: すべてのモニターまたは選択したモニターに時計を表示できます。6 つの位置から選べ、色、サイズ、フォントも選択できます（第 26 章）。
- 物理画面の**デスクトップの壁紙**を管理パネルから設定できます。Windows では画面ごとに異なる壁紙も設定できます（第 26 章）。

バージョン 1.14 の新機能

- **ビジュアル Traceroute**: ビデオウォール PC からアドレスまたは監視中のデバイスまでの経路を、ホップごとに世界地図上に、管理パネルまたはモニターに表示します（第 25 章）。
- **問題発生時のみ表示されるコンテンツ**: Web ページ、RSS フィード、X アカウントは正常な間は非表示のままで、何かを通知すると選択したモニターに自動的に表示されます（第 7 章）。
- コンテンツに **X アカウント**（例: https://x.com/MSFT365Status）を追加し、最近の投稿を全画面で表示できます（第 7 章）。
- 指定した時刻と曜日に PC を**シャットダウン・再起動するスケジュール**、および *PC をシャットダウン…* ボタン（第 18 章）。

バージョン 1.13 の新機能

- 管理パネルから（別のコンピューターからも）**WallStatus と PC を再起動**できます。取り消し可能なカウントダウン付きです（第 18 章）。
- **各モニターの閲覧者**: モニター（仮想モニターも含む）ごとに異なるユーザーを、モニターのカードから直接設定できます（第 6 章）。
- **音声**: PC と各オーディオ出力（HDMI で接続されたテレビ）の音量、ネットワーク接続テレビ（Sony、LG、Samsung）の音量、10 種類の同梱サウンドと独自サウンドのアップロード、エラー・復旧・メッセージなどの**サウンドアラート**（第 24 章）。音声をビデオウォールで再生するか Web ビューのブラウザーで再生するかを選択できます（第 6 章、第 16 章）。
- 日時と**サウンド**を選べる**予約メッセージ**（第 12 章）。
- **スケジュールされたコンテンツ**: 指定日時、毎日、または特定の曜日に、モニターにコンテンツを表示します（第 23 章）。

バージョン 1.12 の新機能

- ローテーションする各モニターの**手動ローテーション**と ⏮ ⏯/▶ ⏭ 操作: 管理パネル、Web ビュー、ビデオウォールのキーボード、メディアキー、プレゼンター リモコンから操作できます（第 6 章）。
- **カメラと Web カメラ**: RTSP ストリーム（Hikvision、Dahua、Axis、Reolink、Tapo、UniFi Protect など）、ユーザー名とパスワード付きの MJPEG とスナップショット、USB Web カメラ。メーカー別の入力ガイド付き（第 9 章）。オンライン動画に **Twitch** と **Dailymotion** も追加。
- **拠点マップ**: イタリアのマップ上に拠点を表示し、接続と、遅延に応じて色分けされた流れる ping を表示します（第 15 章）。
- **ヘルプ**: このマニュアルは管理パネルの *ヘルプ* タブから閲覧でき、PDF でダウンロードできます（第 27 章）。

主な機能

- **最大 6 台の物理モニター**。それぞれ独自のレイアウトを設定できます: 全画面、時間によるローテーション、2 分割、3・4・6 枠のグリッド。さらに Web リンクと携帯電話からのみ表示される**仮想モニターを無制限**に追加できます。
- **コンテンツ**: Web ページとダッシュボード、画像、動画、YouTube・Twitch・Dailymotion のライブ配信、エンコーダーの HLS ストリーム、**IP カメラ**（RTSP、MJPEG、スナップショット）と **USB Web カメラ**、Microsoft Teams のイベントと会議。
- 管理パネル、Web ビュー、ビデオウォールのキーボードから一時停止、次・前のコンテンツに切り替えられる、**時間による、または手動のローテーション**。
- **拠点マップ**: イタリアのマップ上に拠点の状態を表示し、流れる ping でアニメーション表示される接続。
- 任意の間隔で各ページを**自動更新**。
- **ユーザー名とパスワード**を暗号化して保存し、ログインが必要なサイトに自動入力。
- **文書のローテーション表示**: PDF、Word、Excel、PowerPoint、画像、テキストを 1 ページずつ表示します。アップロード、パスワードで保護された Web アドレス、またはフォルダーから読み込めます。
- 1 つまたは複数の **RSS フィード**のニュースを、あらゆるコンテンツの上に表示する**ティッカー（流れる字幕）**。並んだ複数のモニターでは**1 本の連続した帯**として流れます。
- **モニター上のメッセージ**: 選択したモニターの最前面に重要なお知らせを表示します。管理パネルから、または携帯電話からもアクセスできる自社サイト上の非公開ページから送信できます。
- **ポート切り替え機能**（Windows）: リモート デスクトップ、管理パネル、その他のアプリケーションを同じポートで提供し、変更が確定されない場合は自動的に元に戻します。

- **携帯電話ビュー**: すべてのモニターをライブ映像でスマートフォンにローテーション表示。
- **ブラウザーからの表示**: 各モニターが HDMI ケーブルに出力している内容を `http://<indirizzo>:8088/Monitor01`、`/Monitor02`… でライブ表示できます。`/Monitor` ではすべてのモニターをローテーション表示します。
- コンテンツの追加・削除・有効化・無効化を行う、**ユーザー名とパスワードで保護された Web 管理パネル**。ネットワーク内の別の PC からも使用できます。
- **サーバーモニター**: サーバーとサービスの定期チェック（ping、ポート、サイト、証明書、ディスク、バックアップ、Windows サービスなど）。Pushover、メール、Telegram で通知し、状態画面をモニターに表示できます。
- **帯域モニター**: Cyberbox（SNMP または SSH）のダウンロード・アップロードのグラフを ping とともに表示し、使用帯域がしきい値を超えると枠が黄色または赤色になります。
- **充実したユーザー管理**: ユーザーごとに、できること（コンテンツ、モニター、ディスプレイ、設定、ログ、映像の閲覧、管理）、閲覧できるモニター、アカウントの有効期限を設定できます。
- 電源オン時の**自動起動**と、問題発生時の自動再起動。

動作要件

	Windows PC	Mac
システム	Windows 11（Windows 10 も可）	macOS 11 Big Sur 以降、Apple Silicon または Intel
ブラウザー	Microsoft Edge（Windows に標準搭載）	Google Chrome または Microsoft Edge（Safari は使用できません）
インストール	追加でインストールするプログラムはありません。WallStatus は単一のファイルで、管理者権限は不要です。	
ネットワーク	表示するサイトへの接続。別の PC から管理するには、2 台のコンピューターが同じネットワーク上にある必要があります。	

> **仕組みの概要**
> WallStatus はコンピューターにすでにあるブラウザー（Edge または Chrome）を、ビデオウォール専用の別プロファイルで使用します。ユーザーのお気に入り、パスワード、履歴には影響しません。モニターごとにバーのないウィンドウを開き、正しい画面に全画面表示します。

2 Windows PC へのインストール

Windows 用パッケージは **WallStatus-1.20.0-Windows.zip** ファイルです。

パッケージの内容

ファイル	用途
Installa WallStatus.cmd	現在のユーザー向けにプログラムをインストールし、ショートカットを作成して自動起動を有効にします
Torna al wall.cmd	リモート デスクトップ セッションの終了時に、セッションをビデオウォールの画面に戻します（第 20 章）
Aggiorna WallStatus.cmd	インストール済みのバージョンを、すべてを保持したままバックアップを取って更新します（下記参照）
Disinstalla WallStatus.cmd	プログラム、ショートカット、自動起動、および（選択により）データを削除します
WallStatus.exe	プログラム本体。インストールせずに直接起動することもできます
Manuale WallStatus.pdf	このマニュアル

ガイド付きインストール（推奨）

1. **ZIP を展開する**
   ZIP ファイルを右クリック → **すべて展開...** → **展開**。ZIP を展開せずに中のファイルを起動しないでください。

2. **インストールを開始する**
   Installa WallStatus.cmd をダブルクリックします。黒いウィンドウが開きますが、正常な動作です。
   青い警告 *「Windows によって PC が保護されました」* が表示された場合は、**詳細情報**をクリックしてから**実行**をクリックします。この警告は、プログラムに商用のデジタル署名がないために表示されます。

3. **自動起動**
   「Avviare WallStatus automaticamente all'accensione del PC?」（PC の起動時に WallStatus を自動的に起動しますか？）という質問に対して、ビデオウォール専用 PC の場合は `S`、それ以外は `N` を押します。

4. **初回起動**
   完了すると WallStatus が自動的に起動し、数秒後にモニターにサンプルページが全画面表示されます。`Ctrl`+`Shift`+`A` を押して管理パネルを開きます。初回は**管理者アカウントの作成**を求められます（第 5 章）。

インストールによりプログラムが `%LOCALAPPDATA%\Programs\WallStatus` にコピーされ、次のものが作成されます:

- デスクトップの **WallStatus** ショートカット
- スタートメニューの **WallStatus** フォルダー: WallStatus、*WallStatus – solo pannello*（ディスプレイなしで管理パネルを開く）、*Chiudi i display e apri il pannello*（ディスプレイを閉じて管理パネルを開く）、*Chiudi WallStatus*（WallStatus を終了）、*Torna al wall (chiudi Desktop remoto)*（ビデオウォールに戻る）、マニュアル、アンインストール
- デスクトップの **Torna al wall (chiudi Desktop remoto)** ショートカット

インストールせずに使用する（ポータブル）

代わりに **WallStatus.exe** を任意のフォルダー（USB メモリも可）にコピーし、ダブルクリックで起動することもできます。設定はプログラムと同じ場所の `data` サブフォルダーに保存されます。自動起動は管理パネル（設定 → 起動）で有効にします。

新しいバージョンへの更新

更新しても、設定、ユーザー、モニター、コンテンツ、アップロード済みの文書、保存されたパスワード、自動起動の設定は保持されます。プログラムを置き換える前に、自動的に**バックアップ**が作成されます。

1. **新しいバージョンをダウンロードして展開する**
   新しいバージョンの ZIP（例: `WallStatus-1.20.0-Windows.zip`）をビデオウォール PC にコピー → 右クリック → **すべて展開...**。事前に WallStatus を終了する必要はありません。スクリプトが行います。
2. **更新を開始する**
   展開したフォルダーで **Aggiorna WallStatus.cmd** をダブルクリックします（「Windows によって PC が保護されました」が表示された場合: *詳細情報* → *実行*）。
3. **確認する**
   スクリプトがインストール済みのバージョンと新しいバージョンを表示します。**S** を押します。
4. **待つ**
   スクリプトは設定を `data\backup\<data-ora>-v<versione>` に（以前のプログラムとともに）コピーし、WallStatus を正常に終了してファイルを置き換え、再起動します。ディスプレイは数秒後に自動的に再開します。
5. **確認する**
   管理パネル → 設定 → 詳細設定: **バージョン**が新しいものになっていることを確認します。モニターが以前と同様にコンテンツを表示していることを確認してください。

> **以前のバージョンに戻す**
> WallStatus を終了し（`Ctrl`+`Alt`+`Shift`+`Q`）、バックアップフォルダーの `WallStatus-precedente.exe` を `%LOCALAPPDATA%\Programs\WallStatus\WallStatus.exe` の代わりにコピーし（`WallStatus.exe` に名前を変更）、必要に応じて `data` フォルダーの `config.json` もコピーします。WallStatus を再起動します。同じパスはスクリプトの最後にも表示されます。

新しいバージョンの **Installa WallStatus.cmd** を再度実行しても更新できます（データは保持されますが、自動起動の選択を再度求められ、バックアップは作成されません）。WallStatus をインストールせずに（ポータブルで）使用していた場合は、そのフォルダーの `WallStatus.exe` を置き換えて起動するだけです。

いずれの場合も、異なるバージョンが実行中に新しいバージョンを起動すると、以前のバージョンは自動的に終了されて置き換えられます（同じバージョンの場合は管理パネルが開くだけです）。

Windows ファイアウォール

ネットワークからのアクセスが無効な間、WallStatus は外部からの接続を受け付けず、ファイアウォールも何も尋ねません。他の PC からの管理を有効にすると（第 18 章）、Windows が許可を求めることがあります。**プライベート ネットワーク**を選択し、**アクセスを許可する**で確定してください。

アンインストール

1. **アンインストールを開始する**
   スタートメニュー → WallStatus フォルダー → **Disinstalla WallStatus**、またはパッケージ内の **Disinstalla WallStatus.cmd** をダブルクリックします。

2. **確認する**
   `S` を押します。プログラム、ショートカット、自動起動が削除されます。

3. **データ**
   2 つ目の質問で、設定、パスワード、画像も削除する場合は `S`、再インストールに備えて残す場合は `N` を押します。

3 Mac へのインストール

Mac 用パッケージは **WallStatus-1.20.0-Mac.dmg** ファイルです。Apple プロセッサー（M1〜M4 以降）と Intel の Mac で動作します。

始める前に

Mac に **Google Chrome**（google.com/chrome）または **Microsoft Edge** がインストールされている必要があります。WallStatus は Safari では動作しません。

インストール

1. **DMG を開く**
   WallStatus-1.20.0-Mac.dmg をダブルクリックします。アプリ、アプリケーションフォルダー、マニュアルを含むウィンドウが開きます。

2. **アプリをコピーする**
   WallStatus を**アプリケーション**のアイコンにドラッグします。その後、Finder のサイドバーから「WallStatus」ディスクを取り出します。

3. **初回起動**
   アプリケーションフォルダーを開き、WallStatus を**右クリック**（または Control+クリック）→ **開く** → もう一度**開く**。アプリが Apple の署名を受けていないため、この手順は初回のみ必要です。
   macOS 15 Sequoia 以降でアプリがブロックされた場合: **システム設定** → **プライバシーとセキュリティ**で下にスクロールし、WallStatus に関するメッセージの横にある**このまま開く**をクリックします。

4. **確認する**
   数秒後に Chrome がサンプルページとともに全画面で開きます。WallStatus は Dock にアイコンを表示せず、バックグラウンドで動作します。`Ctrl`+`Shift`+`A` を押して管理パネルを開き、管理者アカウントを作成します（第 5 章）。

「WallStatus は壊れているため開けません」というメッセージ

ファイルをインターネットからダウンロードした場合や、AirDrop/メールで受け取った場合に表示されます。アプリは壊れていません。**ターミナル**（アプリケーション → ユーティリティ）を開き、次のコマンドを貼り付けて Return キーを押してください:

```
xattr -cr /Applications/WallStatus.app
```

その後、アプリをもう一度開きます。

自動起動

管理パネルで**設定** → **起動**を開き、**PC の起動時に WallStatus を起動**を有効にします。WallStatus はユーザーがログインするたびに起動します。macOS が *「バックグラウンド項目が追加されました」*という通知を表示することがありますが、正常な動作です。

キーチェーン

サイトのパスワードは、macOS の**キーチェーン**に保存されたキー（項目 *WallStatus-secret-key*）で暗号化されます。パスワードの初回保存時に macOS がキーチェーンへのアクセスを求めた場合は、**常に許可**を選択してくださ

い。

新しいバージョンへの更新

1. **バックアップ（推奨）**
   Finder で: 移動 → フォルダへ移動… → `~/Library/Application Support/WallStatus` → **config.json** と **media** フォルダーを安全な場所にコピーします。

2. **WallStatus を終了する**
   ビデオウォールのモニターを前面にして `Control`+`Option`+`Shift`+`Q`、または管理パネル → 設定 → **WallStatus を終了**。

3. **アプリを置き換える**
   新しいバージョンの DMG を開き、WallStatus をアプリケーションにドラッグして**置き換える**を選択します。macOS がアプリを壊れていると表示した場合は、再度 `xattr -cr /Applications/WallStatus.app` を実行します。

4. **再起動して確認する**
   アプリケーションから WallStatus を開き（以前のバージョンがまだ実行中の場合は自動的に終了されて置き換えられます）（または自動起動が有効なら Mac を再起動し）、設定 → 詳細設定 でバージョンを確認します。設定、ユーザー、コンテンツは保持されます。

アンインストール

> **スクリプトを使う（推奨）**
> DMG（およびパッケージのフォルダー）に **Disinstalla WallStatus.command** があります。ダブルクリックすると（初回は右クリック → **開く**）、ターミナルがメニューとともに開きます: **1** WallStatus とそのブラウザーを終了（応答しない場合も）、**2** すべてをアンインストール（`SI` と入力した後、アプリ、自動起動、データ、キーチェーンのキー）、**3** データを残してアンインストール。ターミナルから: `--chiudi`、`--rimuovi`、または何も変更せずに実行内容を確認する `--prova`。

手動の場合:

1. **自動起動を無効にする**
   管理パネル → 設定 → *PC の起動時に WallStatus を起動*を無効にします。

2. **プログラムを終了する**
   管理パネル → 設定 → **WallStatus を終了**。

3. **アプリを削除する**
   アプリケーションフォルダーから WallStatus をゴミ箱にドラッグします。

4. **データを削除する（任意）**
   Finder で: メニュー**移動** → **フォルダへ移動…**、`~/Library/Application Support/WallStatus` と入力し、フォルダーをゴミ箱に移動します。キーチェーンアクセスから *WallStatus-secret-key* 項目を削除することもできます。

4 ビデオウォール PC の準備

誰もいなくても電源を入れるだけで動作するビデオウォールにするには、OS のいくつかの設定を調整しておくと便利です。これらは推奨事項であり、必須ではありません。

Windows PC

ユーザーの自動ログイン
設定 → アカウント → サインイン オプション: *「セキュリティ向上のため、このデバイスでは Microsoft アカウント用に Windows Hello サインインのみを許可する」*をオフにします。次に `Win`+`R` を押して `netplwiz` と入力し、*「ユーザーがこのコンピューターを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要」*のチェックを外して、ユーザーのパスワードを入力します。

電源
設定 → システム → 電源: *画面をオフにするとスリープを***なし**に設定します。WallStatus は動作中、画面がオフにならないようにします。

更新
設定 → Windows Update → 詳細オプション → *アクティブ時間*: ビデオウォールを使用する時間帯に設定すると、再起動はその時間外に行われます。

通知
ページの上にポップアップが表示されないよう、*応答不可*を有効にします。

macOS MAC

自動ログイン
システム設定 → ユーザとグループ → *自動ログイン*: ビデオウォールのユーザーを選択します。FileVault が有効な場合は利用できません。

複数モニター: 個別の操作スペース
システム設定 → デスクトップと Dock → Mission Control セクション: **「ディスプレイごとに個別の操作スペース」**が有効である必要があります（既定値）。このオプションがないと、macOS は 1 つのウィンドウしか全画面表示できません。

電源
システム設定 → ロック画面: *使用していない場合はディスプレイをオフにする*を**しない**に設定します。MacBook ではさらに バッテリー → オプション → *自動スリープを防ぐ*。

通知
集中モード → *おやすみモード*を有効にします。

複数モニターの接続

- WallStatus を起動する**前に**、すべてのモニターを接続して電源を入れてください。後からモニターを追加した場合は、管理パネルで**画面を検出**を使用します。
- OS のディスプレイ設定で実際の配置（どのモニターが左で、どれが右か）を設定してください。WallStatus はこの配置に基づいて画面に**左から右へ**番号を付けます。
- 管理パネルの**識別**を使うと、各モニターに名前と物理画面の番号が数秒間表示されます。
- Windows では、モニターは*複製*ではなく**表示画面を拡張する**モード（設定 → システム → ディスプレイ → マルチディスプレイ）にする必要があります。
- WallStatus はブラウザーと、Windows ではシステムから直接、画面を読み取ります。ブラウザーが認識する画面が Windows より少ない場合は、Windows の一覧を使用します。**ログ**の *schermi rilevati*（検出された画面）の行に、検出された画面の数、解像度、位置が記録されます。

5 管理パネル

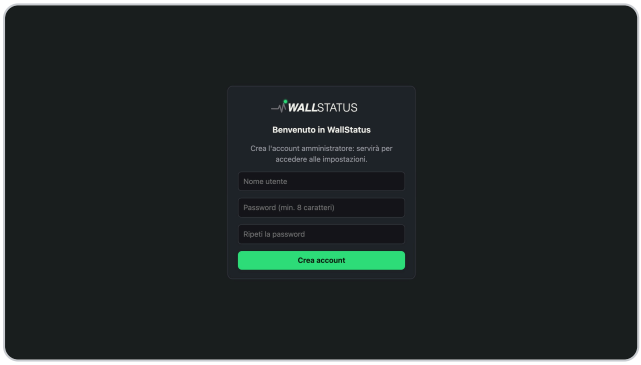
すべての設定は Web の管理パネルから行います。変更は何も再起動することなく、すぐにモニターに適用されます。

管理パネルの開き方

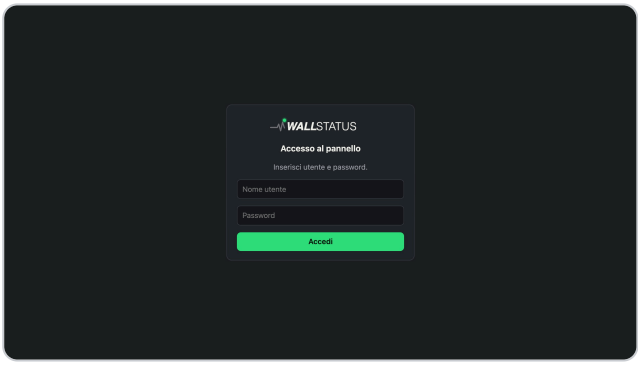
場所	方法
ビデオウォール PC から	ディスプレイが表示されている状態で `Ctrl`+`Shift`+`A` を押すか、ブラウザーで `http://127.0.0.1:8088/admin` を開きます
ディスプレイなしで	スタートメニューの *WallStatus – solo pannello* ショートカット（Windows）
別の PC から	`http://<indirizzo-del-wall>:8088/admin`（ネットワークからのアクセスを有効にした後のみ、第 18 章）

初回アクセス: 管理者アカウントの作成

管理パネルは、ビデオウォール PC から開く場合でも、常に**ユーザー名とパスワード**で保護されています。ビデオウォール PC から初めて開くと、*WallStatus へようこそ*画面が表示されます:



初回アクセス。ユーザー名とパスワードを決めます。

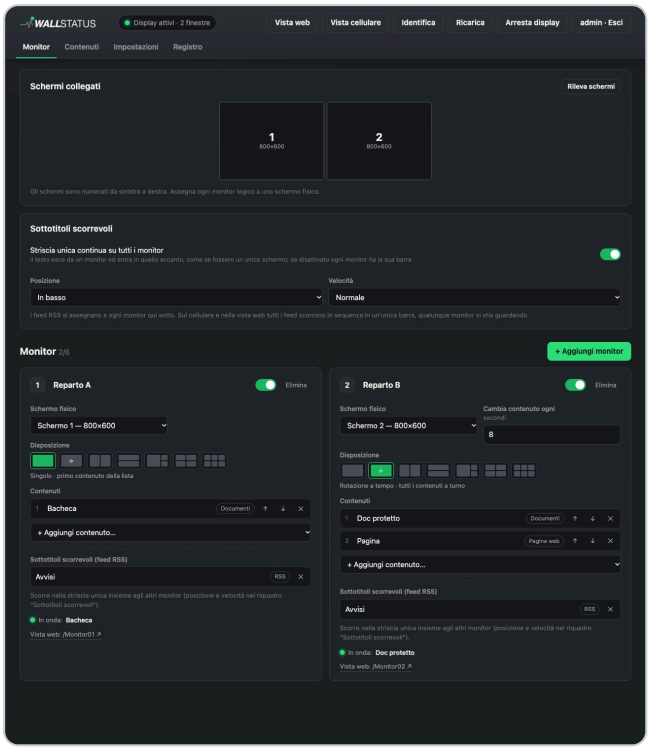


2 回目以降のアクセス。ユーザー名とパスワードを入力します。

1. **ユーザー名を決める**
   3〜40 文字、スペース不可（例: `admin` またはご自身の名前）。
2. **パスワードを決める**
   8 文字以上で、2 回入力します。安全な場所に保管してください。
3. **アカウントを作成**
   これが最初の**管理者**になり、**ユーザー**タブから他のユーザーを作成できます（第 17 章）。管理パネルが開きます。以降はアクセスのたびにユーザー名とパスワードが必要で、12 時間操作がないと再度求められます。右上の**ログアウト**ボタンでセッションを終了します。

> **アカウントはビデオウォール PC からのみ作成できます**
> アカウントが存在しない間、管理パネルには他のコンピューターからアクセスできません。パスワードを忘れた場合は第 21 章を参照してください。

管理パネルの構成



モニタータブ。上部にディスプレイの状態と全体の操作。その下に接続されている画面のマップ、ティッカーの共通設定、各モニターの設定と Web ビューへのリンクがあります。

要素	機能
状態インジケーター	緑の丸: ディスプレイ稼働中（開いているウィンドウ数付き）。灰色: 停止中。赤: エラー（見出しの下に説明が表示されます）。
識別	各モニターに名前と物理画面の番号を 6 秒間表示します
再読み込み	すべてのページを再読み込みし、ウィンドウを再配置します
ディスプレイを起動 / 停止	全画面ウィンドウを開く、または閉じます。ディスプレイが停止中でも管理パネルは利用できます。
Web ビュー	`/Monitor` を開きます: すべてのモニターをライブで、ブラウザーのタブにローテーション表示します（第 16 章）
携帯電話ビュー	スマートフォン向けのモニタービューを開きます（第 16 章）
ユーザー · ログアウト	ログイン中のユーザーを表示し、セッションを終了します
タブ	**モニター**、**メッセージ**、**コンテンツ**、**サーバー**、**帯域**、**マップ**、**Traceroute**、**スケジュール**、**音声**、**ユーザー**、**外観**、**設定**、**ログ**（最近のイベント、問題発生時に便利）、**ヘルプ**（このマニュアル、第 27 章）。各ユーザーには権限のあるタブのみが表示されます。

推奨する作業手順

1. **コンテンツ**を作成（コンテンツタブ）→ 2. **モニター**に割り当て（モニタータブ）→ 3. 各モニターの**レイアウト**を選択。

6 モニターとレイアウト

WallStatus における**モニター**とは、物理画面に関連付けられた表示領域です。**物理**モニターは最大 6 台（画面ごとに 1 台）まで設定でき、さらに Web リンクと携帯電話からのみ表示される**仮想**モニターを好きなだけ追加できます。

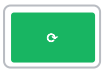
モニターの追加と削除

- **+ モニターを追加**は、最初の空いている画面に割り当てられた新しい物理モニターを作成します（物理モニターが 6 台になるとボタンは無効になります）。
- **+ 仮想モニター**は、画面を持たず Web リンクと携帯電話からのみ表示されるモニターを作成します（下記参照）。数に制限はありません。
- **名前**をクリックすると名前を変更できます（例:「監視室」「受付」）。
- 名前の横の**スイッチ**で、設定を失わずにモニターを有効・無効にできます。
- **削除**はモニターを削除します（コンテンツはコンテンツタブに残ります）。

物理画面

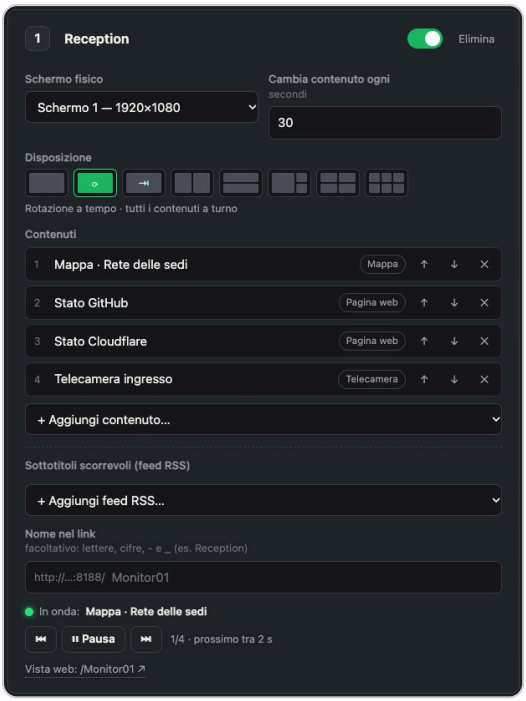
モニターを表示する画面を選択します。画面は左から右に番号が付けられます。接続されていない画面は *（未接続）* と表示され、画面が接続・検出されるとすぐにモニターが表示されます。有効な 2 台のモニターが同じ画面を使用することはできず、その場合は管理パネルに黄色の警告が表示されます。

レイアウト

アイコン	レイアウト	表示内容
	単一	一覧の最初の有効なコンテンツを全画面表示
	時間によるローテーション	有効なすべてのコンテンツを 1 つずつ全画面表示します。時間は *コンテンツの切り替え間隔*（秒）で設定します。一時停止や前後へのスキップができます
	手動ローテーション	有効なすべてのコンテンツを 1 つずつ全画面表示しますが、次へ進むのは**操作したときのみ**です: キー、リモコン、または ⏮ ⏭ ボタン（下記参照）
	2 分割（左右）	左右に 2 つのコンテンツ
	2 分割（上下）	上下に 2 つのコンテンツ（縦置きモニターに最適）
	大 1 + 2	大きなメインコンテンツ 1 つと、右側に小さなコンテンツ 2 つ
	グリッド 2×2	4 つのコンテンツ
	グリッド 3×2	6 つのコンテンツ

ローテーションの操作: 一時停止、次へ、前へ

コンテンツが 2 つ以上ある**時間によるローテーション**または**手動ローテーション**のモニターでは、「放映中」の下にローテーションの操作ボタンが、位置（例: *2/5*）と次の切り替えまでの残り時間とともに表示されます:



管理パネル。 ⏮ 前へ、⏸ 一時停止 / ▶ 再開、⏭ 次へ。



Web ビュー（`/Monitor01`...）の右上。ディスプレイ権限を持つユーザー向け。

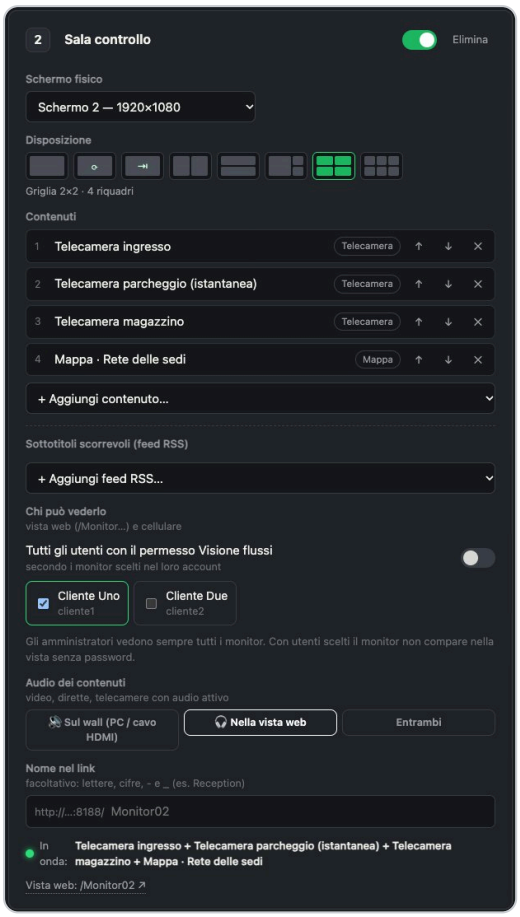
場所	操作
管理パネル、モニタータブ	各モニターのカードにある ⏮、⏸ **一時停止** / ▶ **再開**、⏭ ボタン（*ディスプレイ*権限）
Web ビュー `/Monitor01`、`/Reception`...	右上の ⏮ ⏸ ⏭ ボタン（*ディスプレイ*権限）。自分のビューだけでなく、ビデオウォールのモニターを操作します。
ビデオウォールのキーボード	`Ctrl`+`Shift`+`N` 次へ、`Ctrl`+`Shift`+`P` 前へ、`Ctrl`+`Shift`+`Space`（または `S`）一時停止 / 再開
プレゼンター リモコン	`PgDn` / `PgUp`（一般的なスライド用「クリッカー」が送信するキー）で次 / 前のコンテンツへ
メディアキー	キーボードや USB/Bluetooth リモコンの ⏭ ⏮ ⏯

- **一時停止**中は ▶ を押すまでコンテンツが止まったままで、モニターの右上に「⏸ ローテーション一時停止中 · 2/5」と表示されます。設定を変更しても一時停止は続き、再開するとコンテンツは残り時間から再開します。
- 一時停止中に ⏮ ⏭ を使うと、一時停止したままコンテンツを切り替えられます。会議中に手動でページを見せるときに便利です。
- **手動ローテーション**には一時停止はなく（コンテンツは操作したときのみ切り替わります）、文書も最終ページの後に自動で次へ進みません。
- ビデオウォールのキーは、ウィンドウが前面にあるモニターに対して有効です（画面をクリックしてからキーを押します）。ページの入力欄に入力中は `PgDn` / `PgUp` は横取りされません。

モニターのコンテンツ

- **+ コンテンツを追加…**メニューでモニターにコンテンツを割り当てます。同じコンテンツを複数のモニターで使用できます。
- 矢印 ↑ ↓ で順序を変更します。グリッドでは左から右、上から下の順になり、ローテーションでは表示順になります。
- ✕ はコンテンツをモニターから外します（削除はしません）。
- 無効なコンテンツは取り消し線付きで表示され、スキップされます。グリッドで枠よりコンテンツが多い場合、超過分は薄く表示され、表示されません。
- **ティッカー（流れる字幕）**セクションで、モニターに流す RSS フィードを選択します（第 11 章）。
- カードの下部にある**放映中**は、モニターがその時点で表示している内容を示します。
- **リンク内の名前**: 任意。Web ビューでモニターを開くときの名前です。例: `Reception` → `http://<indirizzo>:8088/Reception`（下記参照）。

閲覧できるユーザーとコンテンツの音声



モニターのカード: 下部に*閲覧できるユーザーとコンテンツの音声*。

閲覧できるユーザー（管理者のみ）：スイッチがオンの場合、モニターは*映像の閲覧*権限を持つすべてのユーザーに（各アカウントで選択されたモニターに応じて）Web ビューと携帯電話で表示されます。オフにすると、閲覧できる**ユーザー**を選択できます。例えば顧客ごとに仮想モニターを用意し、それぞれを各顧客のユーザーだけに表示する、といった使い方ができます。

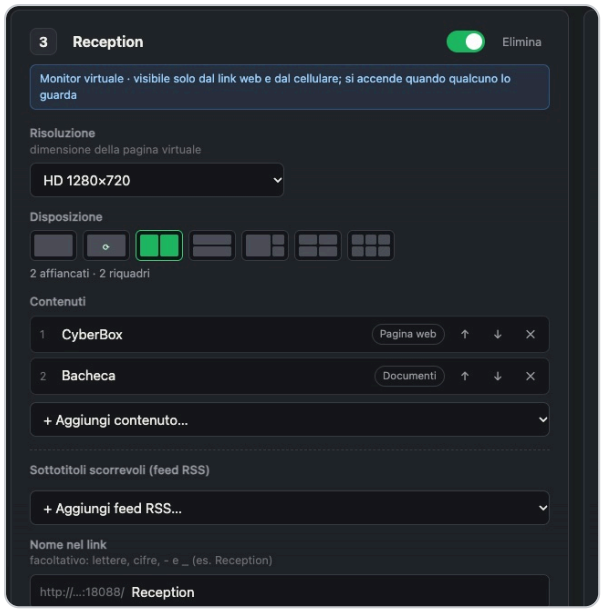
- 2 つのルールが同時に適用されます: モニターがユーザーのモニターに含まれていること（ユーザータブ）かつユーザーがモニターのユーザーに含まれていること。
- 管理者は常にすべてを閲覧できます。ユーザーを選択したモニターは「パスワードなし」のビューには表示されません。

コンテンツの音声（*音声オン*の動画、ライブ配信、カメラ）：

- 🔊 **ビデオウォールで**: 音声はビデオウォール PC または HDMI ケーブルで接続されたテレビから出力されます（既定）。
- 🎧 **Web ビューで**: ビデオウォールは無音のままです。`/Monitor01` … でモニターを見ている人が*ここで聴く*を押すと、自分のブラウザーで音声を聴けます（第 16 章）。
- **両方**。

仮想モニター

仮想モニターは物理モニターと同様に動作します（レイアウト、ローテーション、コンテンツ、ログインが必要なサイト、文書）が、PC の画面を占有しません。**Web ビュー**（第 16 章）と携帯電話ビューからのみ閲覧できます。例えば、ビデオウォールにモニターを追加せずに、スマートテレビや PC から開く会議室や部署専用の画面を用意する場合に使います。



解像度とリンク内の名前を設定した**仮想モニター**。

- **作成**: モニタータブ → **+ 仮想モニター**。その後、他のモニターと同様に名前、レイアウト、コンテンツを設定します。
- **解像度**: 画面のサイズ（Full HD、HD、QHD、4K、縦向き、4:3）。
- **必要なときだけオンになります**: WallStatus は仮想モニターを、誰かが閲覧している間だけ、ビデオウォール PC 上の別の非表示ブラウザーで描画します。閲覧者がいなくなって 3 分経つとモニターはオフになり（さらに 10 分後には非表示ブラウザーも終了します）、初回表示には数秒かかります。
- **サイトへのログイン**: 非表示ブラウザーは物理モニターとは別の独自プロファイルを使用します。ユーザー名とパスワードによる自動ログインは他のモニターと同様に動作しますが、2 段階認証が必要なサイトは物理モニターで使用してください。
- **ユーザー**: ユーザータブでは、仮想モニターも他のモニターと同様に*表示可能なモニター*から選択します。

リンク内の名前

物理・仮想を問わず、各モニターは Web ビューで番号（`/Monitor01`、`/Monitor02`…、モニタータブでの順序）を使って開けます。**リンク内の名前**を使うと、覚えやすく、モニターを並べ替えても変わらないカスタムアドレスを設定できます:

リンク内の名前	モニターのアドレス
`Reception`	`http://<indirizzo>:8088/Reception`（`/reception`、`/Monitor/Reception`、番号の `/Monitor03` でも可）
`sala-riunioni`	`http://<indirizzo>:8088/sala-riunioni`

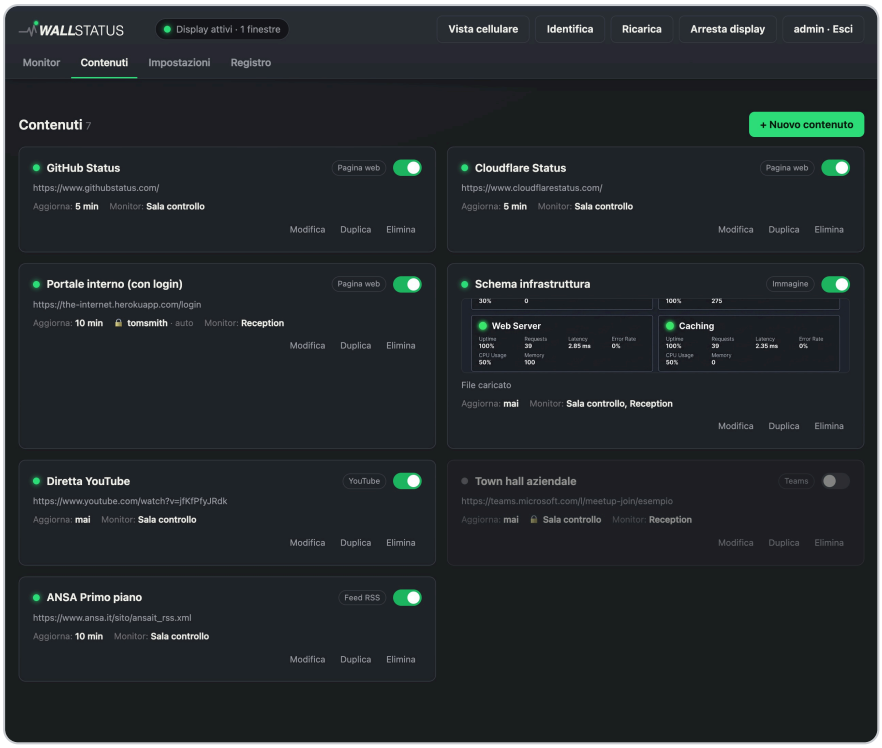
使用できるのは英字、数字、`-`、`_` です（最大 40 文字、スペース不可）。大文字と小文字は区別されません。各名前は 1 台のモニターでのみ使用でき、プログラムの予約名（admin、mobile、api、Monitor、Monitor01…）は使用できません。空欄にすると番号付きのアドレスのみになります。

> **ログインが必要なサイト: 単一またはローテーションを推奨**
>
> グリッドレイアウトでは、サイトは枠の中に表示されます。WallStatus は「このサイトはフレーム内に表示できません」というブロックを解除しますが、ログインが必要なサイトの中には枠内でセッションを維持できないものがあります。**単一**と**ローテーション**のレイアウトでは、ページを通常のブラウザーと同様に全画面表示するため、どのサイトでも動作します。

---

7 コンテンツ

コンテンツタブには、モニターに表示できるすべてのものが一覧表示されます。



コンテンツタブ。各コンテンツの種類、アドレス、更新、保存されたユーザー、使用しているモニター。

コンテンツの管理

- **+ 新規コンテンツ**で入力画面を開きます。
- **スイッチ**で、そのコンテンツを使用しているすべてのモニターでコンテンツを有効・無効にします。
- **編集**、**複製**（バリエーションの作成に便利。パスワードは再入力が必要）、**削除**（モニターからも削除されます）。

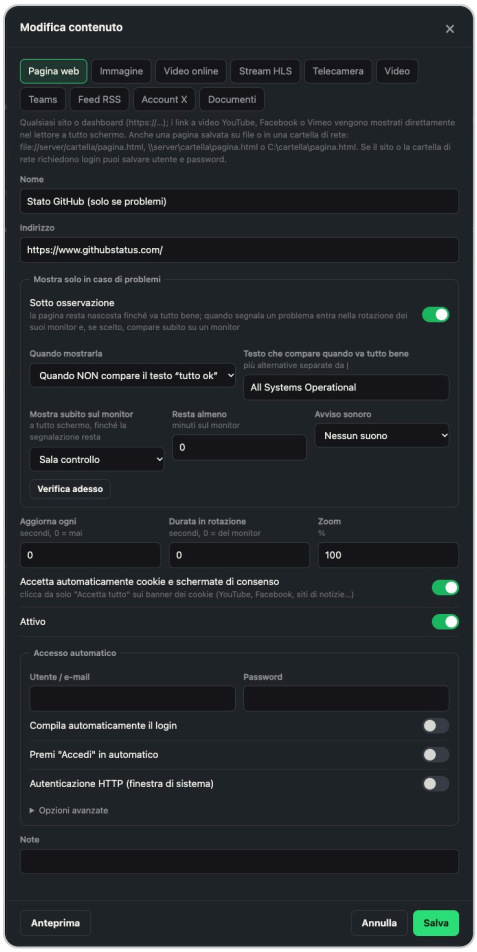
コンテンツの種類

種類	入力するアドレス	例
Web ページ	`https://` を含む完全なアドレス、またはファイルやネットワークフォルダー上の HTML ページのパス（`file://…`、`\\server\…`、`C:\…`）	Grafana、Power BI、Zabbix、PRTG、ステータスページ、イントラネット、ファイルサーバーに保存された監視ページ
画像	ファイル（jpg、png、gif、webp、svg）をアップロードするか、オンライン画像のアドレスを入力	平面図、お知らせ、ロゴ、Web カメラのスナップショット
オンライン動画	YouTube、Facebook、Vimeo の動画またはライブ配信へのリンク	イベントのライブ配信、ニュースチャンネル、企業紹介動画: 自動的に全画面再生されます
HLS ストリーム	`.m3u8` ストリームのアドレス	IP カメラ、エンコーダー、ストリーミング プラットフォーム
動画	アップロードした mp4/webm ファイルまたはアドレス	ループ再生する企業紹介動画
Teams	イベントまたは会議へのリンク	タウンホール、ライブイベント、会議（第 9 章参照）

X アカウント	アカウントのアドレス（`https://x.com/MSFT365Status`）または `@名前`	サービスのステータスアカウント: 最近の投稿を全画面のカードで表示（下記参照）
RSS フィード	RSS または Atom フィードのアドレス	ニュース、お知らせ、サービスの状態: ティッカーとして流れます（第 11 章）
文書	アップロードしたファイル、Web アドレス（1 行に 1 つ）、ビデオウォール PC のフォルダー	シフト表、手順書、PDF レポート、Excel シート、プレゼンテーション: 1 ページずつ表示（第 10 章）

問題発生時のみ表示されるコンテンツ

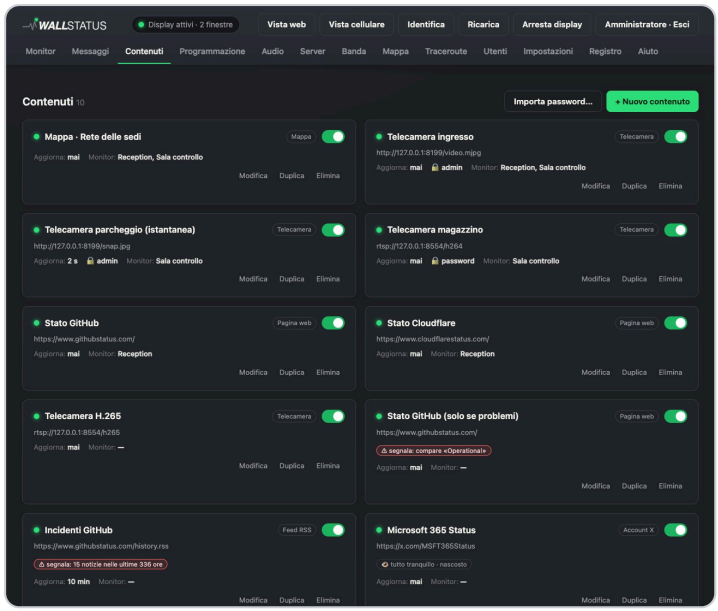
Web ページ、RSS フィード、X アカウントは、**正常な間は非表示**のままにしておき、何かを通知したときに自動的に表示させることができます。コンテンツの入力画面で、**問題がある場合のみ表示**欄 → *監視中*を選択します。



監視中のステータスページ:「All Systems Operational」と表示されなくなると、「監視室」モニターに表示されます。

コンテンツ	表示されるタイミング
Web ページ	**「正常」を示すテキストが表示されないとき**（例: *All Systems Operational*）· **問題を示すテキストが表示されたとき**（例: *Major Outage* | *Degraded*）· 最初の読み取りから**ページが変化したとき**。複数の候補は `|` で区切り、大文字と小文字は区別されません。
RSS フィード	選択した期間（1 時間〜1 週間）より新しいニュースがあるとき。フィードが「空」の間はティッカーにも表示されません。新しいニュースが入るとティッカーに流れ、選択していればモニターに全画面表示されます。
X アカウント	アカウントが選択した期間より新しい投稿をしたとき。

- **すぐにモニターに表示**: 通知が続く間、コンテンツは選択したモニターに（それまでの表示に代わって）全画面表示され、その後モニターは元に戻ります。「なし」の場合、コンテンツは割り当てられたモニターのローテーションに加わるだけです。
- **最低表示時間** N 分: 問題が出たり消えたりしても、ページがすぐに消えないようにします。**サウンドアラート**は任意です（音声タブ、「監視中のコンテンツ」イベント）。
- **今すぐ確認**は、入力した設定で現時点でコンテンツが表示されるかどうかを示します。
- コンテンツ一覧では、ラベルで状態が示されます:「👁 正常 · 非表示」または「⚠ 通知: …」。

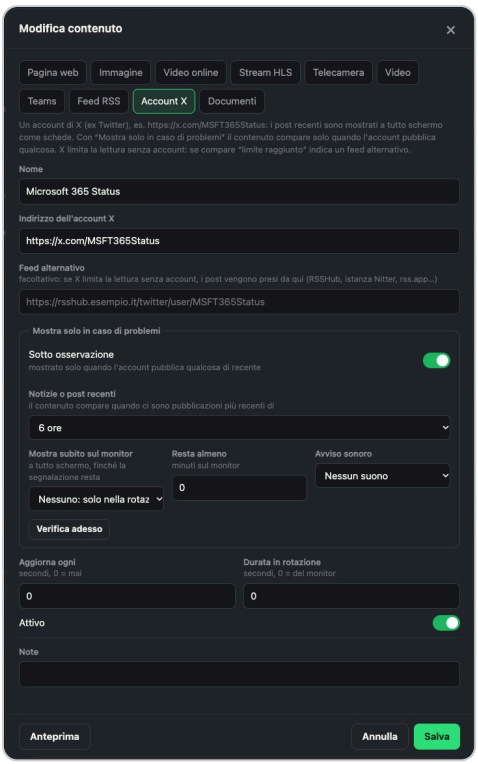


一覧に表示された**監視中のコンテンツ**と最新の状態。

注意

- ページはスクリプトを実行せずにテキストとして読み取られます。ブラウザー内でのみ組み立てられるページの場合は、状態の RSS 版または JSON 版があればそれを使用してください（例: Statuspage のページの `…/api/v2/status.json`）。
- チェックは毎分（または「更新間隔」の秒数ごと、最小 30 秒）行われます。

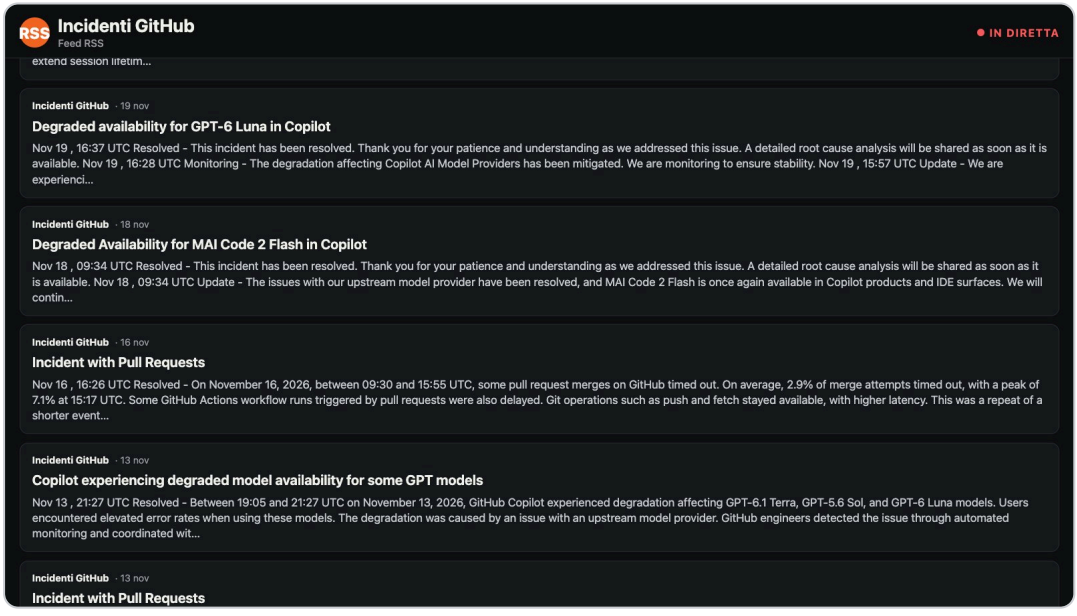
X アカウント



X アカウントのコンテンツ。

X アカウントタイプは、公開アカウントの最近の投稿を、ゆっくりスクロールするカードとして全画面表示します（新しい投稿は強調表示されます）。*監視中*にすると、アカウントが何かを投稿したときだけ表示されます。`@MSFT365Status` のようなステータスアカウントに最適です。

> **X はアカウントなしでの閲覧を制限しています**
>
> WallStatus は X の埋め込み可能な公開タイムラインから、アカウントごとに最大 5 分に 1 回投稿を読み取ります。ただし X はこれらのリクエストをしばしば制限し（「上限に達しました」）、投稿が少なかったり最新の投稿が返されなかったりすることがあります。確実にチェックするには、同じアカウントの**代替フィード**（自前でインストールした RSSHub、Nitter インスタンス、rss.app などのサービス）を指定するか、サービスに RSS 付きのステータスページがあれば、それを直接 RSS フィードとして使用してください。



新しいニュースが入ったときにモニターに**全画面表示されるフィード（または X アカウント）**。

オプション

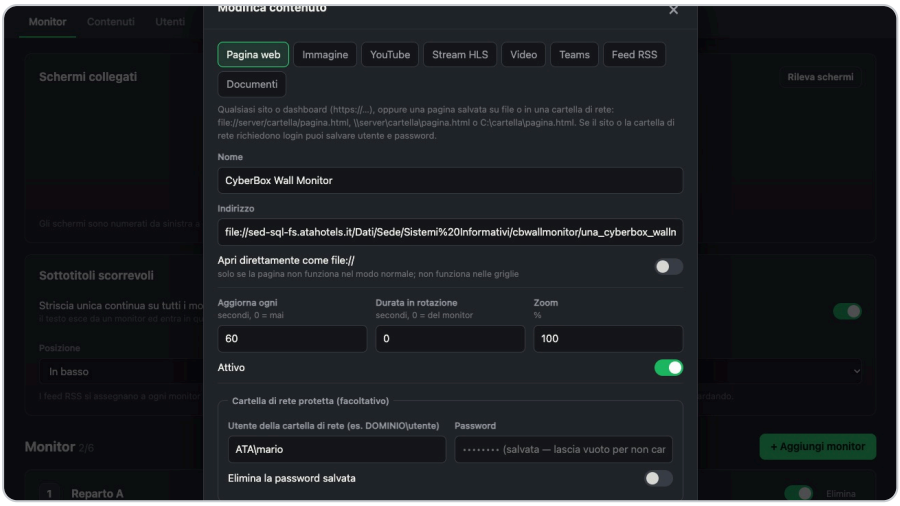
項目	意味
名前	管理パネルに表示される名前
更新間隔	コンテンツを再読み込みする間隔（秒）。**0 = しない**。例: Web カメラは 60、ダッシュボードは 300、ライブ配信は 0（再読み込みすると中断されます）
ローテーションでの表示時間	ローテーション中のモニターで表示し続ける秒数。0 = モニターに設定された時間を使用（*文書*の場合: 0 = すべてのページを表示し終えるまで）
ズーム	ページを拡大（例: 150%）または縮小（例: 75%）します。小さな画面向けのダッシュボードを大型テレビに表示する場合に便利です
サイズ調整	画像と動画: *全体表示*（黒帯あり）、*全面表示*（端を切り取り）、*引き伸ばし*
音声オン	YouTube、HLS、動画は音声なしで開始します。ビデオウォールにスピーカーがある場合は有効にしてください
有効	オフの場合、コンテンツはどこでもスキップされます
Cookie と同意画面を自動的に承諾	既定で有効: WallStatus は Cookie バナーや同意画面（YouTube/Google、Facebook、ニュースサイト、主要な同意管理プラットフォーム）で「すべて承諾」を自動的にクリックします。必要な項目のみを選択した状態にしておく必要があるサイトではオフにしてください
プレビュー	コンテンツを新しいタブで開いてアドレスを確認します

ファイルとネットワークフォルダーのページ

Web ページタイプは、PC のファイルや**ネットワーク上の共有フォルダー**に保存された HTML ページ（例: 他のシステムが生成した監視ページ）にも対応しています。*アドレス*欄には、次のいずれかの形式でパスを入力できます:

形式	例
file:// アドレス（ブラウザーのアドレスバーと同じ）	`file://sed-sql-fs.atahotels.it/Dati/Sede/Sistemi%20Informativi/cbwallmonitor/una_cyberbox_wallmonitor.html`
Windows のネットワークパス	`\\sed-sql-fs.atahotels.it\Dati\Sede\Sistemi Informativi\cbwallmonitor\una_cyberbox_wallmonitor.html`
ビデオウォール PC 上のファイル	`C:\Wall\pagina.html` または `file:///C:/Wall/pagina.html`

WallStatus はパスを `file://` アドレスとして保存します（スペースは `%20` になります）。



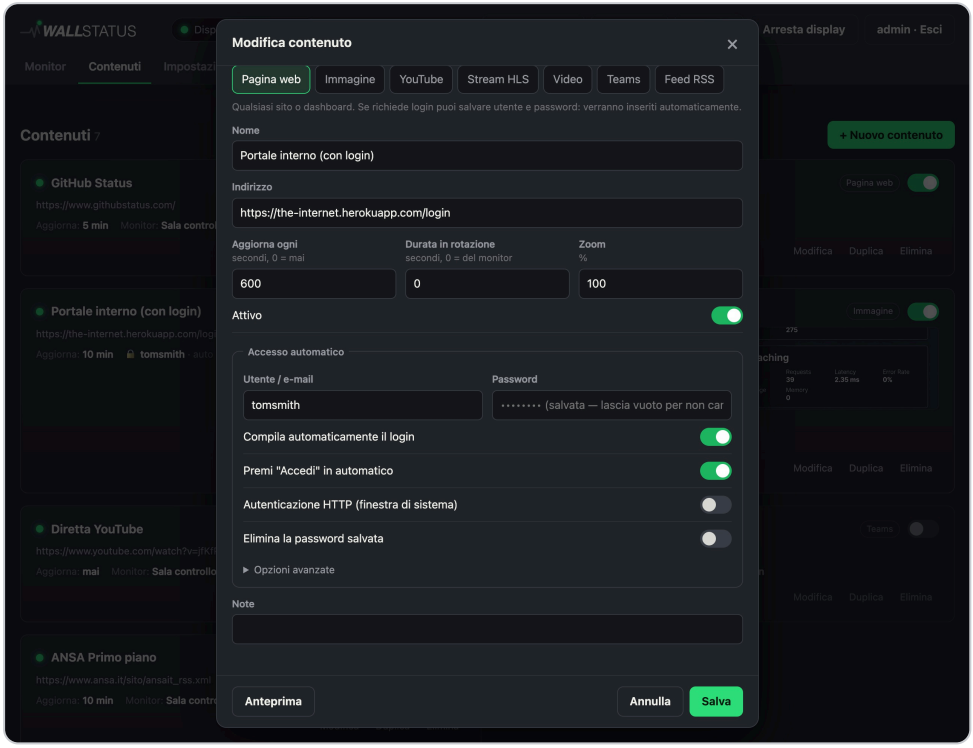
ネットワークフォルダーのページ。ユーザー名とパスワードは、ビデオウォールの Windows ユーザーで共有にアクセスできない場合にのみ必要です。

- **表示方法**: WallStatus はファイルを読み取り、ページが参照している同じフォルダーまたはサブフォルダー内のファイル（スタイルシート、スクリプト、画像、JSON データ）とともにビデオウォールのブラウザーに渡します。全画面、ローテーション、グリッドで動作し、他のページと同様に自動更新（*更新間隔*）とズームも使えます。
- **ネットワークフォルダーへのアクセス**: 通常は、ビデオウォールを実行している Windows ユーザーがエクスプローラーでフォルダーを開ければ十分です。別の資格情報が必要な場合は、**ユーザー**（例: `DOMAIN\user`）と**パスワード**を指定してください。WallStatus は現在の Windows セッションで共有に接続します（`net use` と同様、永続的には保存しません）。
- **確認**: 保存時にその PC からファイルにアクセスできない場合は警告が表示されます。ビデオウォールでは、ファイルにアクセスできるまで 30 秒ごとに再試行するメッセージが表示されます。
- **file:// として直接開く**: ファイルから開かないと動作が変わるページ（例: サーバーの他のフォルダーにあるファイルへのリンク）向けの予備オプションです。*単一*と*ローテーション*のモニターで動作し、グリッドでは動作しません。
- **Mac では**、ネットワークフォルダーを先に Finder から接続しておく必要があります（移動 → サーバへ接続 → `smb://server/condivisione`）。その後 WallStatus が `/Volumes` 内で見つけます。

文書タイプもネットワーク上のファイルとフォルダーに対応しています: *文書のアドレス*（例: `\\server\Dati\Bacheca\turni.pdf`）と*フォルダー*欄（例: `\\server\Dati\Bacheca`）で、同じ任意の資格情報を使用できます。

8 ユーザー名とパスワード

ログインが必要な Web ページでは、ユーザー名とパスワードを保存できます。WallStatus はログインページが表示されたとき、セッションの期限切れ後も含めて、自動的に入力します。

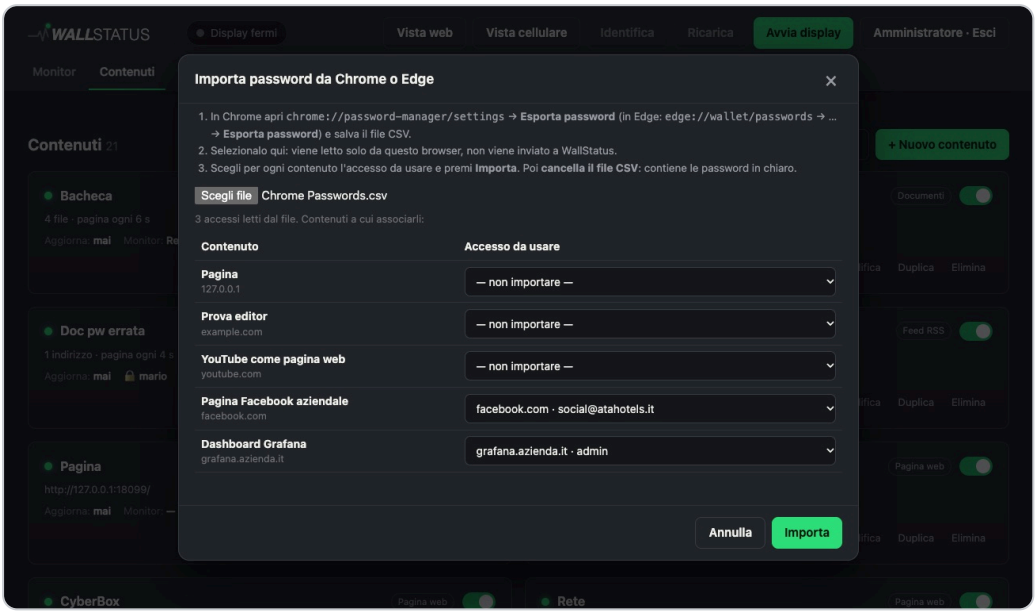


自動ログイン。保存されたパスワードは表示されません。保持する場合は空欄のまま、変更する場合は新しいパスワードを入力します。

オプション	効果
ユーザー / メール	アカウントのユーザー名またはメールアドレス
パスワード	暗号化して保存されます。変更しない場合は空欄のまま
自動入力	ユーザー名とパスワードの欄が表示されたときに入力します。Microsoft 365 のような 2 段階のログイン（先にメール、次にパスワード）にも対応しています
「ログイン」を押す	入力後にログインボタンを押します。Microsoft の「サインインの状態を維持しますか？」にも「はい」と応答します
HTTP 認証	ブラウザーのシステムダイアログ「ログイン」（Basic/NTLM）を表示するサイト向け。ルーター、NAS、カメラ、古いイントラネットでよく見られます
保存されたパスワードを削除	記憶されているパスワードを消去します

Chrome または Edge からパスワードをインポート

サイトのユーザー名とパスワードがすでに Chrome や Edge に保存されている場合は、入力し直す代わりにインポートできます。WallStatus はブラウザーのパスワードを直接読み取りません（パスワードは保護されており、そのような処理をするプログラムはウイルス対策ソフトにブロックされます）。ブラウザーの公式なエクスポート機能を使用します。



パスワードをインポート。各コンテンツに、同じサイトのアクセス情報が提案されます。

1. **ブラウザーからエクスポートする**
   Chrome: `chrome://password-manager/settings` → **パスワードをエクスポート**。Edge: `edge://wallet/passwords` → **…** → **パスワードのエクスポート**。ブラウザーが Windows（または Mac）のパスワードを求め、CSV ファイルを保存します。

2. **インポートする**
   コンテンツタブ → **パスワードをインポート…** → ファイルを選択します。ファイルは管理パネルを使用しているブラウザーでのみ読み取られ、WallStatus には送信されません。

3. **選択する**
   Web ページタイプの各コンテンツに、同じサイトの保存済みアクセス情報が提案されます。別のものを選択するか、「インポートしない」のままにできます。**インポート**を押すと、ユーザー名とパスワードが暗号化して保存され、自動ログインが有効になります。ログインが別のドメイン（例: Microsoft のログイン）にある場合は、*ログインを許可するドメイン*に設定されます。

4. **CSV ファイルを削除する**
   すべてのパスワードが平文で含まれています。すぐに削除してください（ゴミ箱からも）。

詳細オプション

項目	必要な場面
ログインを許可するドメイン	資格情報の入力を、カンマで区切ったこれらのドメインに限定します（例: `miosito.it, login.microsoftonline.com`）。推奨: パスワードが別のサイトに入力されるのを防ぎます
セレクター	特定のサイトで入力欄の自動認識がうまくいかない場合、ユーザー名欄、パスワード欄、ボタンの CSS セレクターを指定します（例: `#username`）

JavaScript	ページの読み込みごとに実行されるコード。例えば Cookie バナーを閉じるために使います。上級者向けです

アカウントロックの防止

資格情報が間違っている場合、アカウントがロックされないよう、WallStatus は 6 回送信した後 10 分間試行を停止します。このことは**ログ**タブに記録されます。

2 段階認証（MFA）とシングル サインオン

SMS コード、認証アプリ、スマートカードは自動化できません。その場合は、ビデオウォール上で直接（マウスとキーボードで）最初のログインを手動で行ってください。ビデオウォールのブラウザーは通常のブラウザーと同様にセッションを保持し、WallStatus はページの更新を続けます。サービスアカウントの場合は、IT 管理者に長期間有効なセッションを依頼すると便利です。

9 ライブ配信、ストリーミング、カメラ

オンライン動画: YouTube、Facebook、Vimeo、Twitch、Dailymotion

オンライン動画タイプを使うと（**Web ページ**にリンクを貼り付けた場合も）、動画は Cookie の同意画面なしで全画面プレーヤーで自動的に再生されます。YouTube の場合、WallStatus はプレーヤーの「Cookie なし」版を使用します。一般的なリンク形式はすべて使用できます:

```
https://www.youtube.com/watch?v=XXXXXXXXXXX
https://youtu.be/XXXXXXXXXXX
https://www.youtube.com/live/XXXXXXXXXXX
https://www.youtube.com/channel/UCxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx   ← チャンネルで配信中のライブ
https://www.facebook.com/NomePagina/videos/1234567890/     ← 公開の Facebook 動画またはライブ
https://fb.watch/xxxxxxx/
https://vimeo.com/123456789
https://www.twitch.tv/nomecanale                           ← Twitch チャンネルのライブ
https://www.dailymotion.com/video/x8abcd1
```

動画はコントロールなし、音声なしで自動的に再生されます（*音声オン*で有効化できます）。**チャンネル**のリンクは定期的にライブ配信するチャンネルに便利で、常に配信中のものを表示します。*更新間隔*は 0 のままにしてください。所有者によってはサイト外での再生を禁止しており、その場合は「動画を再生できません」と表示されます。Facebook の動画は公開されている必要があります。

HLS ストリーム（カメラ、エンコーダー）

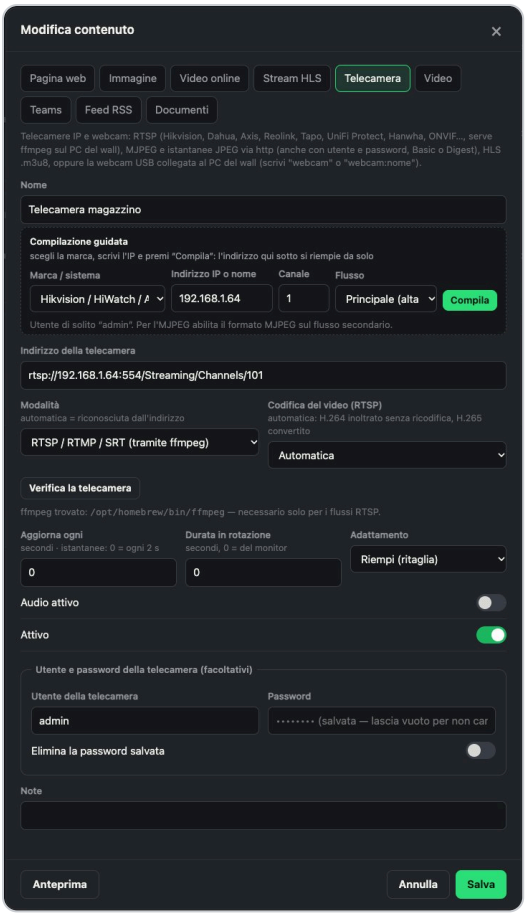
`.m3u8` で終わるストリームのアドレスを入力します。多くの IP カメラ、NVR、エンコーダー（OBS、vMix、Wowza）、ストリーミング プラットフォームが提供しています。ストリームが途切れた場合、WallStatus は 10 秒ごとに自動的に再試行します。

カメラには専用の**カメラ**タイプ（下記）を使用してください。HLS ストリームも同じオプションで使用できます。

IP カメラと Web カメラ

カメラタイプは、監視カメラ、NVR、Web カメラの映像を全画面またはグリッドの枠に表示します。WallStatus はアドレスからストリームの種類を自動的に判別します:

モード	アドレスの例	仕組み
RTSP（RTSPS、RTMP、SRT も可）	`rtsp://192.168.1.64:554/Streaming/Channels/101`	ほぼすべての IP カメラの形式です。WallStatus は **ffmpeg**（下記参照）でブラウザー用に変換します。H.264 は再エンコードせずに通し（CPU 負荷小）、H.265 は自動的に再エンコードします。変換はコンテンツの放映中のみ行われます。
MJPEG	`http://192.168.1.64/axis-cgi/mjpg/video.cgi`	多くのカメラやエンコーダーが対応している連続した画像ストリームです。ffmpeg は不要です。
JPEG スナップショット	`http://192.168.1.64/ISAPI/Streaming/channels/101/picture`	*更新間隔*の秒数ごと（0 = 2 秒ごと）に 1 枚の画像を取得し、準備ができてから置き換えるため、ちらつきません。ネットワーク負荷も軽量です。
HLS	`https://…/live/index.m3u8`	Web 向けにすでに用意されたストリーム（NVR、go2rtc、Frigate、エンコーダー）。
USB Web カメラ	`webcam` または `webcam:Logitech`	ビデオウォール PC に接続された Web カメラ（最初のもの、または名前に指定したテキストを含むもの）。映像のみです。



新しいカメラ。上部は入力ガイド: メーカーを選び、IP を入力して*入力*を押します。

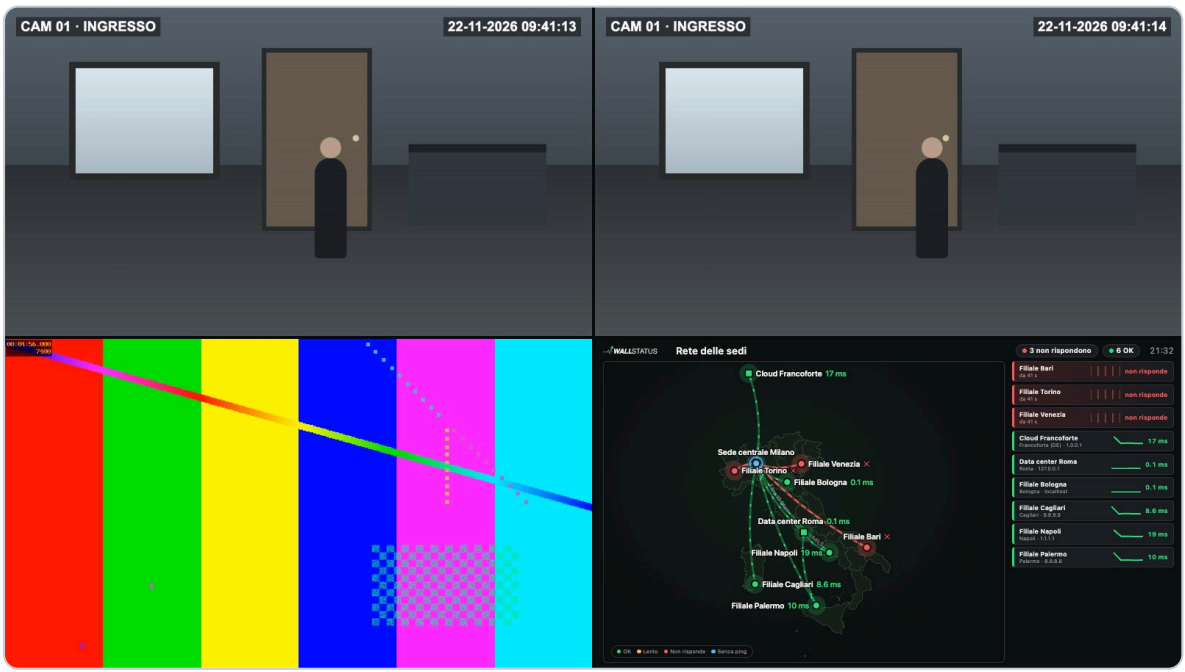
カメラの追加

1. **新規コンテンツ → カメラ**
   コンテンツタブ → **+ 新規コンテンツ → カメラ**。

2. **入力ガイド**
   メーカー（Hikvision、Dahua、Axis、Reolink、Tapo、EZVIZ、UniFi Protect、Hanwha、Bosch、Vivotek、Foscam、Mobotix、Milesight、ONVIF、go2rtc/Frigate、Blue Iris、ESP32-CAM、IP Webcam アプリ、USB Web カメラ）、**IP アドレス**、**チャンネル**（NVR の場合）、**ストリーム**を選択します: 画質重視ならメイン、多数のカメラを並べるグリッドならサブ。**入力**を押します。

3. **ユーザー名とパスワード**
   下部の欄に入力します（暗号化して保存されます）。WallStatus は *Basic* 認証と、Hikvision や Dahua が使用する *Digest* 認証の両方に対応しています。パスワードがディスプレイのページに渡ることはありません。`utente:password@` を含むアドレスを貼り付けると、自動的に各欄に移動されます。

4. **保存して確認する**
   コンテンツを開き直して**カメラを確認**を押すと、動作しているかどうか、モード、ストリームが再エンコードされるかどうかが表示されます。**プレビュー**を使うとブラウザーのタブで確認できます。



MJPEG カメラ、スナップショット、RTSP ストリーム（ここではテスト信号）、拠点マップを表示した**グリッド 2×2 のモニター**。

ffmpeg（RTSP ストリームのみ）

ffmpeg は無料のプログラムです。カメラの入力画面で、見つかったかどうかが管理パネルに表示されます。インストール方法:

- **Windows**: コマンド プロンプトを開いて `winget install ffmpeg` を実行するか、`ffmpeg.org` から「essentials」版をダウンロードし、`ffmpeg.exe` を **WallStatus.exe と同じフォルダー**（または `C:\ffmpeg\bin`）にコピーします。
- **Mac**: `brew install ffmpeg`（Homebrew）、または `ffmpeg` ファイルを WallStatus.app と同じ場所にコピーします。

WallStatus は再起動なしで（1 分以内に）自動的に見つけます。*映像のエンコード（RTSP）*: **自動**（推奨）、**再エンコードせず転送**（CPU 使用量最小）、または**常に H.264 に再エンコード**（特殊なストリームのカメラ向け。CPU 負荷が大きく、幅は最大 1920 ピクセル）。

カメラに関する注意

- 実際の映像とビデオウォール上の映像の間には、RTSP では 2〜6 秒の遅延（変換による）があり、MJPEG ではほぼありません。
- 放映中の各 RTSP カメラは ffmpeg プロセスを 1 つ使用します。多数のカメラを並べるグリッドでは**サブストリーム**を選択してください: 帯域と CPU の使用量が少なくなります。
- 多くのカメラは同時接続数が少ないため、ビデオウォール以外に NVR やアプリも映像を見ている場合は、サブストリームまたはスナップショットを使用してください。
- カメラが応答しない場合、枠に理由（例:「カメラのユーザー名またはパスワードが正しくありません」）が表示され、WallStatus が自動的に再試行します。
- カメラの自己署名証明書（https）は受け入れられます。カメラへの接続はインターネット用プロキシを経由しません。
- USB Web カメラは WallStatus のページにのみ許可されます。外部サイトや Teams は引き続きカメラとマイクを使用できません。

動画

mp4 または webm ファイル（最大 200 MB）をアップロードするか、アドレスを指定します。動画はループ再生されます。

Microsoft Teams

ライブイベント、タウンホール、または会議のリンクを、招待に記載されたとおりに貼り付けます。WallStatus は Teams の Web 版を開き、自動的に次の操作を試みます:

- アプリではなく *「このブラウザーで続ける」* を選択する
- **表示名**を入力する（*会議での表示名*欄、例:「監視室」）
- *「今すぐ参加」* / *「音声またはビデオなしで続行」* を押す

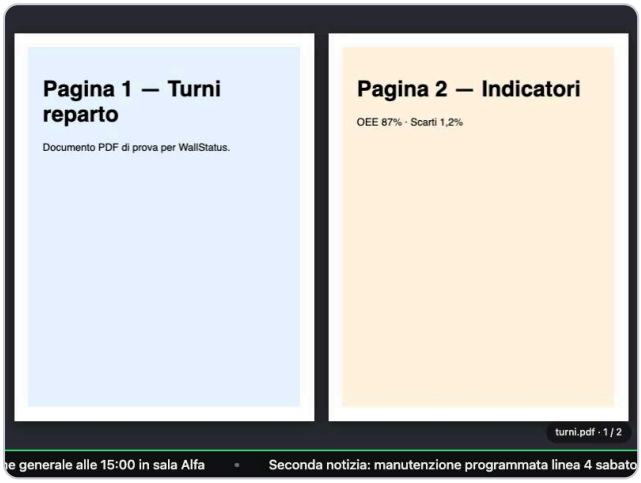
ビデオウォールのカメラとマイクは**常にブロック**されており、ビデオウォールは視聴のみ可能です。

試験的な機能

- Microsoft は Teams のページを頻繁に変更します。自動参加が機能しなくなった場合は、ビデオウォール上で必要なボタンを手動でクリックしてください。
- 多くの社内会議は匿名ゲストを許可しないか、ロビーで待機させます。その場合は、ビデオウォール上で組織のアカウントで一度サインインしてください。
- 最もよく機能するのは、公開のライブイベントとタウンホールです。
- 時刻が決まっている会議の場合は、開始直前にコンテンツを有効にし、終了後に無効にしてください。

10 文書のローテーション表示

文書タイプのコンテンツは、静的なファイル（PDF、Word、Excel、PowerPoint、画像、テキスト）を 1 ページずつ、数秒ごとにページを切り替えて表示します。1 つのコンテンツに複数の文書をまとめることができ、順番に表示されます。



PDF、2 ページ並べて表示。右下に文書名とページ番号。

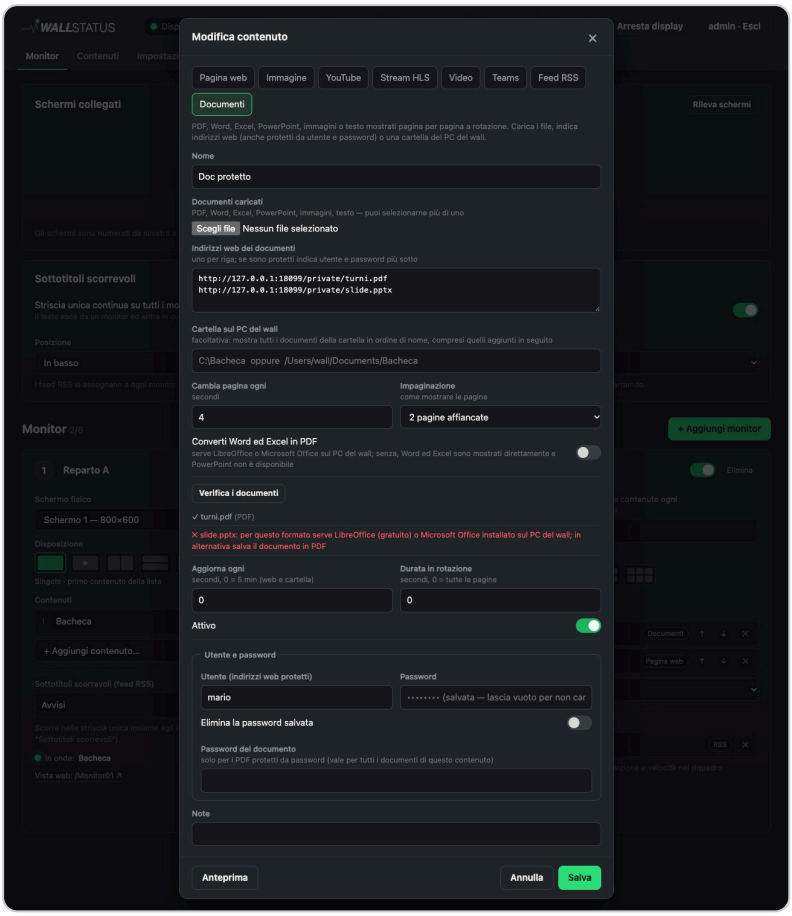


Excel シート。ブックの各シートが 1 ページになります。

形式

形式	表示方法
PDF	1 ページずつ、どの解像度でも鮮明に表示します。パスワードで保護された PDF にも対応しています（下記参照）。
Word (.docx)	Word で保存された改ページに従って 1 ページずつ表示します。元とまったく同じ見た目にするには、PDF への変換を有効にしてください。
Excel (.xlsx, .xlsm, .xls, .ods, .csv)	1 シートを 1 ページとして表形式で表示します（シートあたり最大 400 行、60 列）。縦に長いシートは段階的にスクロールします。
画像（jpg、png、gif、webp、svg、bmp）	画面中央に全体を表示
テキスト (.txt)	テキストページとして表示
PowerPoint (.pptx, .ppt, .ppsx), .doc, .rtf, .odt, .odp	自動的に PDF に変換されます。ビデオウォール PC に **LibreOffice**（無料、`libreoffice.org`、Windows と Mac）または **Microsoft Office**（Windows のみ）がインストールされている必要があります。変換ツールがない場合は警告が表示されます。代わりにファイルを PDF で保存してください。

文書コンテンツの作成



文書コンテンツ。ユーザー名とパスワードで保護された 2 つの Web アドレス。*文書を確認*で、読み取れる文書がすぐにわかります。

1. **新規コンテンツ**
   コンテンツタブ → **+ 新規コンテンツ** → 種類**文書**、名前（例:「部署の掲示板」）。

2. **ソースを選択する**
   （複数同時も可）：
   - **アップロード済みの文書**: PC から 1 つ以上のファイルを選択します。↑↓ で順序を変更し、× で削除します。
   - **Web アドレス**: 1 行に 1 つ。例えばイントラネットで公開された PDF や直接ダウンロードリンク。
   - **ビデオウォール PC 上のフォルダー**: 例 `C:\Bacheca`、またはネットワークフォルダー `\\server\Dati\Bacheca`。フォルダー内のすべての文書が名前順に表示されます。追加・変更・削除された文書は自動的に検出されます（1 分以内、または*更新間隔*の時間内）。

3. **ページ表示と時間**
   ページの切り替え間隔（秒）と*ページ表示*（下表）を設定します。

4. **ユーザー名とパスワード**
   Web アドレスが保護されている場合はユーザー名とパスワードを入力します。PDF がパスワードで保護されている場合は*文書のパスワード*を入力します。パスワードは暗号化して保存されます。

5. **保存して確認する**
   保存後、**文書を確認**で各文書をダウンロード・テストし、エラー（パスワードの誤り、サポートされていない形式など）を表示します。その後、コンテンツをモニターに割り当てます。

オプション

オプション	意味
ページの切り替え間隔	各ページの秒数（最小 3、既定 10）
ページ全体	各ページをできるだけ大きく、全体を表示します
2 ページ並べて表示	縦長のページを 2 枚並べて表示します。16:9 の画面に A4 文書を表示するのに最適です
画面幅	ページが画面幅いっぱいに表示され、上から下へ段階的にスクロールします。文字が大きくなり、長い文書に適しています
Word と Excel を PDF に変換	LibreOffice または Microsoft Office を使用: 印刷と同じ見た目になります（フォント、ヘッダー、グラフ）。見つかった変換ツールが管理パネルに表示されます。
更新間隔	Web アドレスを再ダウンロードする間隔（0 = 5 分ごと）
ローテーションでの表示時間	0 = 最後の文書の最終ページの後にのみ、モニターは次のコンテンツに進みます。秒数を指定すると制限されます

ユーザー名とパスワード: 対応範囲

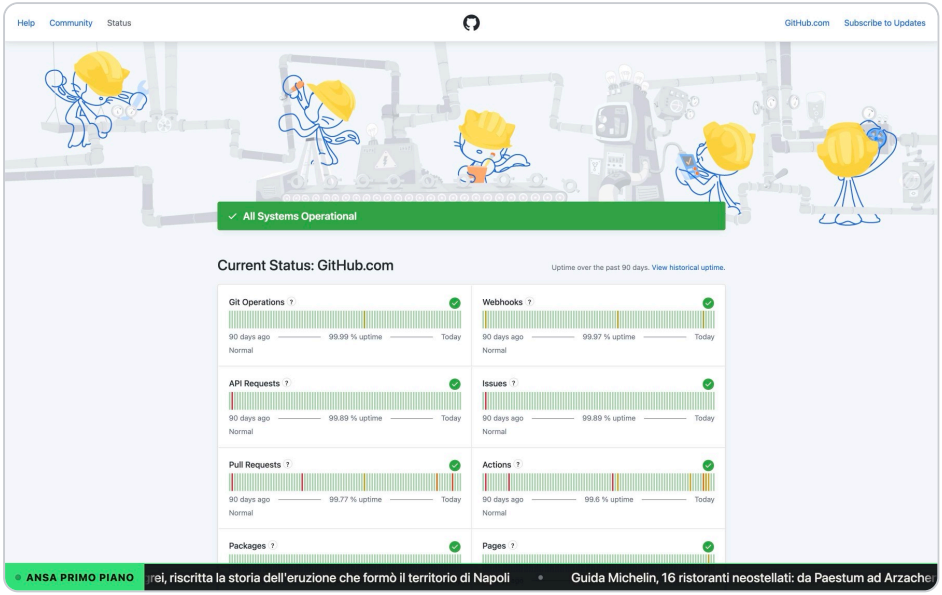
- **Web アドレス**: ユーザー名とパスワードによる HTTP 認証（Basic）。Web サーバー、NAS、イントラネット、文書ポータルで一般的です。Windows 統合認証（NTLM/Kerberos）には対応していません。SharePoint や OneDrive の場合は直接ダウンロード可能な共有リンクを使用するか、ライブラリをビデオウォール PC のフォルダーに同期してそのフォルダーを指定してください。
- **保護された PDF**: 文書のパスワードを指定してください。パスワードで保護された Word と Excel は開けません。PDF で保存するか、パスワードなしで保存してください。
- アドレスが文書ではなくログインページを返した場合、WallStatus はその旨を表示します。直接ダウンロードリンクが必要です。

ヒント

- 同僚が更新する掲示板には**共有フォルダー**を使いましょう。PDF をコピーするだけでビデオウォールに表示されます。
- ダウンロード・変換された文書はキャッシュに残ります。サーバーが応答しない場合は、最後に取得したコピーが表示されます。
- *単一*のモニターでは文書が無限に繰り返されます。*ローテーション*では他のコンテンツと交互に表示され、グリッドでは 1 つの枠を占めます。

11 RSS フィードとティッカー（流れる字幕）

1 つまたは複数の RSS フィードの見出しを、どのモニターでも、Web ページ、グリッド、画像、ライブ配信の上に、下部（または上部）のバーに流すことができます。



全画面の Web ページの上に流れる**ティッカー**。左側にフィード名。複数のフィードの場合、各ニュースの前に出典名が表示されます。

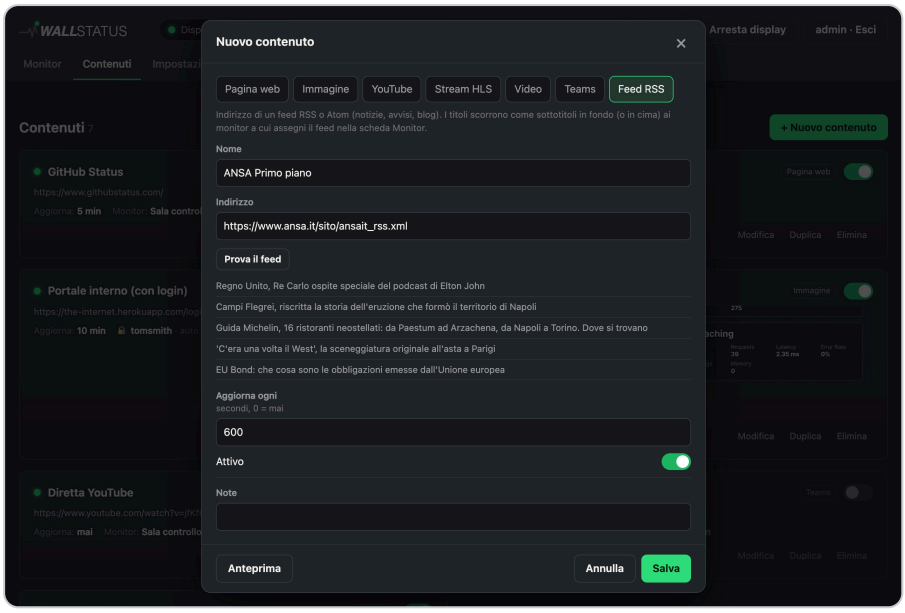
1. フィードを追加する

1. **新規コンテンツ**
   コンテンツタブ → **+ 新規コンテンツ** → 種類**RSS フィード**。

2. **名前とアドレス**
   名前はバーに表示されます（例:「ANSA トップニュース」）。フィードのアドレスを貼り付けます。通常、サイト上で RSS アイコンや「Feed」という語で示されています。

3. **フィードをテスト**
   フィードをテストボタンで最初のニュースがすぐに表示されます。エラーが表示された場合、そのアドレスは有効なフィードではありません。

4. **更新**
   *更新間隔*はフィードを読み直す間隔（秒）です（最小 60、0 の場合は 10 分ごと）。保存します。



RSS フィード。*フィードをテストで、アドレスから読み取ったニュースをすぐに確認できます。*

2. モニターに流す

1. **モニターを選択する**
   モニタータブ → モニターのカードの**ティッカー（RSS フィード）**セクション。

2. **フィードを追加する**
   + RSS フィードを追加…メニューから作成済みのフィードを選ぶか、**＋ 新しい RSS フィードを作成…**でその場で作成します。保存すると、すぐにそのモニターに追加されます。繰り返して他のフィードも追加できます。フィードのニュースは一覧の順に同じバーに**連結**されます。↑↓ で順序を変更し、✕ でモニターからフィードを外します（フィードはコンテンツタブに残ります）。

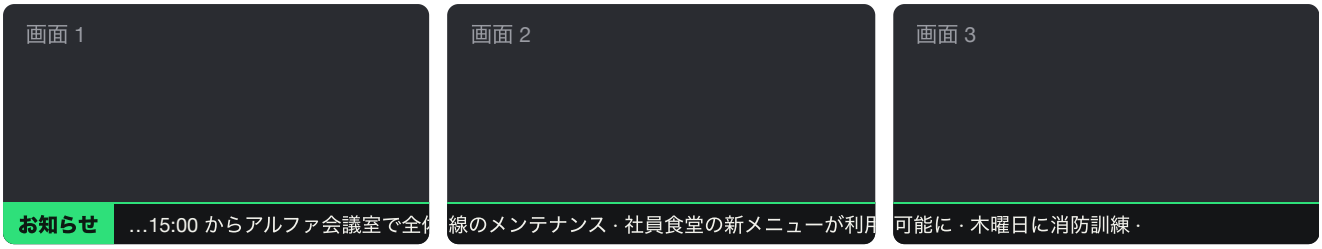
3. **位置と速度**
   モニタータブ上部の**ティッカー（流れる字幕）**欄で選択します: **下部**、**中央**、**上部**、およびスライダーで速度（毎秒 20〜400 ピクセル）。中央の場合、バーはコンテンツに重ねて表示されます。上部と下部の場合、コンテンツはバーの分だけ縮小されます。

4. **外観**
   同じ欄の**バーの外観**セクション: バーの高さ（50%〜300%）、バーの色、線と左側のラベルの色、フォント、文字サイズ、太字、さらに**ニュースのテキスト**と**フィード名**の色を個別に設定できます。プレビューで結果をすぐに確認でき、**既定の外観に戻す**で元の色に戻ります。

バーはページを再読み込みすることなく、数秒以内に表示されます。外すにはフィードの横の ✕ を押します。すべてのモニターで一時停止するには、コンテンツタブで RSS フィードのコンテンツをオフにします。

3. 複数モニターにまたがる 1 本の帯

すべてのモニターにまたがる 1 本の連続した帯が有効な場合（既定）、フィードのあるモニターは 1 本のバーを形成します。テキストは一番右のモニターから入り、その左端から出て隣のモニターに入ります。まるでビデオウォールが 1 つの画面であるかのように流れます。すべてのモニターのフィードのニュースが順番に並び、バーの高さはどこでも同じで、フィードのラベルは一番左のモニターにのみ表示されます。



テキストは 3 つの画面を途切れることなく右から左へ流れます。



モニタータブの**ティッカーの共通設定**。

画面の位置は OS が検出したもの（左から右）です。テキストが 2 台のモニター間で「飛ぶ」場合は、ディスプレイ設定で配置が実際と一致しているか確認し、**画面を検出**を押してください。このオプションを無効にすると、各モニターは独自のフィード、位置、速度を持つ個別のバーに戻ります。

携帯電話と Web ビュー（第 16 章）では、どのモニターを表示していても、すべてのモニターのフィードがページ下部の 1 本のバーに順番に流れます。二重に表示されないよう、ビデオウォールのバーは映像から取り除かれます。

便利なフィード

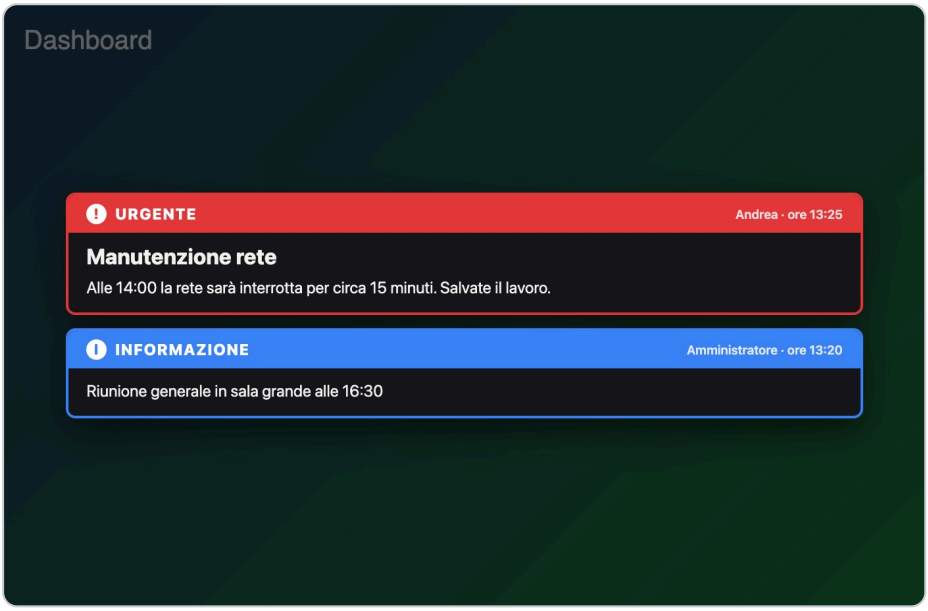
- **ニュース**: ほとんどの報道機関が RSS フィードを提供しています（例: `https://www.ansa.it/sito/ansait_rss.xml`）。Google ニュースでは任意のトピックのフィードを作成できます: `https://news.google.com/rss/search?q=argomento&hl=it&gl=IT&ceid=IT:it`
- **サービスの状態**: 多くのステータスページがインシデントを RSS で公開しています（例: `https://www.githubstatus.com/history.rss`）。
- **社内のお知らせ**: SharePoint、WordPress、多くの業務システムがリストやニュースを RSS でエクスポートできます。

注意

- グリッドレイアウトでは、バーの分だけ枠が縮小されます。全画面のページでは、バーがページの下部（または上部）を覆います。
- フィードごとに最大 30 件のニュースが表示されます。フィードにアクセスできない場合は最後に読み取ったニュースが残り、WallStatus は毎分再試行します。
- ログインが必要なフィードには対応していません。

12 モニター上のメッセージ

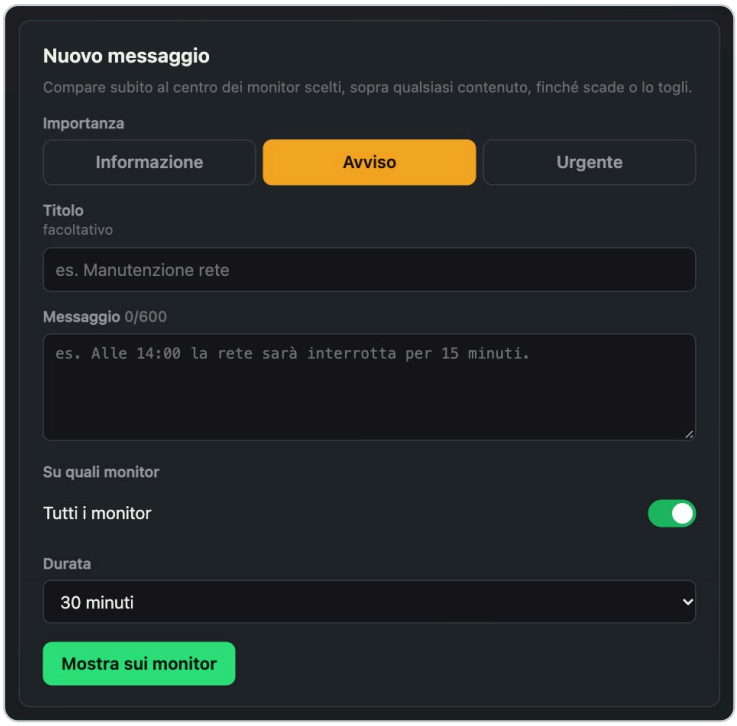
ビデオウォールを見ている人に重要なことを知らせるための機能です。メッセージは選択したモニターの中央に、すべてのコンテンツとティッカーの上に表示され、期限切れになるか削除されるまで表示されます。管理パネルから、または自社サイト上の非公開ページ（外出先から携帯電話でもアクセス可能）から書き込めます。



モニター上のメッセージ。背景が暗くなり、メッセージが最前面に表示されます。上部に重要度、送信者、時刻。緊急メッセージは枠が点滅します。

1. 管理パネルから

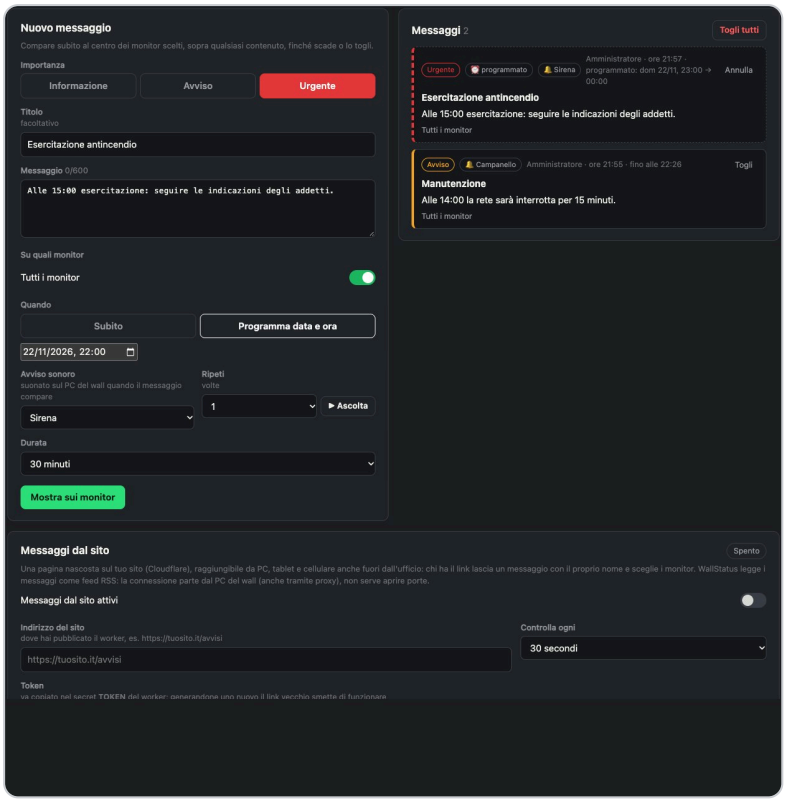
1. **メッセージタブを開く**
   メッセージ権限が必要です（第 17 章）。モニターやコンテンツには触れず、お知らせの送信だけができるユーザーを作成できます。
2. **メッセージを書く**
   重要度（**情報** 青、**警告** オレンジ、**緊急** 赤）、任意のタイトル、本文（最大 600 文字）を選択・入力します。
3. **モニターを選択する**
   *すべてのモニター*のままにするか、オフにして表示するモニターを選択します。
4. **表示時間**
   5 分〜4 時間、*今日の終わりまで*、または*削除するまで*。**モニターに表示**を押すと、数秒以内に表示されます。



メッセージタブの**新規メッセージ**。横にはメッセージの一覧があり、各メッセージの*削除*と *すべて削除*があります。

同じモニターに複数のメッセージがある場合、重要度の高い順に最大 3 件表示されます。送信と削除はすべてユーザー名とともにログに記録されます。メッセージは WallStatus を再起動しても有効なままです。

予約メッセージとサウンドアラート



サウンド付きで予約した**新規メッセージ**。右の一覧には待機中のメッセージ（破線の枠、「⏰ 予約済み」）。

- **タイミング**: *直ちに*、または*日時を予約*（最大 1 年先まで）。*表示時間*は開始時刻から数えます。待機中のメッセージは一覧の**キャンセル**で取り消せます。
- **サウンドアラート**: メッセージがモニターに表示されると、ビデオウォール PC でサウンドが鳴ります: *レベルのサウンド*（音声タブで設定: 情報は「通知」、警告は「チャイム」、緊急は「サイレン」）、*サウンドなし*、10 種類の同梱サウンドのいずれか、またはアップロードしたサウンド。**繰り返し**: 1〜5 回。▶ **聴く**で自分のブラウザーで試聴できます。
- 音声タブのサイレント時間帯には、サウンドが選択された緊急メッセージのみ鳴ります。

2. サイト上の非公開ページから

管理パネルにアクセスできない場合（内部ネットワークが閉じている、外出中など）は、**Cloudflare** で自社サイトに公開し、**ランダムなトークン**で保護したページにメッセージを残すことができます。リンクを知っている人は、名前、重要度、本文を入力し、モニターと表示時間を選択します。WallStatus はこのページを 15 秒〜5 分ごとに **RSS フィード**として読み取ります。接続はビデオウォール PC からインターネットに向けて行われるため（プロキシ経由も可、第 19 章）、PC へのポートを**開ける必要はありません**。



スマートフォンで表示したページ。ビデオウォールが接続されているかどうかと有効なメッセージも表示され、ここから削除できます。

サイトの準備（1 回のみ）

1. **データ領域**
   Cloudflare のダッシュボードで: **Storage & Databases** → **KV** → **Create**（例: `wallstatus`）。

2. **Worker**
   Workers & Pages → **Create** → **Worker** → **Edit code**: スクリプト `wallstatus-worker.js`（Windows パッケージ内、またはメッセージタブのリンクから）を貼り付け、**Deploy** を押します。

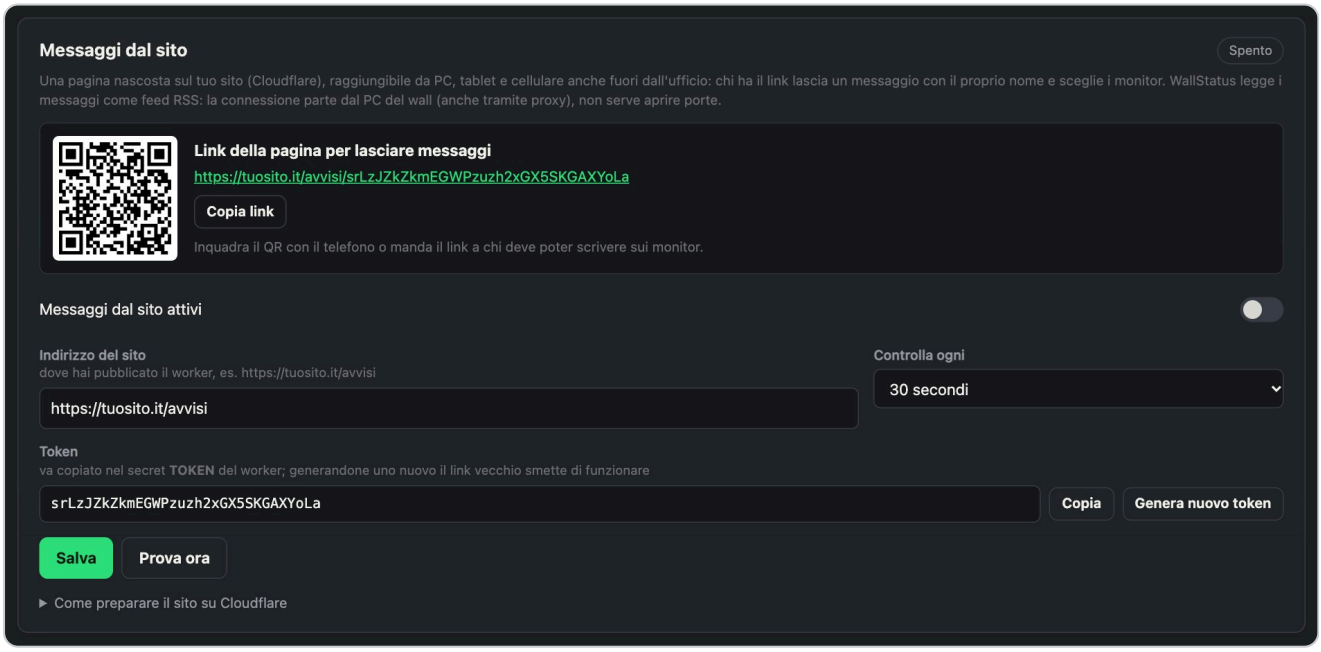
3. **KV との接続**
   worker で: **Settings** → **Bindings** → **Add** → **KV namespace**、変数名 `WS`。

4. **トークン**
   WallStatus のメッセージタブ → *サイトからのメッセージ* → **新しいトークンを生成**して**コピー**。worker で: **Settings** → **Variables and Secrets** → **Add**、種類 **Secret**、名前 `TOKEN`、トークンを貼り付けます。

5. **アドレス**
   Settings → **Domains & Routes** → **Add** → **Route**、例えば `tuosito.it/avvisi/*`、またはサブドメイン。

6. **有効化**
   WallStatus でアドレス（例: `https://tuosito.it/avvisi`）を入力し、有効にして**保存**し、**今すぐテスト**を押します。

Cloudflare の無料プランで十分です。



サイトからのメッセージ。スマートフォンで読み取る QR コード付きのページのリンク、サイトのアドレス、トークン、接続の状態。

サイトから届いたメッセージは、メッセージタブの一覧に *サイトからのラベル*と送信者名付きで表示されます。管理パネルから削除するとページからも消えます。ページが WallStatus から受け取るのは、選択肢として表示するた

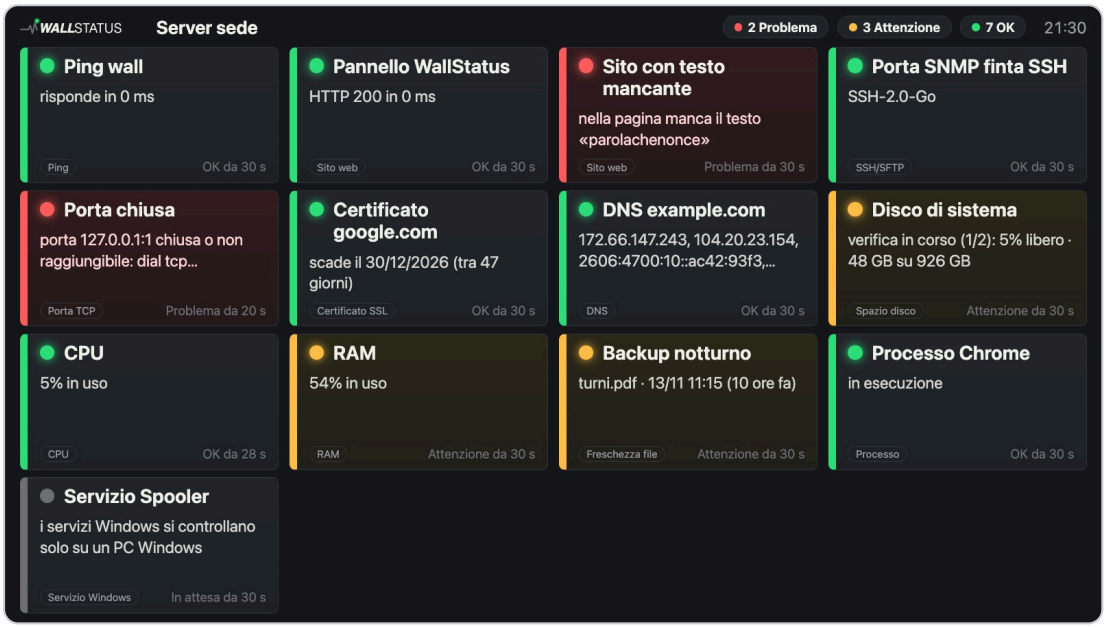
めの有効なモニターの名前のみです。

リンクが鍵です

- リンクを知っている人は誰でもモニターに書き込めます。必要な人にのみ渡してください。正しいトークンがない場合、サイトは「ページが見つかりません」と応答します。
- リンクが第三者に渡ってしまった場合は、**新しいトークンを生成**を押し、新しいトークンを worker の secret `TOKEN` にコピーしてください。古いリンクは直ちに使えなくなります。

13 サーバーモニター

サーバータブは、サーバー、サービス、ネットワークリソースを継続的にチェックし、問題が発生したときと復旧したときに通知を送信し、他のコンテンツと同様にモニターに表示できる**状態画面**を作成します。



モニターに表示した**サーバーモニターの画面**: チェックごとに 1 つの枠があり、枠は緑（正常）、黄（注意）、赤（問題）になります。

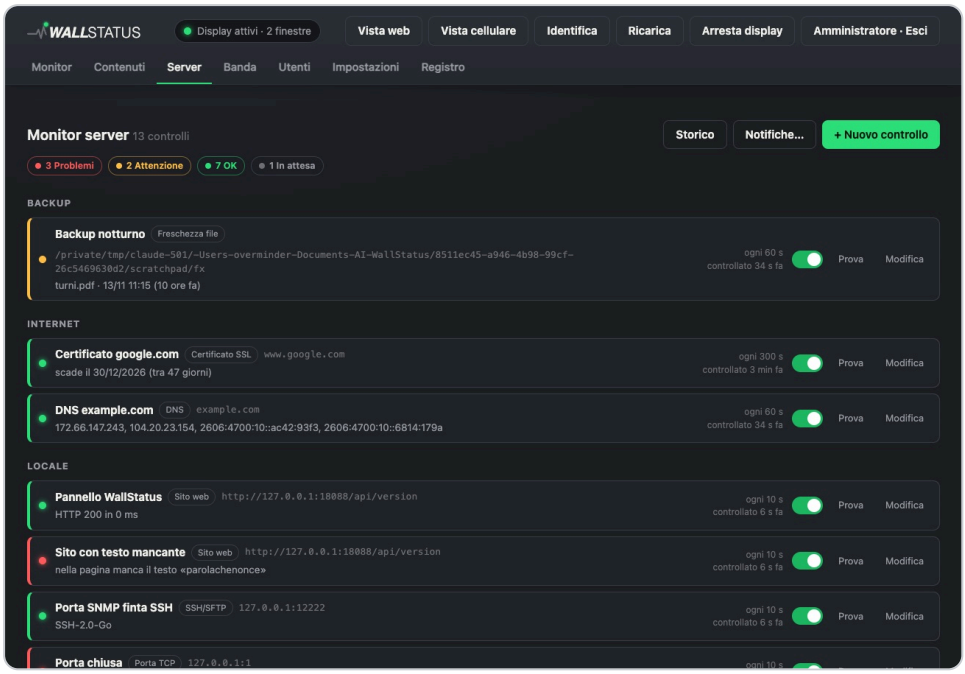
利用できるチェック

チェック	指定する内容	結果としきい値
Ping	ホストまたは IP アドレス	応答しない場合は赤。遅延（ms）による黄/赤は任意
TCP ポート	ホストとポート	ポートが閉じている場合は赤
Web サイト	アドレス、表示されるべきテキスト（任意）、HTTP のユーザー名とパスワード	HTTP エラーまたはテキストがない場合は赤。応答時間のしきい値
SSL 証明書	ホスト（ポート 443）	30 日以内に期限切れなら黄、7 日以内（変更可）または期限切れなら赤。信頼されていない場合は警告
DNS	名前解決する名前。期待する IP と DNS サーバーは任意	解決できない、または異なる IP に解決される場合は赤
ネットワークフォルダー	パス `\\server\cartella` またはファイル。ユーザー名とパスワードは任意	アクセスまたは読み取りができない場合は赤
ファイルの鮮度	ファイルまたはフォルダー（フィルター付き、例: `*.bak`）	最新のファイルをチェック: 26 時間を超えると黄、48 時間を超えると赤（変更可）。バックアップに最適
ディスク容量	ディスクまたはパス（`C:`）	空き 20% 未満で黄、10% 未満で赤

CPU / RAM	—（ビデオウォール PC）	使用率 85% 超で黄、95% 超で赤
Windows サービス	サービス名（例: `Spooler`）	実行されていない場合は赤。自動再起動は任意
プロセス	プロセス名（例: `programma.exe`）と起動コマンド	実行されていない場合は赤。自動再起動は任意
イベントログ	ログ（System、Application）と対象とする時間（分）	エラー数をカウント: 1 件から黄、10 件から赤（変更可）
FTP/FTPS、SSH/SFTP	ホストとポート	サーバーがウェルカムメッセージで応答しない場合は赤
SQL Server	ホストとポート（1433）	データベースのポートが応答しない場合は赤

Windows サービス、イベントログ、サービスの再起動は Windows でのみ動作します。サービスを再起動するには、WallStatus に管理者権限が必要です。チェックの対象は、ビデオウォール PC がネットワーク上で到達できるものです。CPU、RAM、ディスク、サービス、プロセスは PC 自体のもの（または到達可能なディスクと共有フォルダー）です。

チェックの追加



サーバータブ。グループごとに分けられたチェックと、結果、最終チェック。下部に画面。

1. **+ 新規チェック**
   種類と名前を選び、表示される項目（アドレス、ポート、しきい値など）を入力します。
2. **今すぐテスト**
   保存する前に、すぐにチェックを実行して結果を表示します。
3. **頻度**
   チェック間隔（秒）、*タイムアウト*、*アラーム前の確認回数*: 2 にすると、問題を通知する前に 2 回連続の失敗が必要になり、ping が 1 回失われただけではアラームが鳴りません。
4. **グループ**
   任意（例: 拠点、ネットワーク、バックアップ）。一覧を並べ替えます。
5. **通知**
   送信を有効にしてチャネルを選択します（下記参照）。保存します。

通知

サーバータブの**通知…**ボタン。通知は、チェックが**問題**になったときと**正常**に戻ったときに送信されます（黄色の警告でも送信するよう設定可能）。

チャネル	必要なもの
Pushover	User key と API token。**標準**と**緊急**の 2 つのアカウント。*緊急優先度*のチェックは緊急アカウントを使用し、スマートフォンがサイレントモードでも鳴り、確認されるまでアラートを繰り返します
メール	SMTP サーバー、ポート、セキュリティ（STARTTLS または TLS）、ユーザー名とパスワード、送信者と宛先（1 行に 1 つ）
Telegram	ボットのトークンと 1 つ以上の Chat ID

起動後の最初の数分間は通知しないを使うと、PC が再起動してサービスがまだ起動していない段階での誤アラームを防げます。**テスト**ボタンは各チャネルにテストメッセージを送信します。トークンとパスワードは暗号化して保存されます。

履歴

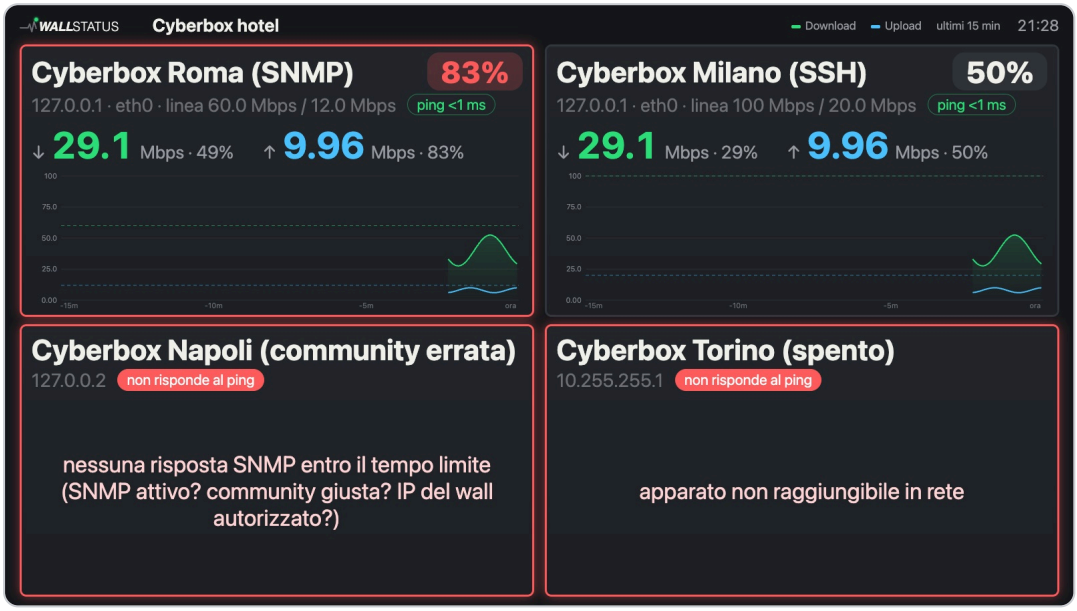
履歴ボタンはイベント（問題、復旧、自動再起動、送信されなかった通知）を一覧表示し、チェックごとに絞り込めます。履歴はデータフォルダー（`monitor\storico.jsonl`）に保存されます。

状態画面

+ 新規画面で、名前、表示するチェック（未選択 = すべて）、列数（0 = 自動）、**問題のあるチェックのみ表示**するかどうか（すべて正常なときは「すべて正常」と表示）を選択します。各画面は自動的に**サーバー · 名前**コンテンツになります。モニタータブで Web ページと同様にモニターに追加でき、ローテーションやグリッドでも使えます。**プレビュー**でブラウザーで開けます。

14 帯域モニター

帯域タブは、ネットワーク機器（Cyberbox、ルーター、ファイアウォール）のトラフィックを読み取り、ダウンロードとアップロードを Mbps で、回線帯域に対する使用率を計算し、ping を実行して、モニターに割り当てる画面にグラフを表示します。使用帯域がしきい値を超えると、各グラフの枠が**黄色**または**赤色**になります。



帯域グラフの画面。ダウンロードは緑、アップロードは水色、回線帯域は破線。黄色のしきい値を超えると黄色の枠、赤色のしきい値を超えるか機器が応答しない場合は赤色の枠。

機器の追加

1. **+ 新規機器**
   機器の名前と **IP アドレス**（または名前）。**Ping** ボタンで応答するかすぐに確認できます。
2. **読み取りモード**
   カウンターの読み取り方法（下表）を選び、SNMP コミュニティまたは SSH のユーザー名とパスワードを入力します。
3. **インターフェースを検出**
   機器のインターフェース一覧をすぐに読み取ります。表示するもの（通常はインターネット側の WAN）にチェックを入れます。フィルターがない場合は、ループバック以外がすべて表示されます。
4. **回線帯域**
   契約の**ダウンロード**帯域と**アップロード**帯域を指定します（例: 100 / 20 Mbps）。使用率はこれらの値に基づいて計算されます。空欄の場合はインターフェースが申告する速度を使用します。
5. **しきい値**
   この機器の黄色と赤色の枠。空欄の場合は全体設定（設定）が適用されます。保存します。最初の値は 2 回の読み取り後に表示されます。

モード	仕組みと必要なもの
SNMP 直接	WallStatus はビデオウォール PC から SNMP（v2c または v1）で機器に問い合わせます。機器で SNMP が有効で、指定したコミュニティが設定され、ビデオウォール PC の IP が許可されている必要があります。インストールは不要です。

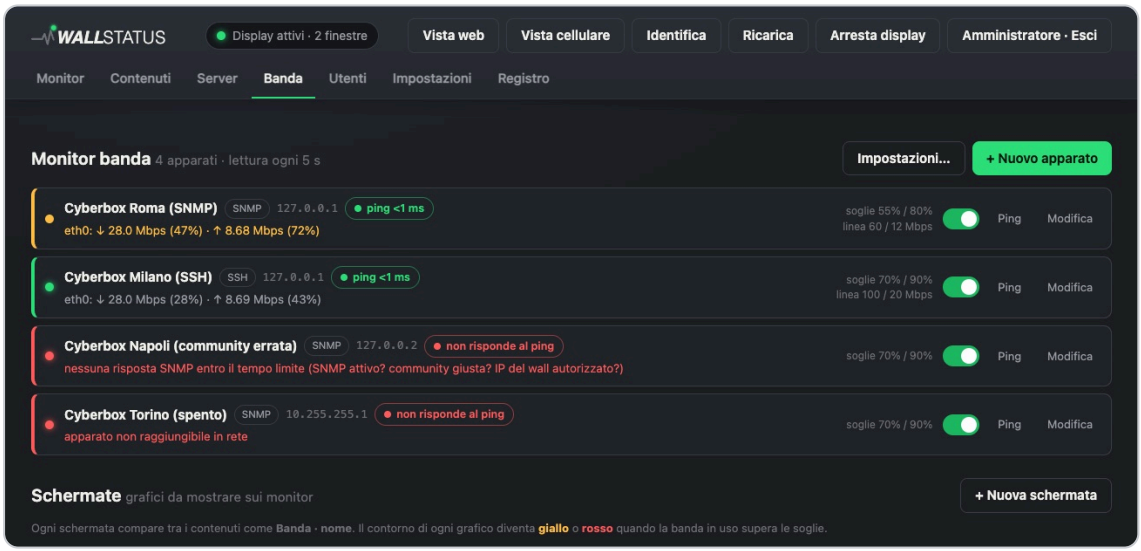
SSH ホスト経由の SNMP	別のネットワークからのみ SNMP で到達できる機器向け: WallStatus はそのネットワークの Linux サーバー（中継ホスト、設定で指定）に SSH で接続し、そこで `snmpbulkwalk`（net-snmp パッケージ）により SNMP 要求を実行します。
SSH	本物の Linux シェルを持つ機器向け: WallStatus は SSH で接続して `/proc/net/dev` を読み取ります。SNMP は不要です。多くのルーターやファイアウォールの独自コンソールでは動作しません。

値の計算方法

- ダウンロード = インターフェースの受信トラフィック、アップロード = 送信トラフィック。連続する 2 回の読み取りの間で Mbps 単位で計測します。
- 使用率 = ダウンロード/ダウンロード帯域 とアップロード/アップロード帯域 のうち大きい方。黄色のしきい値（既定 70%）から枠が**黄色**、赤色のしきい値（90%）から**赤色**になり、機器が ping や SNMP に応答しない場合も赤色になります。
- 64 ビットカウンターを持つ機器は制限なく読み取れます。32 ビットカウンターのみの場合、1 Gbps 以上の回線では読み取り間隔を 30 秒未満にしてください。

設定

設定…ボタン: 読み取り間隔（既定 30 秒）、タイムアウト、全体のしきい値、読み取りごとの ping、トラフィックのないインターフェースを非表示、**CSV への保存**（データフォルダーの `banda` に月ごとに 1 ファイル、Excel で開けます）、SSH 中継ホストの情報。



帯域タブ。各機器のモード、ping の結果、現在のトラフィックと使用率、しきい値。

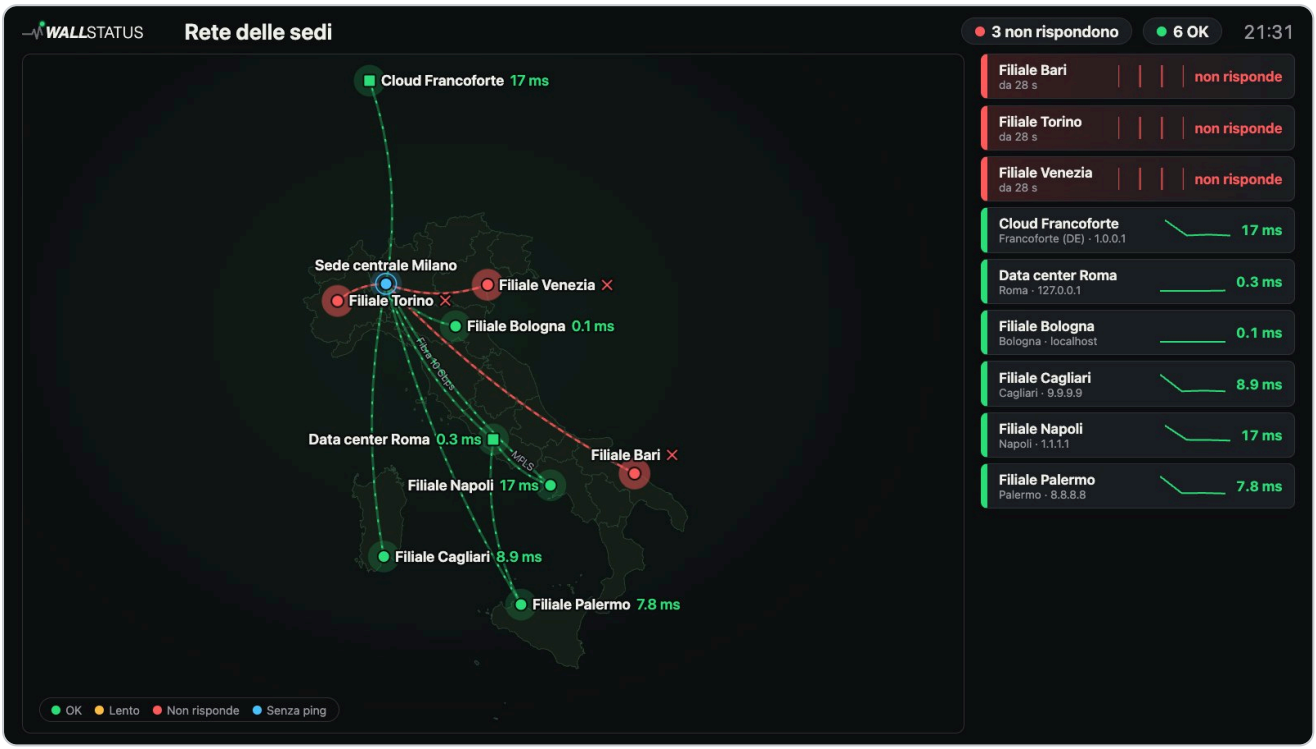
グラフの画面

+ 新規画面で、名前、機器（未選択 = すべて）、グラフに表示する期間（15 分〜6 時間）、列数を選択します。各画面はモニターに追加できる**帯域 · 名前**コンテンツになります。表示するインターフェースごとに 1 つのグラフがあり、現在の値、使用率、ping の結果が表示されます。

> **注意**
>
> - グラフは直近 6 時間分をメモリに保持し、WallStatus を再起動すると空から始まります。長期の履歴が必要な場合は CSV への保存を有効にしてください。
> - パスフレーズ付きの SSH キーはサポートされていません。キーはビデオウォール PC 上のファイルパスで指定します。

15 拠点マップ

イタリアのマップを表示する画面です。各拠点は ping の結果に応じて色分けされた点で表され、拠点間の接続には流れるパケットが表示されます。どの支店が応答しないか、または遅いかが一目でわかります。

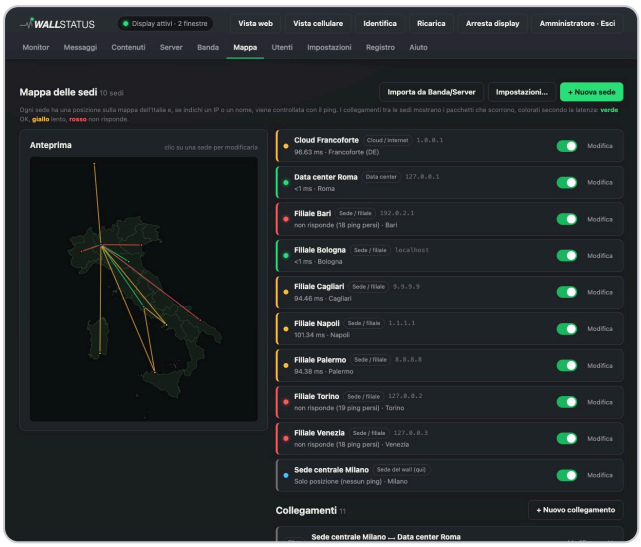


マップの画面。緑の点と接続: 正常。黄: 遅延が大きい、または ping 損失。赤の破線: 拠点が応答しない（×）。右側に ping の推移付きの拠点一覧があり、問題は上部に表示されます。

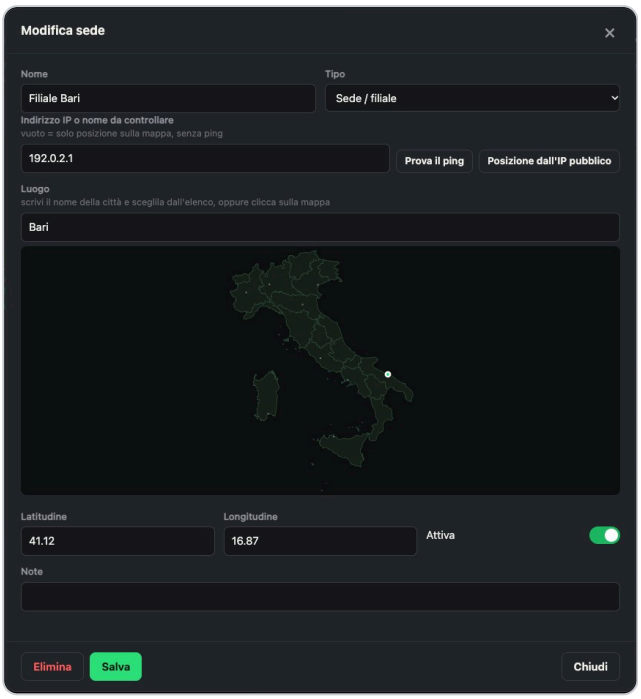
見方

要素	意味
● 点	拠点または支店。■ 四角: データセンターまたはクラウドサービス。二重丸: ビデオウォールの拠点。
色	緑 黄色のしきい値（既定 80 ms）未満で応答 · 黄 低速または ping 損失 1 回 · 赤 2 回連続で応答なし、または赤色のしきい値（250 ms）超過 · 水色 アドレスのない拠点（位置のみ）· 灰色 待機中。
接続	2 拠点のうち状態の悪い方の色になります。点は絶えず流れ、遅延が大きいほど遅くなります。ping のたびに「パケット」が拠点間を往復し（エコー）、チェック対象の拠点から波が広がります。拠点が応答しないと接続は赤の破線になり、パケットは止まります。
ラベル	拠点名と遅延（または ×）。重ならないように配置されます。イタリア国外の拠点（例: フランクフルトのデータセンター）がある場合、それを含むようにマップが広がります。

1. 拠点



マップタブ。マップのプレビュー（拠点をクリックして編集）、ping の結果付きの拠点一覧、接続。



拠点。名前、種類、チェックするアドレス、位置: 一覧からの都市、マップのクリック、または座標。

1. **+ 新規拠点**
   マップタブ（*監視*権限）→ **+ 新規拠点**。

2. **名前と種類**
   例:「ボローニャ支店」、種類 *拠点 / 支店*、*データセンター*、*クラウド / インターネット*、または*ビデオウォールの拠点*。

3. **チェックするアドレス**
   ビデオウォール PC から到達できる、拠点のルーターまたはサーバーの IP または名前（例: `10.20.1.1`）。**ping をテスト**ですぐに確認できます。空欄 = チェックなしでマップに表示されます（本社などに便利）。

4. **位置**
   場所欄に都市名を入力して一覧から選択します（県都、主要な市町村、データセンターのある一部の海外都市）。緯度と経度は自動的に入力されます。またはマップ上の正確な位置をクリックします。または完全な**住所**を入力して**住所を検索**を押します（後述）。

帯域/サーバーからインポート · パブリック IP から位置を取得

帯域/サーバーからインポートは、帯域タブの機器とサーバータブの *Ping* チェックから一度に拠点を作成します（その後配置が必要で、「要配置」と表示されます）。**パブリック IP から位置を取得**は、無料サービス ip-api.com を使ってパブリック IP アドレスのおおよその都市を取得します（送信前に確認を求めます）。内部ネットワークのアドレス（10.x、192.168.x など）の場合は、位置を手動で選択してください。

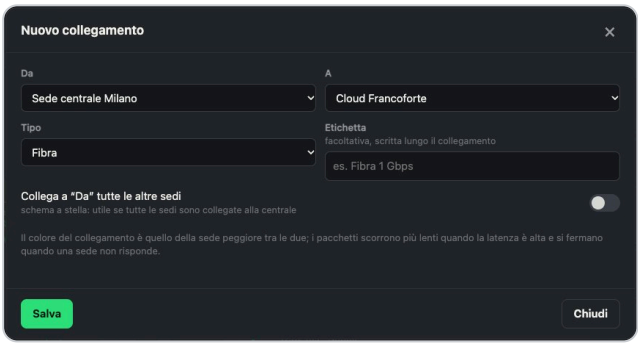
住所、ズーム、複数の拠点の削除

- **住所**：拠点のウィンドウで通常の形式で住所を入力し（例：`Via Recanati, 26, 98035 Giardini Naxos ME`）、**住所を検索**（または Enter）を押します。緯度、経度、場所が自動的に入力され、見つかった地点にマップがズームします。通りが見つからない場合は、拠点は市町村の位置に置かれます（おおよその位置で、その旨が表示されます）。マップをクリックして修正できます。検索には公開サービス **OpenStreetMap Nominatim** を使用します。初回の検索時に、WallStatus は住所を送信する前に確認を求めます。住所は拠点に保存され、一覧に表示されます。
- **ズーム**：プレビューと拠点ウィンドウのマップでは、**マウスホイール**（ポインターの方向へ拡大）または右上の **+** と **–** ボタンを使います。ドラッグで移動し、⟲ で全体表示に戻ります。プレビューではダブルクリックでも拡大します。一覧が更新されてもズームは保持されます。
- **複数の拠点の削除**：削除する拠点の左側のチェックボックスをオンにし（または一覧上部の**すべて選択**）、**選択項目を削除**を押します。確認後、拠点はその接続とともに削除され、画面からも取り除かれます。たとえば*帯域/サーバーからインポート*の後に便利です。選択した拠点はプレビューでも強調表示されます。

2. 接続

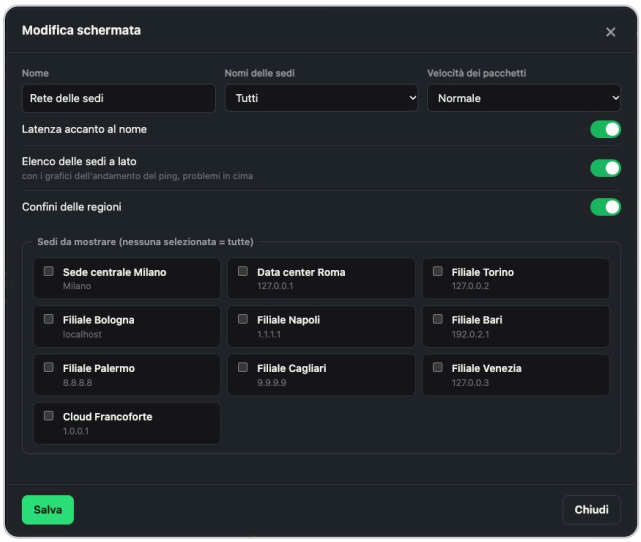
+ 新規接続: 2 つの拠点（*接続元*と*接続先*）、種類（光回線、VPN、MPLS、無線中継、その他）、線に沿って表示する任意のラベル（例:「光回線 1 Gbps」）を選択します。

他のすべての拠点を「接続元」に接続を使うと、スター型構成（すべての支店を本社に接続）を一度に作成できます。接続は × で削除でき、拠点を削除すると自動的に削除されます。



新規接続。

3. 画面



マップの画面。

+ 新規画面: 各画面は**マップ・名前**コンテンツになり、モニタータブからモニターに割り当てられます（グリッドやローテーションでも可）。オプション:

- **拠点名**: すべて、問題のあるもののみ、なし
- **名前の横に遅延を表示**
- 直近 30 回の ping のグラフ付きで**横に拠点の一覧を表示**
- **州の境界**
- **パケットの速度**（低速、標準、高速）
- **表示する拠点**: すべて、または選択したもののみ（例: 地域ごとの画面）

プレビュー ↗でブラウザーのタブで開けます。

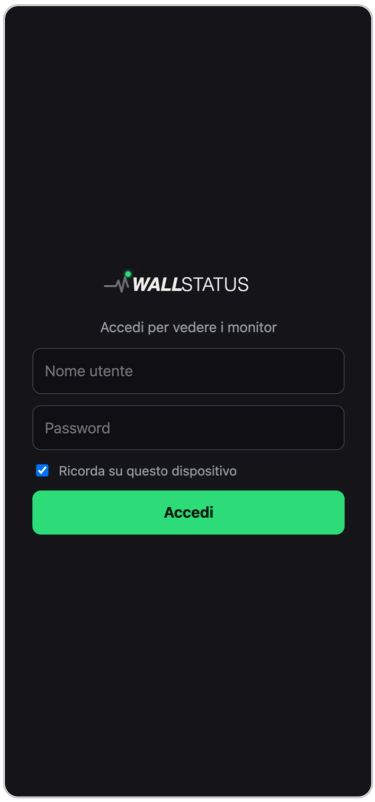
設定

設定…ボタン: ping 間隔（既定 10 秒）、最大応答時間（2 秒）、赤になるまでの連続 ping 損失回数（2）、遅延の黄色と赤色のしきい値（ミリ秒）。重要な状態変化（拠点が応答しない、再び到達可能）はログに記録されます。**通知**（Pushover、メール、Telegram）も受け取るには、同じ拠点をサーバータブで *Ping* チェックとして追加してください。

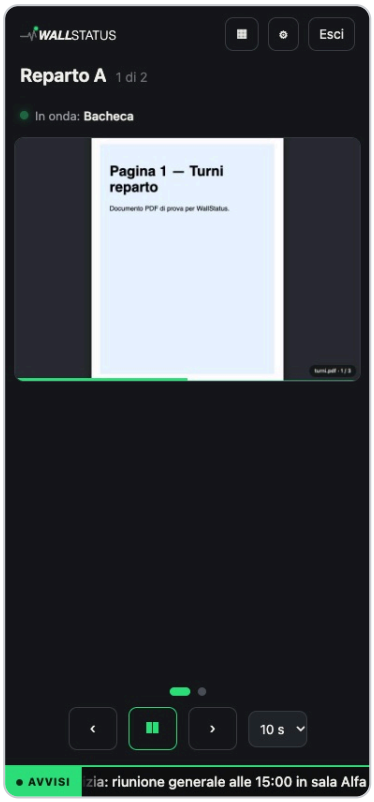
> **注意**
>
> - ping はビデオウォール PC から送信されます。拠点が「赤」の場合、ビデオウォールから拠点への経路が途切れているか、ファイアウォールが ping（ICMP）をブロックしている可能性もあります。
> - マップはプログラムに含まれており（ISTAT の州境界データ、CC BY 4.0）、インターネットなしでも動作します。

16 携帯電話とブラウザーからの表示

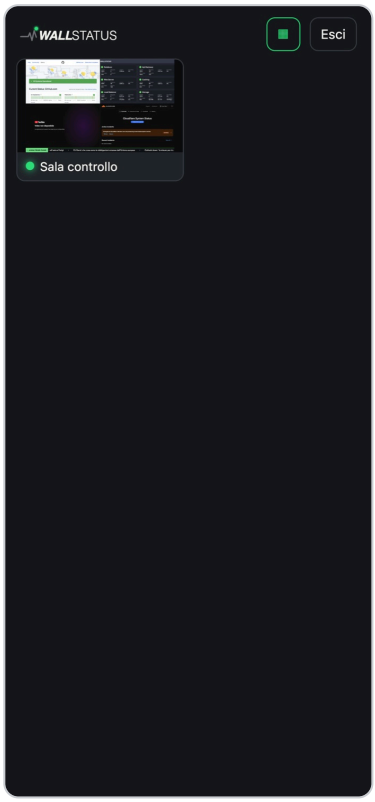
スマートフォン（またはタブレット）から、ビデオウォールの各モニターが表示している内容を確認できます。画面はローテーションで切り替わり、画像は 3 秒ごとに更新されます。



ログイン



モニターのローテーション



すべてのモニター

有効化（1 回のみ）

1. **ネットワークからのアクセスを有効にする**
   ビデオウォール PC で: 設定 → **ネットワークと携帯電話からのアクセス** → *ネットワーク内の他の PC や携帯電話からのアクセスを許可*を有効にします。

2. **閲覧者用のユーザー**
   ユーザータブで**映像の閲覧**権限を持つユーザー（クイックテンプレート *映像の閲覧のみ*）を作成し、閲覧できるモニターと、必要に応じて有効期限を選択します（第 17 章）。このユーザーはモニターを閲覧できますが、何も変更できません。

3. **スマートフォンでページを開く**
   スマートフォンをビデオウォールと**同じ Wi-Fi ネットワーク**に接続し、設定に表示される **QR コード**をカメラで読み取るか、その下に表示されるアドレス（例: `http://192.168.1.50:8088/mobile`）を入力します。

4. **ログイン**
   ユーザー名とパスワードを入力します。*このデバイスで記憶する*を有効にすると、セッションは 30 日間（WallStatus が再起動するまで）維持されます。

使い方

操作	機能
‹ › または指でスワイプ	前 / 次のモニター
⏸ / ▶ または画像をタップ	ローテーションの一時停止 / 再開
5 s … 60 s	各モニターの表示時間（スマートフォンに記憶されます）
▦	すべてのモニターをサムネイルで一覧表示します。サムネイルをタップすると開きます
下部の丸	モニターごとに 1 つの丸。タップするとそのモニターに直接移動します
⚙	管理パネルを開きます（管理権限を 1 つ以上持つユーザーのみ）
ログアウト	スマートフォンのセッションを終了します

アプリのように使う

iPhone: Safari → 共有 → **ホーム画面に追加**。Android: Chrome → メニュー ⋮ → **ホーム画面に追加**。WallStatus がアイコン付きで全画面で開きます。スマートフォンを横向きにすると、画像が画面全体に表示されます。

注意

- 画像はモニターのスナップショットです。スマートフォンからは閲覧のみで、ページを操作することはできません。音声と動く映像は送信されません（ライブ映像はブラウザーからの表示を使用してください。次ページ参照）。
- すべてのモニターのティッカーが、ページ下部のバーに順番に流れます。
- 表示されるのは、有効で画面に接続されているモニターのみです。
- 社内ネットワークの外からは、VPN 経由でのみページにアクセスできます。

16 ブラウザーからの表示: /Monitor01、/Monitor02…

各モニターが HDMI（または DisplayPort）ケーブルに出力している内容は、ネットワーク内のどのブラウザーからでもライブで表示できます。監視室のサブ画面、スマートテレビ、ビデオウォールを監督する人の PC などで便利です。



Web ビュー。モニターのライブ映像。上部に名前と放映中のコンテンツ（数秒後に消えます）、下部にフィードの共通バー。

アドレス	表示内容
`http://<indirizzo-del-wall>:8088/Monitor01`	モニタータブの最初のモニター（`/Monitor02` は 2 番目、以下同様、仮想モニターも含む）。番号はモニター名の横の小さな四角に表示されている番号です。各モニターのカードにも *Web ビュー*のリンクがあります。
`http://<indirizzo-del-wall>:8088/Reception`	*リンク内の名前*に「Reception」を設定したモニター（第 6 章）
`http://<indirizzo-del-wall>:8088/Monitor`	有効なすべてのモニターを携帯電話と同様にローテーション表示（各 10 秒。変更するにはアドレスに例えば `?t=20` を追加）

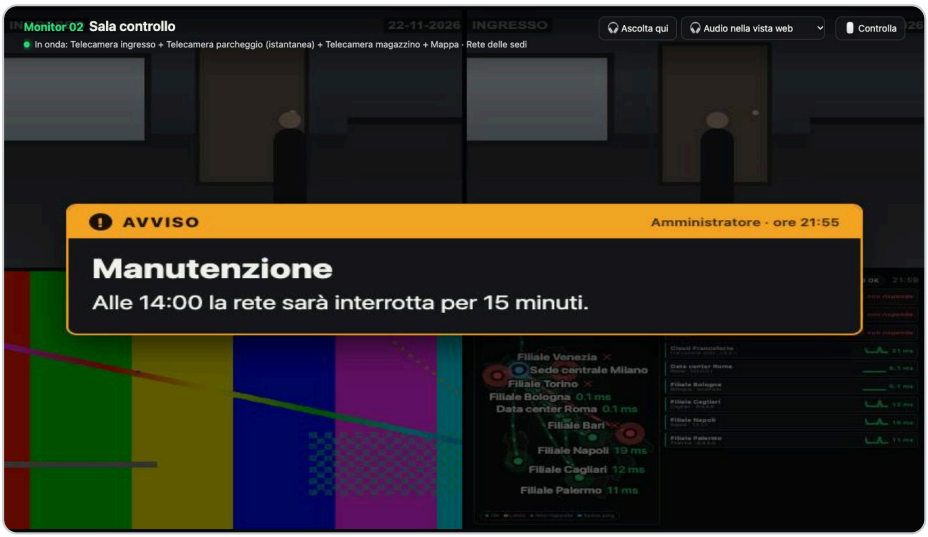
完全なアドレスは 設定 → ネットワークと携帯電話からのアクセス に一覧表示されます。映像はライブで（最大で毎秒約 8 フレーム、音声は送信されません）、誰かが閲覧している間だけキャプチャされます。

アクセス

携帯電話ビューと同様に、ネットワークからのアクセスが有効で、**映像の閲覧**権限を持つユーザー（第 17 章）が必要です。ユーザーは割り当てられたモニターのみを、有効期間内に限り閲覧できます。*このデバイスで記憶する*を使うとアクセスは 30 日間有効です。スマートテレビなどキーボードのない画面の場合は、設定で**パスワードなしのモニタービュー**を有効にできます。ネットワーク内の誰でも `/Monitor` と `/mobile` を閲覧できますが、何も変更できません。

操作	機能
ダブルクリックまたは `F` キー	全画面
操作	モニターのリモート操作（下記参照、ディスプレイ権限を持つユーザーのみ）
`←` `→` または右上の丸	前 / 次のモニター（`/Monitor` の場合）

Space	ローテーションの一時停止 / 再開
🎧 **ここで聴く**	放映中のコンテンツ（動画、ライブ配信、カメラ）の音声を自分のブラウザーで再生します。モニターの音声が「Web ビューで」または「両方」の場合に表示されます
音声メニュー	ディスプレイ権限を持つユーザー向け: モニターの音声の出力先（ビデオウォール、Web ビュー、両方）を選択します

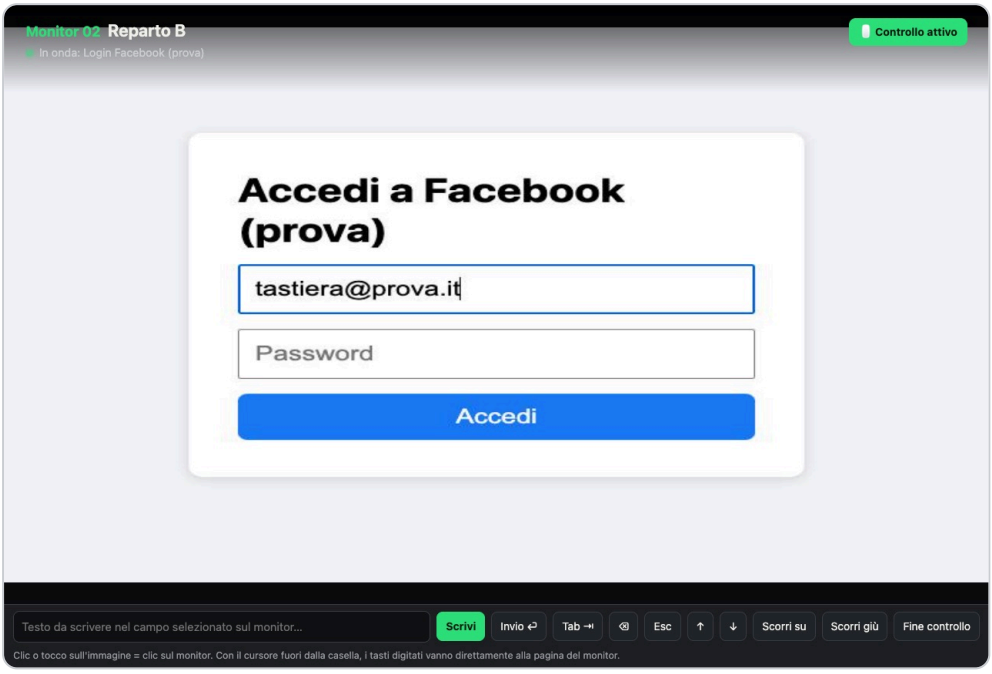


Web ビューでの音声。 右上に*ここで聴く*とオーディオ出力の選択。

> **ブラウザーでの音声**
> 音声はソース（YouTube、HLS ストリーム、カメラ、動画）から直接ブラウザーで再生されるため、映像より数秒進んだり遅れたりすることがあります。一般的な Web ページにはここで聴ける音声はありません。

リモート操作: モニター上でクリック・入力する

Web ビュー（`/Monitor01`、`/Reception`…）から、**ディスプレイ**権限を持つユーザーは、自分の PC やスマートフォンからモニターに表示されているページを操作できます。例えば、Facebook や 2 段階認証のあるサイトへの初回ログイン、お知らせを閉じる、オプションを選択するといった操作を、ビデオウォールの前に行かずに行えます。



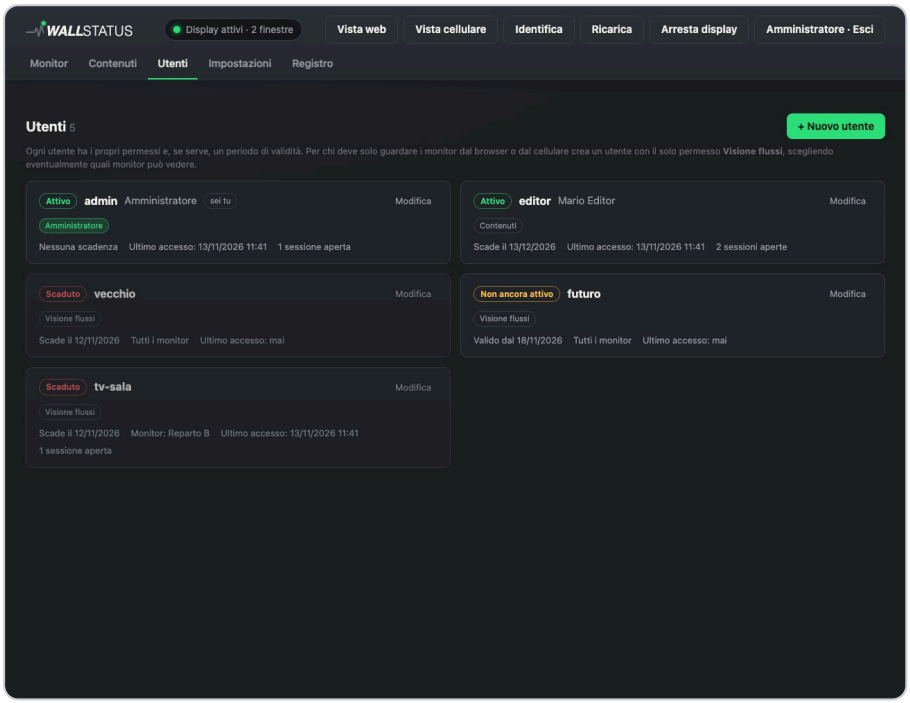
操作中。画像が緑の枠で囲まれ、下部に入力用のバーと特殊キーがあります。

1. **開始する**
   右上の **操作**を押します（ローテーションは停止します）。
2. **クリックする**
   画像をクリック（スマートフォンではタップ）すると、モニターの同じ位置でクリックされます。マウスホイールでページをスクロールします。
3. **入力する**
   PC ではそのまま入力するだけで、キーはモニターのページに直接送られます（Enter、Tab、矢印、Backspace を含む）。スマートフォンでは下部のバーの入力欄に入力して**入力**を押します。**Enter**、**Tab**、⌫、**Esc**、矢印、**スクロール**の各ボタンで特殊キーを送信します。
4. **終了する**
   操作終了を押します。

画像はライブで更新されるため、結果をすぐに確認できます。ログには誰がいつリモート操作を使用したかが記録されますが、入力したテキスト（パスワードを含む可能性があります）は記録されません。仮想モニターでも動作します。

17 ユーザーと権限

ユーザータブ（管理者のみ表示）では、ビデオウォールを管理する人と、モニターの映像を閲覧するだけの人のアカウントを作成します。ユーザーごとに、できること、閲覧できるモニター、アカウントの有効期間を選択します。



ユーザータブ。各ユーザーの状態（有効、期限切れ、まだ有効ではない、無効）、権限、有効期間、表示可能なモニター、最終ログイン、セッション。

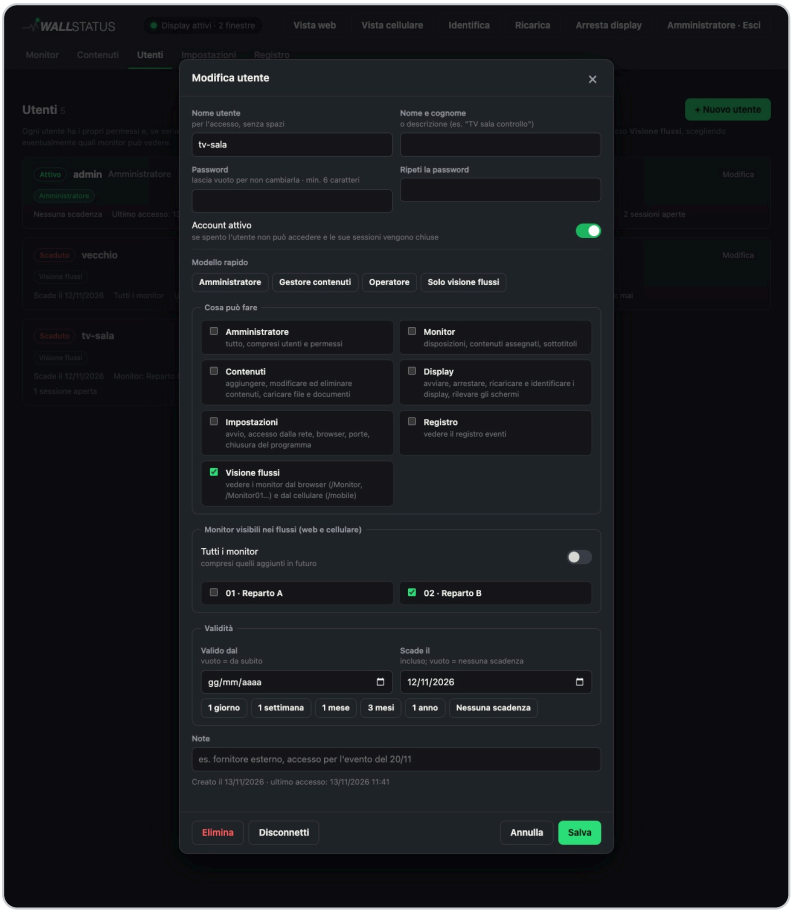
権限

権限	許可される操作
管理者	ユーザータブ（ユーザーの作成、編集、無効化、削除）を含むすべて。他のすべての権限を含みます。ほかの管理者を含むすべてのユーザーのパスワードをリセットできます。
モニター	モニタータブ: レイアウト、割り当てられたコンテンツ、物理画面、ティッカー
コンテンツ	コンテンツタブ: コンテンツの追加・編集・有効化・削除、ファイルや文書のアップロード
ディスプレイ	ディスプレイの起動/停止、再読み込み、識別、画面の検出、ディスプレイの再起動
設定	起動、ディスプレイ、ネットワークからのアクセス、ブラウザー、ポート、WallStatus の終了
ログ	最近のイベントを表示するログタブ。各行に操作を実行したユーザーが表示されます。直近 30 日分が保存されます。
メッセージ	**メッセージ**タブ: モニターへのメッセージの送信と削除、サイト上のページのリンクの表示（第 12 章）
監視	**サーバー**タブと**帯域**タブ: チェック、通知、機器、画面（第 13 章、第 14 章）

映像の閲覧	ブラウザーからの表示（`/Monitor`、`/Monitor01`…）と携帯電話ビュー（`/mobile`）。選択したモニターに限定されます

管理パネルは各ユーザーに許可されたタブとボタンのみを表示し、WallStatus は操作のたびに権限をチェックします。*映像の閲覧*のみを持つユーザーは、直接携帯電話ビューに移動します。すべてのユーザーは、権限にかかわらず、設定 → **マイアカウント**で自分のパスワードを変更できます。

ユーザーの作成と編集



テレビ用のユーザー: *映像の閲覧*のみ、モニター 02 のみ、有効期限付き。

1. **新規ユーザー**
   ユーザータブ → **+ 新規ユーザー**（または既存のユーザーをクリックして編集）。

2. **ユーザー名とパスワード**
   ユーザー名はログインに使用します（3〜40 文字、スペース不可）。*氏名*は自由な説明で、例えば「監視室のテレビ」のように入力します。パスワードは 8 文字以上、*映像の閲覧*のみのユーザーは 6 文字以上です。既存のユーザーのパスワードは**パスワードをリセット**で変更します（後述）。

3. **パスワードの変更が必要**
   新しいユーザーでは既定でオンです。初回ログイン時に、ユーザーは受け取ったパスワードを本人だけが知る自分のパスワードに置き換える必要があります。テレビや共有画面で使うアカウントではオフにしてください。

4. **権限**
   できることにチェックを入れるか、**クイックテンプレート**から始めます: *管理者*、*コンテンツ管理*（コンテンツ、モニター、閲覧）、*オペレーター*（ディスプレイ、ログ、閲覧）、*映像の閲覧のみ*。

5 **表示可能なモニター**
*映像の閲覧*権限を持つユーザーの場合: **すべてのモニター**（今後追加されるものを含む）、またはチェックを入れたもののみ。それ以外は Web ビューにも携帯電話にも表示されず、対応する `/MonitorNN` アドレスは利用できません。逆に、モニターのカードの*閲覧できるユーザー*から設定することもできます（第 6 章）。

6 **有効期間**
*有効開始日*と*有効期限*（当日を含む）。1 日、1 週間、1 か月、3 か月、1 年のボタンで有効期限をワンクリックで入力できます。空欄 = 制限なし。

7 **保存**
ユーザーはすぐに（または開始日から）ログインできます。

有効期限、無効化、セッション

- 有効期限の翌日からユーザーはログインできなくなります。ログイン中だった場合は、Web ビューや携帯電話であっても**次の操作時に切断**されます。ログインしようとすると「アカウント有効期限切れ: …」と表示されます。開始日より前は「アカウント有効開始日: …」と表示されます。
- 一覧では、7 日以内に期限切れになるアカウントが残り日数とともにオレンジ色で強調表示されます。延長するには日付を変更するだけです。
- **アカウント有効**をオフ: ユーザーを削除せずにブロックし、そのセッションを直ちに終了します。
- **切断**はすべてのデバイスで開いているセッションを終了します（例えばスマートフォンを紛失した場合）。パスワードを変更しても同じ効果があります。
- **削除**はユーザーとそのセッションを削除します。

パスワードのリセットと変更の強制

Microsoft Active Directory と同じ仕組みです。管理者が仮パスワードを割り当て、ユーザーは初回ログイン時にそれを自分のパスワードに置き換える必要があります。

1 **ユーザーを開く**
ユーザータブ → ユーザー（ほかの管理者も可）をクリック → **パスワードをリセット**。

2 **新しいパスワード**
2 回入力します（8 文字以上、*映像の閲覧*のみのユーザーは 6 文字以上）。

3 **次回ログイン時にパスワードの変更が必要**
ユーザーに伝える仮パスワードの場合はオンのまま（既定）にし、最終的なパスワードの場合はオフにします。

4 **リセット**
パスワードはすぐに変更され、そのユーザーの開いているセッションはすべてのデバイスで終了されます。

- この設定がオンの場合、ユーザーはログイン後に**パスワードの変更が必要**画面を見ます。新しいパスワードを 2 回入力し、**パスワードを変更**をクリックします。変更するまでは管理パネル、Web ビュー、携帯電話ビューを使用できません。Web ビューや携帯電話からは変更画面に移動し、変更後に元の場所へ戻ります。
- 新しいパスワードは仮パスワードと異なる必要があります。
- **次回ログイン時にパスワードの変更が必要**スイッチはユーザーカードにもあります。すでにログインしているユーザーに対してオンにすると、次の操作時に変更が求められます。
- ユーザー一覧では、まだパスワードを変更する必要があるユーザーにオレンジ色の*パスワードの変更が必要*ラベルが付きます。ログにはリセットと変更が記録されます。

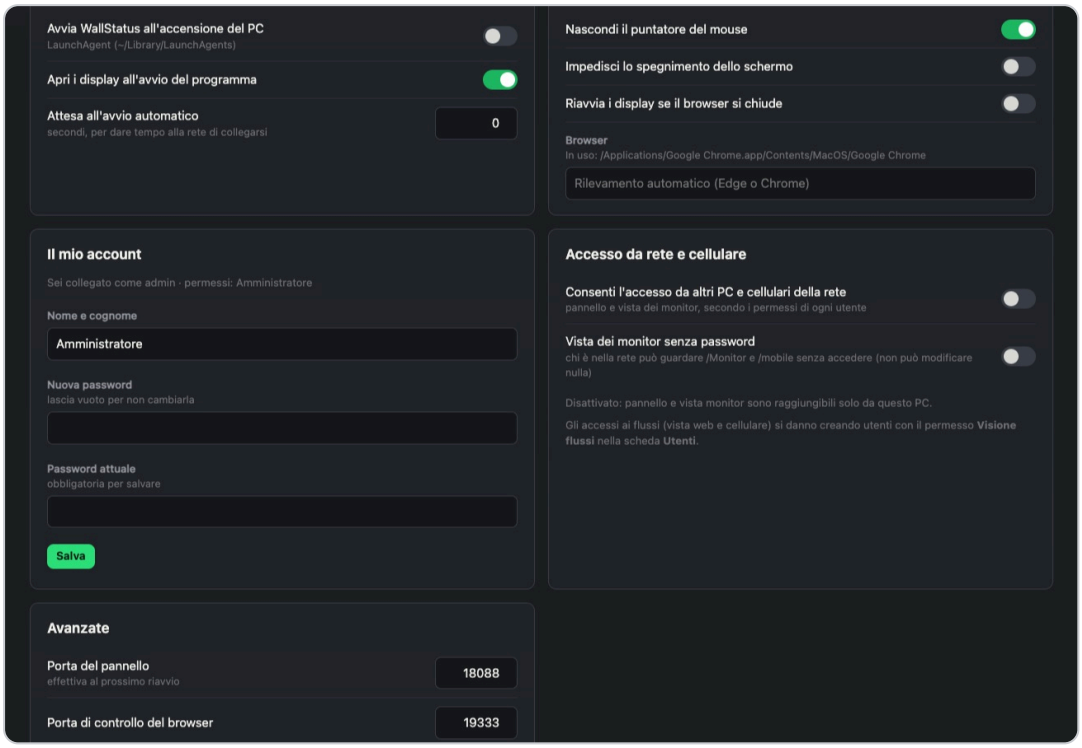
> **管理者は最低 1 人**
>
> 有効で**有効期限のない**管理者が常に少なくとも 1 人必要です。WallStatus はその管理者の無効化、期限切れ設定、削除を許可せず、誰も自分のアカウントを削除できません。管理者のパスワードを忘れた場合は第 21 章を参照してください。

例

用途	作成するユーザー
ビデオウォールを表示する監視室のスマートテレビ	*映像の閲覧*のみ、すべてのモニター、期限なし。テレビで `/Monitor` を開き、*このデバイスで記憶する*を有効にしてログイン
自部署のモニターだけをスマートフォンで確認する部署責任者	*映像の閲覧*のみ、部署のモニターのみ
イベントの外部業者	*映像の閲覧*のみ、イベント終了時に期限切れ
お知らせや文書を更新する広報部門	テンプレート *コンテンツ管理*
ディスプレイを再起動する当番の技術者	テンプレート *オペレーター*
3 か月間のインターン	必要な権限、有効期間で *3 か月*ボタン

以前のバージョンから更新すると、管理者アカウントと「閲覧のみ」アカウント（存在する場合）は、同じパスワードのまま自動的にユーザーに変換されます。

18 設定とアカウント



設定タブ。起動、ディスプレイ、マイアカウント、Web ビューのアドレスと携帯電話用の QR コードを含むネットワークからのアクセス。表示される項目はユーザーの権限によって異なります。

設定	説明
起動時に開始	ユーザーのログイン時に WallStatus を自動的に起動します
起動時にディスプレイを開く	オフの場合、起動時には管理パネルのみが開きます
自動起動時の待機時間	電源投入後、ネットワーク接続を待つための待機秒数（既定 8）
静止時にポインターを非表示	4 秒間操作がないとマウスの矢印を非表示にします。マウスを動かすとすぐに再表示されるので、クリックできます（例えば承諾が必要な画面など）
画面がオフにならないようにする	画面をオンのままにし、スタンバイを防ぎます
ディスプレイを再起動	ブラウザーが終了またはフリーズした場合、WallStatus が自動的に再度開きます
ブラウザー	自動検出の場合は空欄。または特定のブラウザーのパスを指定します
パスワードなしのモニタービュー	ネットワーク内の誰でもログインせずに Web ビューと携帯電話ビューを閲覧できるようにします（閲覧のみ）。既定ではオフです
キーの組み合わせ	*ディスプレイを閉じて管理パネルを開く*（既定 `Ctrl` + `Alt` + `Shift` + `A`）と *強制終了*（既定 `Ctrl` + `Alt` + `Shift` + `Q`）。*ビデオウォールのキーボードショートカット*欄で設定します（第 20 章）
インターネット用プロキシ	RSS フィードとサイトからのメッセージ用のプロキシ。空欄 = Windows の設定（第 19 章）

ポート切り替え機能	リモート デスクトップ、管理パネル、その他のアプリケーションを同じポートで提供（Windows のみ、管理者のみ、第 19 章）
管理パネルのポート	既定は 8088。別のプログラムがすでに使用している場合のみ変更してください（再起動時に有効）

マイアカウント

各ユーザーは自分の名前を更新し、パスワードを変更できます: 設定 → **マイアカウント** → 新しいパスワード → **現在のパスワード** → **保存**。パスワードを変更すると、他のデバイスで開いているセッションは終了されます。ユーザー名、権限、有効期限は、管理者がユーザータブで変更します（第 17 章）。管理者がパスワードの変更を必須にした場合は、ログイン直後に新しいパスワードを設定する必要があります（第 17 章）。

別の PC からの管理

1. **ネットワークからのアクセスを有効にする**
   ビデオウォール PC で: 設定 → **ネットワークと携帯電話からのアクセス** → *ネットワーク内の他の PC や携帯電話からのアクセスを許可*を有効にします。使用するアドレス（例: `http://192.168.1.50:8088/admin`）と携帯電話ビューの QR コードが表示されます。
2. **接続する**
   自分の PC から任意のブラウザーで管理パネルのアドレスを開き、自分のユーザーでログインします。権限で許可されたタブが表示されます。

映像ストリーム用のユーザー

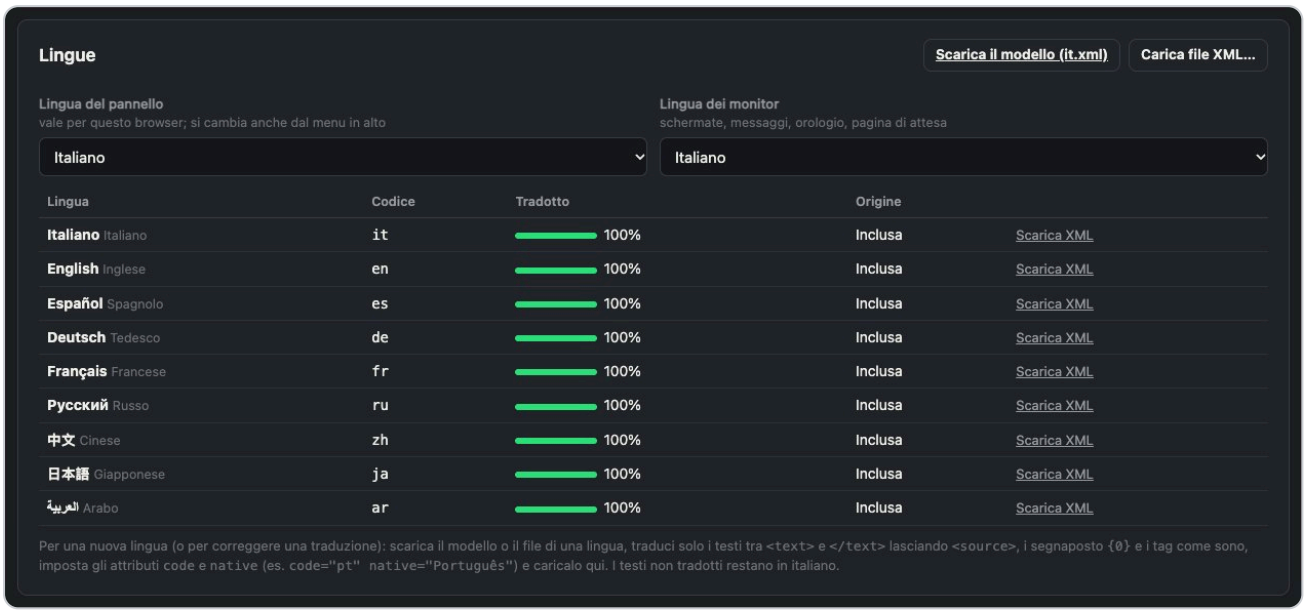
Web ビューと携帯電話ビューへのアクセスは、ユーザータブ（第 17 章）で**映像の閲覧**権限を持つユーザーを、表示可能なモニターと有効期限を指定して作成することで付与します。内部ネットワークのみの場合は、代わりに**パスワードなしのモニタービュー**で全員に閲覧を開放することもできます。

> **ヒント**
> IT 部門に依頼してビデオウォール PC に**固定 IP アドレス**（または DHCP 予約）を割り当ててもらうと、管理パネルと携帯電話ビューのアドレスが変わりません。

5 分間に 5 回ログインに失敗すると、そのアドレスからのアクセスは一時的に停止され、失敗した試行はログに記録されます。ネットワークからのアクセスを無効にすると、管理パネルと携帯電話ビューにはビデオウォール PC からのみアクセスできるようになります。ログには成功したログイン、期限切れまたは無効なアカウントによる拒否、ユーザーの変更も記録されます。

言語

WallStatus は**イタリア語、英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、日本語、アラビア語**（アラビア語は右から左への表記）で利用できます。



設定 → 言語。管理パネルの言語、モニターの言語、翻訳済みテキストの割合付きのインストール済み言語。

- **管理パネルの言語**: 右上のメニュー、または 設定 → 言語 から選択します。使用中のブラウザーに適用されます（各自が自分の言語を使えます）。初回は WallStatus がブラウザーの言語を提案します。Web ビューと携帯電話ビューもこの選択を使用します。
- **モニターの言語**（設定権限）: サーバー、帯域、マップ、Traceroute の画面、メッセージ、時計、待機ページの言語です。モニターは自動的に再読み込みされます。
- 日付と時刻は選択した言語の慣習に従います（例: イタリア語では 22/11/2026、米国では 11/22/2026）。

XML ファイルによる言語: 言語の修正と追加

各言語は 1 つの XML ファイルです。各テキストは 2 回現れます: イタリア語の原文を含む `<source>` と、翻訳を含む `<text>` です:

```
<language code="pt" name="Portoghese" native="Português" dir="ltr" locale="pt-PT">
  <string id="3f9a1c20"><source>Monitor salvati</source><text>Monitores guardados</text>
</string>
  …
</language>
```

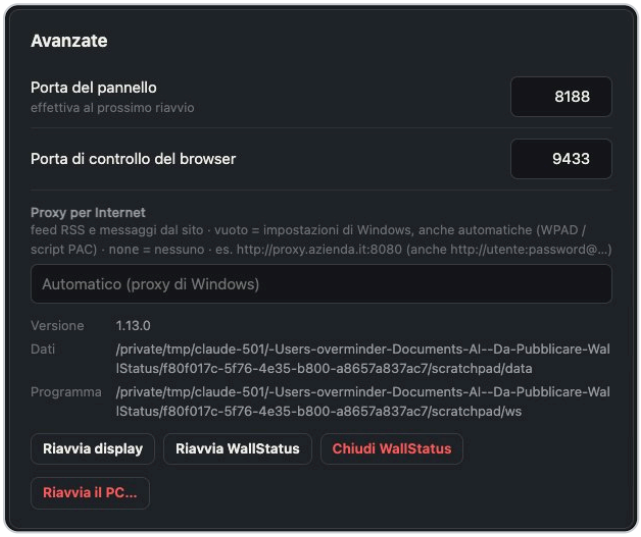
1. **ダウンロードする**
   新しい言語の場合は 設定 → 言語 → **テンプレートをダウンロード（it.xml）**、言語を修正する場合はその言語の横にある **XML をダウンロード**。同じ言語ファイルはサイトからもダウンロードできます。

2. **翻訳する**
   テキストエディター（UTF-8 で保存できるもの）で `<text>` の内容のみを翻訳します。`<source>`、プレースホルダー `{0}`、`{1}`…、タグ `<b>`、`<code>`、`<kbd>` はそのまま残します。新しい言語の場合は、`code`（例: `pt`）、`native`（その言語での言語名）、`dir`（右から左に書く言語は `rtl`）、`locale` の各属性を設定します。

3 **アップロードする**
設定 → 言語 → **XML ファイルをアップロード…**: 言語がすぐにメニューに翻訳率付きで表示されます。空欄のままのテキストはイタリア語のままです。

アップロードした言語は、更新後もデータフォルダー（`lang`）に残ります。**削除**するとプログラムに同梱の翻訳に戻ります。新しいバージョンでテキストが追加された場合、**XML をダウンロード**するとそれらが末尾に空欄で「da tradurre」（要翻訳）の注記付きで挿入されます。イベントログはイタリア語のままです。

WallStatus または PC の再起動



設定 → 詳細設定。

- **WallStatus を再起動**（設定権限）：プログラムを終了して再度開きます。ディスプレイは数秒後に再び開き、管理パネルは自動的に再読み込みされます。ポートの変更後や問題発生時に便利です。
- **PC を再起動…**（管理者のみ）：待機秒数（5〜600、既定 30）を尋ね、ビデオウォールのコンピューターを再起動します。その間、ログイン中のすべてのユーザーの管理パネル上部に、**再起動を取り消す**付きのお知らせが表示されます。



再起動のカウントダウン。

PC の再起動後

- ビデオウォールが自動的に再開するには、OS へのユーザーの**自動ログイン**と*PC の起動時に WallStatus を起動*が必要です（第 4 章）。
- Windows は開いているプログラムを確認なしで終了します。Mac では初回、macOS が WallStatus に「System Events」の制御を許可するよう求めます（システム設定 → プライバシーとセキュリティ → オートメーション）。

シャットダウンと再起動のスケジュール



スケジュール → シャットダウンと再起動のスケジュール（管理者のみ）。

- 「**スケジュール**」タブの、スケジュールされたコンテンツの下で設定します。時刻と曜日を選びます（例：月曜から金曜の 20:00 にシャットダウン）。
- **+ 時刻を追加**: *PC をシャットダウン*または *PC を再起動*、時刻、曜日、**事前通知**（なし〜30 分）を設定し、**保存**を押します。スイッチで各時刻を削除せずに有効化・一時停止できます。
- 事前通知の開始時に、モニターに「ビデオウォール PC は … にシャットダウンします」というメッセージが表示され、管理パネル上部に**再起動を取り消す**付きのカウントダウンが表示されます。取り消すとその回のみ取り消されます。「シャットダウンまたは再起動のスケジュール」アラーム（音声タブ）が鳴ります。
- *PC を再起動…*の横には、即時シャットダウン用の **PC をシャットダウン…**（取り消し可能な待機時間付き）もあります。
- **電源オン**は WallStatus からは操作できません。PC の BIOS/UEFI（指定時刻の電源オン、多くの場合「Power On by RTC」または「Resume by Alarm」）で設定するか、別のデバイスから Wake-on-LAN で行います。

WallStatus の終了

WallStatus を終了（設定 → 詳細設定）はディスプレイをオフにしてプログラムを終了します。ビデオウォール PC からは強制終了のキーの組み合わせも使えます（第 20 章）。再起動するには、デスクトップまたはスタートメニューのショートカット（Windows）、アプリケーションのアプリ（Mac）を使うか、自動起動が有効であればコンピューターを再起動します。

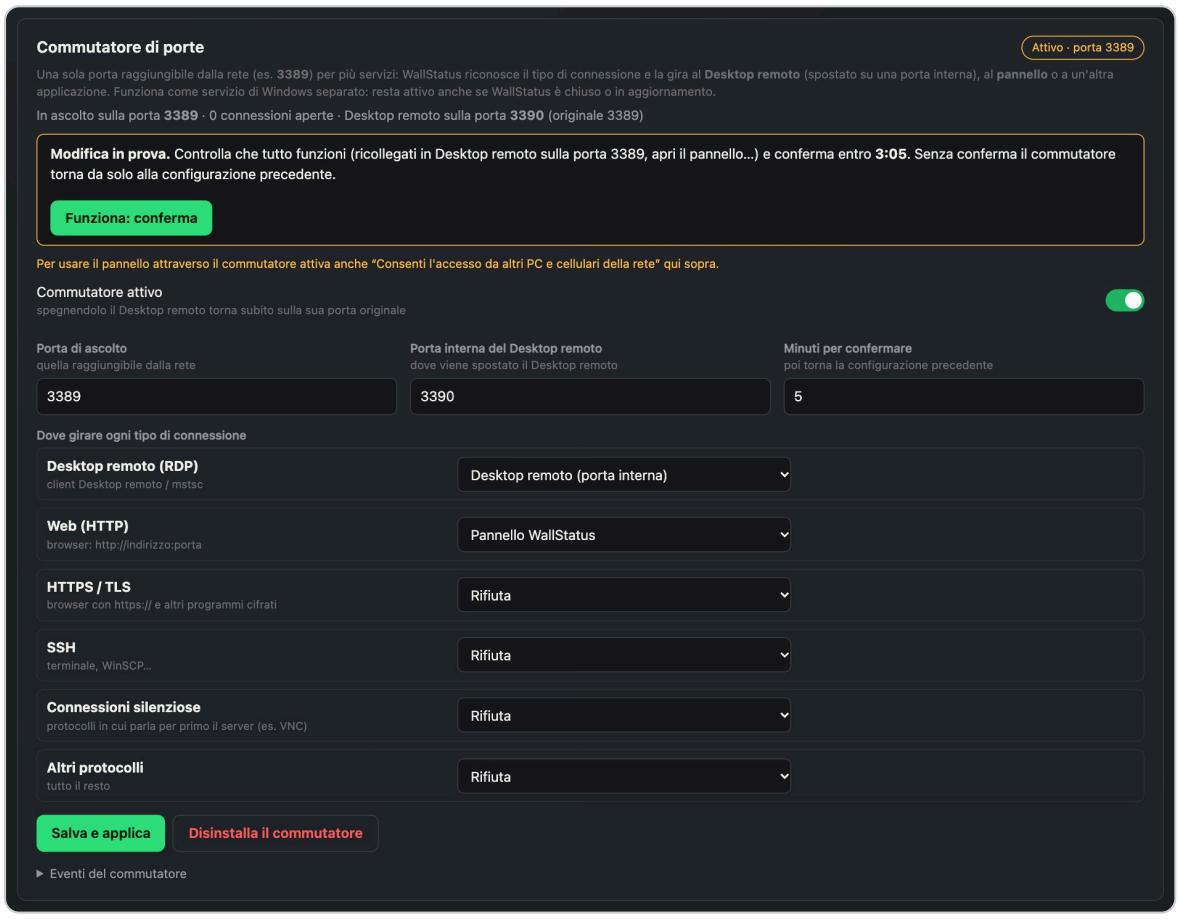
---

19 ポート切り替え機能とプロキシ

ネットワークからビデオウォール PC に 1 つのポート（通常はリモート デスクトップの **3389**）でしか到達できない場合、切り替え機能を使うとそのポートを複数のサービスで利用できます。接続の種類を判別し、リモート デスクトップ、WallStatus の管理パネル、または他のアプリケーションに転送します。Windows のみ、管理者のみです。

仕組みの概要

- リモート デスクトップは**内部ポート**（例: 3390）に移動し、切り替え機能が公開ポート（例: 3389）を使用します。
- クライアントが最初に送信するデータからプロトコルを判別します: **リモート デスクトップ**、**Web**（HTTP）、**HTTPS/TLS**、**SSH**、**サイレント接続**（サーバーが先に通信を開始するもの、例: VNC）、または**その他**。
- 種類ごとに転送先を選択します: リモート デスクトップ、WallStatus 管理パネル、任意の `アドレス:ポート`、または*拒否*。これにより、将来ほかを変更せずにポートを別のアプリケーションに向けることができます。
- **独立した Windows サービス**（*WallStatus ポート切り替え機能*）です。WallStatus が終了、更新、フリーズしても稼働し続け、PC の起動時にログイン前から開始し、停止した場合は Windows が再起動します。



変更の試用中の、設定内の**ポート切り替え機能**: 黄色の枠が、指定時間内に確定するよう求めています。

インストールと初回の有効化

1. **ビデオウォール PC に接続する**
   リモート デスクトップで（または PC の前で）`http://127.0.0.1:8088/admin` の管理パネルを開きます。インストールとアンインストールでは、PC の画面に表示される Windows のダイアログで管理者権限を求められます。

2. **インストールする**
   設定 → *ポート切り替え機能* → **切り替え機能をインストール**を押し、Windows のダイアログで確認します。インストール後、切り替え機能は**オフ**です。

3 **設定する**
*切り替え機能有効*をオンにし、待ち受けポート（3389）とリモート デスクトップの内部ポート（3390）、転送先を確認します: 通常、RDP は *リモート デスクトップ*、Web は *WallStatus 管理パネル*です。**保存して適用**を押します。

4 **再接続する**
リモート デスクトップが内部ポートで再起動し、セッションは数秒間切断されます。以前と同じアドレス（ポート 3389）に再接続してください。セッションは中断したところから再開します。

5 **確定する**
管理パネルで 5 分以内に**動作確認: 確定**を押します。自分の PC から `http://<indirizzo del wall>:3389/admin` で管理パネルも試してください（*ネットワーク内の他の PC や携帯電話からのアクセスを許可*が必要です。第 18 章）。

安全策

- 各変更は**試用中**のままになります。指定時間（5 分、2〜60 分で調整可）以内に確定しないと、サービスは最後に確定された設定に自動的に戻ります。初回の場合は、切り替え機能がオフでリモート デスクトップが元のポートに戻ることを意味します。問題が起きたら、待ってから通常どおり再接続してください。
- 切り替え機能をオフにするかアンインストールすると、リモート デスクトップは直ちに元のポートに戻ります。
- 切り替え機能経由でアクセスした管理パネルには、接続元の実際のアドレスが見えます。ネットワーク内の他の PC からと同様に、ログインと権限が適用されます。
- 有効にする前にネットワーク管理者に知らせてください: 切り替え機能により、リモート デスクトップのポートで他のサービスにもアクセスできるようになります。

更新とアンインストール

サービスは `%ProgramData%\WallStatus\gateway` にあるプログラムのコピーを使用します。WallStatus の更新はこれに影響せず、リモート デスクトップには常にアクセスできます。切り替え機能も新しいバージョンにするには、PC の管理パネルで**切り替え機能を更新**を押します（ポートは数秒間閉じ、リモート デスクトップは内部ポートのままです）。**切り替え機能をアンインストール**はサービスを停止し、リモート デスクトップを元のポートに戻し、Windows ファイアウォールでポートを閉じます。*切り替え機能のイベント*セクションには最近の操作（変更、確定、復元、エラー）が表示されます。

インターネット用プロキシ

RSS フィードとサイトからのメッセージ（第 12 章）は、ビデオウォール PC から読み取られます。ネットワークがプロキシ経由でインターネットに接続している場合: 設定 → 詳細設定 → **インターネット用プロキシ**。

値	意味
空欄	ブラウザーと同様に Windows のプロキシ設定を使用します: *設定を自動的に検出する*（WPAD、wpad.dat ファイル）、*セットアップ スクリプトを使う*（PAC ファイル）、*手動プロキシ セットアップ*
`none`	プロキシなし: 直接接続
`http://proxy.azienda.it:8080`	手動で指定したプロキシ。ユーザー名とパスワード付き: `http://utente:password@proxy.azienda.it:8080`

自動設定（WPAD または PAC スクリプト）の場合、各アドレスのプロキシは Windows 自体が計算します。WallStatus は何も入力しなくても Edge や Chrome とまったく同じ方法でインターネットに接続します。スクリプトが見つからないか応答しない場合は、手動設定のプロキシがあればそれを使用します。Windows ユーザーによるプロキシへの自動認証（NTLM/Kerberos）には対応していません。プロキシが認証を求める場合は、プロキシのアドレスにユーザー名とパスワードを記述するか、IT 部門に依頼して自社ドメインを認証なしで許可してもらってください。メッセージタブには、Windows から読み取った設定、選択されたプロキシ、最終試行のエラーが表示されます。

20 日常の使い方

ビデオウォールのキーボードショートカット

ディスプレイが表示されている間、ビデオウォール PC に接続したキーボードで使用できます（Mac でも `⌘` ではなく常に `Ctrl` キーを使用します）。

キー	操作
`Ctrl` + `Shift` + `A`	管理パネルを新しいウィンドウで開きます
`Ctrl` + `Shift` + `N`	次のコンテンツに進みます（ローテーション中のモニター）
`Ctrl` + `Shift` + `P`	前のコンテンツに戻ります
`Ctrl` + `Shift` + `Space` または `S`	モニターのローテーションを一時停止 / 再開します
`PgDn` / `PgUp`	ローテーション中のモニターで次 / 前のコンテンツ（プレゼンター リモコン）
⏭ ⏮ ⏯	メディアキー: 次へ、前へ、一時停止 / 再開
`Ctrl` + `Shift` + `R`	すべてのモニターを再読み込みします
`Ctrl` + `Shift` + `I`	モニターを識別します
`Ctrl` + `Shift` + `Q`	ディスプレイを閉じます（再度開くために管理パネルは利用可能なままです）
`Ctrl` + `Alt` + `Shift` + `A` Mac: `Control` + `Option` + `Shift` + `A`	ブラウザーで**ディスプレイを閉じて管理パネルを開きます**。WallStatus は稼働したままです（変更可、下記参照）
`Ctrl` + `Alt` + `Shift` + `Q` Mac: `Control` + `Option` + `Shift` + `Q`	**WallStatus を強制終了します**: ディスプレイとプログラム（変更可、下記参照）

ディスプレイからの退出と WallStatus の終了

2 つのキーの組み合わせで、マウスや管理パネルを使わずにビデオウォール PC を操作できます:

キーの組み合わせ	動作

`Ctrl` + `Alt` + `Shift` + `A`
Mac:
`Control` + `Option` + `Shift` + `A`
	ディスプレイを閉じて管理パネルを開きます。全画面表示が閉じ、WallStatus は動作し続け、Web 設定画面（`http://127.0.0.1:8088/admin`）が既定のブラウザーで開きます。ディスプレイを再びオンにするには、管理パネルの**ディスプレイを起動**ボタンを押します。PC 自体でビデオウォールを設定する際に使う組み合わせです。

`Ctrl` + `Alt` + `Shift` + `Q`
Mac:
`Control` + `Option` + `Shift` + `Q`
	WallStatus を強制終了します: ディスプレイとプログラム。正常な停止が 10 秒以内に完了しない場合でも、WallStatus はビデオウォールのブラウザーを閉じて終了します。再起動するには、デスクトップまたはスタートメニューのショートカット（Windows）、アプリケーションのアプリ（Mac）を使うか、自動起動が有効であれば PC を再起動します。

システム	動作する条件
Windows	どのウィンドウが前面にあっても常に動作します（システムショートカットとして登録されます）。ビデオウォールのブラウザーが応答しない場合でも動作します。別のプログラムがすでに同じ組み合わせを使用している場合はログに記録されます。その場合はビデオウォールのモニター上でのみ動作するため、別の組み合わせを選択してください。
Mac	ビデオウォールのモニターが前面にあるとき（ビデオウォールの画面をクリックしてから組み合わせを押します）。システム全体で有効なショートカットにするには、WallStatus に macOS のアクセシビリティ権限を付与する必要があります。



設定 → ビデオウォールのキーボードショートカット。2 つのキーの組み合わせと、変更・既定・無効にするボタン。

変更するには（設定権限が必要）: 設定 → **ビデオウォールのキーボードショートカット** → 組み合わせの横の**変更...** → 新しい組み合わせを押します（`Esc` でキャンセル）。`Ctrl`、`Alt`/`Option`、`Shift` のうち 2 つ以上のキーと、英字、数字、または F1〜F12 のキーを組み合わせます。F キーの場合は修飾キー 1 つで十分です（例: `Shift` + `F12`）。2 つの組み合わせは互いに、また他のショートカットとも異なる必要があります。**既定**は元の組み合わせに戻し、**無効にする**は組み合わせを解除します。変更は再起動なしですぐに有効になります。

リモート デスクトップからの管理（Windows）

ビデオウォール PC には**リモート デスクトップ**（Windows 11 Pro/Enterprise）で接続して設定や作業ができます。ビデオウォールを実行しているのと**同じユーザー**で接続してください。そうすれば WallStatus が実行中のまま見つかり、リモートセッションからもキーの組み合わせが動作します（Windows のリモート デスクトップ クライアントは `Ctrl`+`Alt`+`Shift`+`A` と `Ctrl`+`Alt`+`Shift`+`Q` を横取りしません）。別のユーザーで接続すると、WallStatus が実行されていない別のセッションが開きます。

タイミング	起こることと対処
接続中	Windows はセッションを接続元の PC に移します。ビデオウォールのモニターにはロック画面が表示され、WallStatus のウィンドウは自分の画面に移ります。設定するには `Ctrl`+`Alt`+`Shift`+`A`（または *Chiudi i display e apri il pannello* ショートカット）を使うか、*WallStatus – solo pannello* ショートカットで管理パネルを開きます。
切断するには	デスクトップ（またはスタートメニュー）の **Torna al wall (chiudi Desktop remoto)** をダブルクリックし、管理者の確認に同意します。リモート接続が閉じ、セッションはビデオウォールの画面に戻ります。WallStatus は数秒以内にそれを検知し、画面を検出して各ウィンドウを元のモニターに戻します。
***Torna al wall* を使わずにリモート デスクトップのウィンドウを閉じた場合**	セッションは**切断**されたままになり、誰かがビデオウォール PC のキーボードからログインするまで（または再接続して *Torna al wall* を使うまで）、ビデオウォールのモニターはロック画面のままです。

スタートメニュー → WallStatus にある便利なショートカット。キーボードなしでも動作します（例えばキーの組み合わせを送信しないリモートクライアントから）：

ショートカット	効果
Chiudi i display e apri il pannello	`Ctrl`+`Alt`+`Shift`+`A` と同じ: 画面表示をオフにし、WallStatus は稼働したまま管理パネルが開きます。WallStatus が実行されていない場合は管理パネルのみで起動します。
Chiudi WallStatus	`Ctrl`+`Alt`+`Shift`+`Q` と同じ: ディスプレイとプログラムを終了します。
Torna al wall (chiudi Desktop remoto)	セッションをビデオウォールの画面に戻し、リモート接続を閉じます。管理者アカウントが必要です。

Mac の *Windows App*（旧 Microsoft Remote Desktop）アプリでは、`Control`、`Option`、`Shift` キーが `Ctrl`、`Alt`、`Shift` に対応します。組み合わせが届かない場合は、上記のショートカットを使用してください。

実用例

2 台のモニターに 2 つのサイトを全画面表示

1. コンテンツ → *Web ページ*のコンテンツを 2 つ作成します。
2. モニター → **モニター 1**: 画面 1、レイアウト*単一*、1 つ目のサイトを追加します。
3. **+ モニターを追加** → 画面 2、*単一*、2 つ目のサイトを追加します。

同じ画面に 2 つのサイトを並べて表示

レイアウト*2 分割（左右）*のモニター 1 台に、2 つのコンテンツを左 → 右の順で配置します。

ログインが必要な社内ダッシュボード

1. 新規コンテンツ → *Web* ページ → ダッシュボードのアドレス。
2. ユーザー名とパスワードを入力し、*自動入力と「ログイン」を押す*を有効のままにします。
3. 詳細オプションの*ログインを許可するドメイン*にログインのドメインを指定します。
4. *更新間隔* 300 秒、文字が小さい場合は*ズーム* 125%。
5. *単一*または*ローテーション*レイアウトのモニターに割り当てます。

コンテンツをローテーション表示する受付

レイアウト*ローテーション*のモニターで*コンテンツの切り替え間隔*を 20 秒にし、例えばウェルカムページ、お知らせの画像、天気、YouTube のライブ配信を表示します。特定のコンテンツの表示時間を長くするには、その*ローテーションでの表示時間*を設定します。

すべてのモニターに流れるニュース

*RSS フィード*コンテンツを作成し、各モニターの*ティッカー（流れる字幕）*セクションに追加します。1 本の帯が有効であれば、テキストはビデオウォール全体を横切ります。緊急のお知らせには、SharePoint のリストや社内ブログのフィードを使えます。

シフト表と手順書を表示する部署の掲示板

責任者がシフト表（PDF）と指標（Excel）を保存する共有フォルダーを指定した*文書*コンテンツ、*2 ページ並べて表示*、15 秒ごとにページ切り替え。*単一*のモニターに割り当てるか、生産ダッシュボードとともに*ローテーション*で表示します。

監視室の画面にビデオウォールを表示

画面のブラウザーで `http://<indirizzo-del-wall>:8088/Monitor` を開き、`F` を押します。ビデオウォールのモニターがライブで交互に表示されます。

スマートフォンからビデオウォールを確認

設定 → ネットワークからのアクセスを有効にする → QR コードを読み取ります。自動ローテーションで、数秒ですべてのモニターの状態を確認できます。

コンテンツを一時的に外す

コンテンツ → コンテンツのスイッチをオフにします。すべてのモニターでスキップされます。必要になったら再びオンにします。

---

21 トラブルシューティング

問題が発生したら、まず管理パネルの**ログ**タブを確認してください。最近のイベント（ブラウザーの起動、検出された画面、自動ログイン、エラー）が記録されています。

ログ

管理パネルで行った各操作（コンテンツ、モニター、設定、ユーザー、拠点、メッセージなど）は、日付と時刻の後に **[ユーザー]** 付きで表示されるため、誰が何をしたかが常にわかります。プログラムのイベント（起動、ブラウザー、チェック）にはユーザーはありません。上部で**ユーザー**と**テキスト**で絞り込めます。ログには直近 **30 日**のイベントが保存され、それより古いものは自動的に削除されます（起動時とその後 1 時間ごと）。

問題	解決方法
起動時に何も表示されない	ビデオウォール PC で `http://127.0.0.1:8088/admin` を開き、赤いメッセージを読んでください。Mac で最も多い原因は Chrome または Edge がないことです。
「互換性のあるブラウザーが見つかりません」	Windows: Microsoft Edge があるか確認してください。Mac: Google Chrome をインストールしてください。ブラウザーが標準以外の場所にある場合は、設定 → ブラウザー で指定してください。
モニターが黒いまま、またはコンテンツが間違った画面に表示される	管理パネル → **画面を検出**、次に**識別**を押して*物理画面*を修正してください。OS の設定で画面の配置を確認してください。
警告「物理画面 N は接続されていません」	画面がオフか切断されています。電源を入れて**画面を検出**を押してください。
Mac で 1 台のモニターしか全画面にならない	「ディスプレイごとに個別の操作スペース」を有効にし（第 4 章）、ユーザーからログアウトして再ログインしてください。
グリッドの枠が空、またはエラーを表示する	**プレビュー**でコンテンツを試してください。ログインが必要なサイトの場合は、*単一*または*ローテーション*のモニターで使用してください。
自動ログインが機能しない	ユーザー名とパスワードを確認し、ログインを読んでください（6 回試行後 10 分間停止されます）。特殊なサイトでは詳細オプションの*セレクター*を入力してください。2 段階認証の場合、初回のログインは手動で行う必要があります。
「サイトにアクセスできません」ページ	WallStatus は 20 秒ごとに自動的に再試行します。電源投入時にネットワークの接続が遅い場合は、*自動起動時の待機時間*を長くしてください。
RTSP カメラが黒いまま、または「ffmpeg が見つかりません」と表示される	ffmpeg をインストールし（第 9 章）、1 分待ってください。その後コンテンツを開いて**カメラを確認**を押します。メッセージで、問題がパスワード、ストリームのパス、到達性のいずれかがわかります。正確なアドレスは入力ガイドまたはカメラのマニュアルで確認してください。
カメラ:「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」	資格情報を確認してください。メーカーによっては RTSP 専用のユーザーが必要（Tapo、EZVIZ）、またはカメラの設定で RTSP/ONVIF を有効にする必要があります（Reolink、EZVIZ）。
マップですべての拠点が赤い	ビデオウォール PC から ping が機能するか確認してください（拠点の **ping をテスト**）。拠点や Windows のファイアウォールが ICMP をブロックしていることがよくあります。ping を許可するか、拠点の別の機器を指定してください。
⏮ ⏸ ⏭ ボタンが表示されない	時間による、または手動ローテーションのモニターで、有効なコンテンツが 2 つ以上あり、ディスプレイが起動していて、ディスプレイ権限を持つユーザーの場合にのみ表示されます。

YouTube 動画が「再生できません」と表示される	所有者によっては埋め込み再生を禁止しているか、ライブ配信が終了しています。配信中のライブにはチャンネルのリンクを使うか、*Web* ページタイプを使用してください。
自分の PC や携帯電話から管理パネルが開かない	ネットワークからのアクセスが有効か（第 18 章）、デバイスが同じネットワーク上にあるか（ゲスト Wi-Fi は分離されていることが多い）、Windows ファイアウォールがプライベート ネットワークで WallStatus を許可しているかを確認してください。
ニュースバーが表示されない	フィードが有効でモニターに割り当てられているか確認し、コンテンツを開いて *フィードをテスト*を押してください。フィードが応答しない場合、最初のニュースが届き次第バーが表示されます（毎分再試行）。フィードのエラーはログに記録されます。
文書:「LibreOffice または Microsoft Office が必要です」	PowerPoint、.doc、.rtf、OpenDocument は変換が必要です。ビデオウォール PC に LibreOffice（無料）をインストールするか、ファイルを PDF で保存してください。Windows では Microsoft Office でも構いません。
文書:「アクセス拒否」または「文書ではなく Web ページ」	コンテンツのユーザー名とパスワードを確認してください。サイトがログインページを使う場合（SharePoint、OneDrive、ポータル）は、直接ダウンロードリンクまたは同期フォルダーを使用してください。
Word や Excel の文書が元と異なる	*Word と Excel を PDF に変換*を有効にするか（LibreOffice または Office が必要）、文書を PDF で保存してください。
ティッカーの帯が 2 台のモニター間で連続しない	OS の画面の配置が実際の配置と一致していません。修正して**画面を検出**を押してください。1 本の帯が有効になっているか確認してください。
メッセージがモニターに表示されない	メッセージタブで、期限切れでないか、そのモニターに割り当てられているかを確認してください。有効なメッセージが 3 件を超える場合、重要度の高い 3 件のみ表示されます。ディスプレイがオンである必要があります。
サイトからのメッセージ:「サイトが 404 を返しました」	アドレスが間違っているか、WallStatus のトークンが worker の secret `TOKEN` と一致していません。もう一度コピーして**今すぐテスト**を押してください。
サイトからのメッセージ:「サイトにアクセスできません」または「メッセージのフィードではありません」	ビデオウォール PC がインターネットに接続できないか、プロキシがアドレスをブロックしています。設定 → 詳細設定 でプロキシを指定し（第 19 章）、IT 部門に自社ドメインの許可を依頼してください。「プロキシがユーザー名とパスワードを要求する」場合は、プロキシのアドレスに記述してください。
切り替え機能:「ポート 3389 は使用できません」	別のプログラムがポートを使用しています。リモート デスクトップの場合、切り替え機能がそれを移動するのは、ルールが *リモート デスクトップ*を指しているときのみです。転送先と内部ポートを確認してください。
切り替え機能を有効にした後、リモート デスクトップで接続できなくなった	試用時間（変更していなければ 5 分）が過ぎるのを待ってください。確定しない場合、切り替え機能は自動的に以前の設定に戻り、リモート デスクトップは元のポートに戻ります。その後通常どおり再接続し、*切り替え機能のイベント*を確認してください。
Web ビューが黒い、または止まっている	モニターがオフか切断されているか、ディスプレイが停止しています。ネットワークが連続ストリームをブロックしている場合、ページは自動的に 2 秒ごとに更新される画像に切り替わります。
携帯電話で「このモニターは表示されていません」	モニターは有効ですが、その物理画面が接続されていないか、ディスプレイが停止しています。

「アカウント有効期限切れ」または「アカウント有効開始日…」	ユーザーが有効期間外です。管理者がユーザータブで日付を変更できます。
「お使いのアカウントには…の権限がありません」	その機能の権限がありません。管理者に追加を依頼してください。*映像の閲覧*のみのユーザーは管理パネルを開けません。
モニターが Web ビューや携帯電話に表示されない	モニターがユーザーの表示可能なモニターに含まれていない（ユーザータブ → 表示可能なモニター）、ユーザーがモニターの*閲覧できるユーザー*で選択されていない、またはモニターが無効になっています。
サウンドアラートが聞こえない	音声タブ: アラートが有効で、サイレント時間帯外であることを確認し、🔈でサウンドをテストしてください。既定の出力の音量とミュート（PC の音量セクション）、音声がテレビから出る場合はテレビの音量を確認してください。
PC の音量を読み取れない（Windows）	初回、WallStatus は音量用のコンポーネントを準備します（数秒）。PowerShell が社内ポリシーでブロックされている場合、音量調整は利用できませんが、サウンドアラートは動作します。
LG または Samsung のテレビが応答しない	**ペアリング**を押し、1 分以内にテレビで承認してください。テレビはオンで同じネットワーク上にある必要があります。LG は「LG Connect Apps」を有効にし、Samsung は外部機器マネージャーでデバイスを許可してください。
監視中のコンテンツが表示されない（または常に表示される）	コンテンツを開いて**今すぐ確認**を押してください。検索するテキストを確認し（画像ではなくページのテキストに含まれている必要があります）、スクリプトで組み立てられるページの場合は状態の RSS/JSON 版を使用してください。
X アカウント:「上限に達しました」または投稿がない	X はアカウントなしでの閲覧を制限しています。同じアカウントの代替フィードを指定するか（第 7 章）、サービスのステータスページを RSS フィードとして使用してください。
Traceroute: 多くのホップが「応答なし」	多くのルーターはプローブに応答しないか、一部にしか応答しません。これは正常です。最後のホップが応答すれば、宛先には到達可能です。最初以降どのホップも応答しない場合は、社内のファイアウォールがプローブをブロックしています。
スケジュールされたコンテンツが開始しない	スケジュールタブ: 有効になっているか、時刻がビデオウォール PC の時刻かを確認してください。コンテンツも有効である必要があります。同じモニターで複数のスケジュールが重なる場合は、一覧の最初のものが優先されます。
携帯電話で再ログインが必要になる	セッションは、WallStatus の再起動時、ユーザーのパスワード変更時、アカウントの無効化・期限切れ時、または管理者が*切断*を押したときに終了します。
管理者のパスワードを忘れた	ビデオウォール PC で: 1) WallStatus を終了します（Windows: タスク マネージャー → WallStatus → タスクの終了、Mac: アクティビティモニタ → WallStatus → 終了）。2) `--reset-password` オプションを付けてプログラムを実行します（第 22 章参照）。管理者ユーザーが削除され、他のユーザー、モニター、コンテンツはそのまま残ります。3) WallStatus を再起動し、ビデオウォール PC から管理パネルを開いて新しい管理者を作成します。別の管理者がいる場合は、その管理者がユーザータブからパスワードを再設定するだけで済みます。ネットワークからのアクセスは無効になるため、再度有効にしてください。

設定を別の PC にコピーした後、サイトのパスワードが機能しない	仕様です: 暗号化キーはコンピューターとユーザーに紐づいています。新しい PC でパスワードを再入力してください。
WallStatus が応答しない、またはビデオウォール PC を解放する必要がある	`Ctrl`+`Alt`+`Shift`+`Q`（Mac: ビデオウォールのモニターを前面にして `Control`+`Option`+`Shift`+`Q`）、または設定したキーの組み合わせを押してください。最終手段: タスク マネージャー（Windows）またはアクティビティモニタ（Mac）→ WallStatus → 終了。
Facebook（または他のサイト）でユーザー名とパスワードを入力する必要があるが、ビデオウォールに入力できない	モニターの Web ビューで **操作**を押し、入力欄をクリックして入力するか（第 16 章）、Chrome/Edge からパスワードをインポートして（第 8 章）自動ログインに任せてください。ビデオウォール PC では: マウスを動かし、入力欄をクリックして入力します。
ビデオウォールでポインターが見えずクリックできない	マウスを動かすと、ポインターが数秒間再表示されます。コンテンツで *Cookie と同意画面を自動的に承諾*が有効であれば、Cookie バナーをクリックする必要はありません。
ネットワークフォルダーのページ: 「ファイルにアクセスできません」	ビデオウォール PC でビデオウォールのユーザーとしてエクスプローラーで同じパスを開いてください。パスワードを求められる場合は、コンテンツに *ユーザー*（DOMAIN\user）と*パスワード*を指定してください。パスが完全か、PC が社内ネットワークに接続されているか（起動時も含む: *自動起動時の待機時間*を長くする）を確認してください。共有への接続結果はログに記録されます。
ファイルのページが不完全に表示される	ページがフォルダー外のファイルや絶対 `file://` アドレスを使用している場合は、*file:// として直接開く*を有効にしてください（単一またはローテーションのモニターのみ）。
ビデオウォールを設定したいが、ディスプレイが画面全体を覆っている	`Ctrl`+`Alt`+`Shift`+`A`（Mac: `Control`+`Option`+`Shift`+`A`）を押すと、ディスプレイが閉じて管理パネルが開きます。その後**ディスプレイを起動**を押します。
モニターは 2 台なのに画面が 1 つしか検出されない	1) Windows: 設定 → システム → ディスプレイ → *表示画面を拡張する*。2) 管理パネル → **画面を検出**。3) ログで *schermi rilevati* と *rilevamento schermi dal browser* の行を確認してください。ブラウザーと Windows が認識している画面の数がわかります。バージョン 1.5 以降、Windows では常にシステムの一覧が使用されます。問題が解決しない場合は、これらのログの行をサポートに送ってください。
リモート デスクトップの後、ビデオウォールのモニターにロック画面が表示される	セッションが切断されたままになっています。リモート デスクトップで再接続して **Torna al wall (chiudi Desktop remoto)** をダブルクリックするか、ビデオウォール PC のキーボードからログインしてください。これを避けるには、常にそのショートカットで切断してください。
終了のキーの組み合わせが機能しない	設定でどの組み合わせが設定されていて、無効になっていないかを確認してください。Windows では、別のプログラムがすでに使用しているかどうかがログに記録されます。Mac では先にビデオウォールの画面をクリックしてください。
ディスプレイの起動が非常に遅い、またはウィンドウが重複する	設定 → **ディスプレイを再起動**。WallStatus は以前のセッションから開いたままのブラウザーウィンドウを自動的に閉じます。

22 データ、バックアップ、セキュリティ

データの場所

システム	フォルダー
Windows（インストール版）	`%LOCALAPPDATA%\Programs\WallStatus\data`
Windows（ポータブル）	WallStatus.exe と同じ場所の `data` サブフォルダー
Mac	`~/Library/Application Support/WallStatus`

正確なパスは 設定 → 詳細設定 にも表示されます。フォルダーの内容:

ファイル / フォルダー	内容
config.json	モニター、コンテンツ、フィード、設定、ユーザー（パスワードは暗号化またはハッシュとして保存）
secret.key	OS によって保護された暗号化キーへの参照
media/	アップロードした画像、動画、文書
cache/	Web アドレスからダウンロードし PDF に変換した文書（自動的に整理されます。プログラム終了中に削除できます）
browser/	ビデオウォールのブラウザー プロファイル（セッション、サイトの Cookie）
wallstatus.log	イベントログ（直近 30 日）

バックアップと別のビデオウォールへのコピー

設定を保存または複製するには、WallStatus を終了した状態で **config.json** と **media** フォルダーをコピーします。新しいコンピューターではデータフォルダーに貼り付けて WallStatus を起動し、サイトのパスワードを再入力します（別の PC で暗号化されたパスワードは無視されます）。

セキュリティ

- **サイトと文書のパスワード**: AES-256 で暗号化されます。キーは Windows（DPAPI、ユーザーに紐づく）または macOS のキーチェーンで保護されます。管理パネルに表示されることも、第三者に送信されることもありません。
- **管理パネル**: ビデオウォール PC からでも、常にユーザー名とパスワードで保護されています。アカウントのパスワードはハッシュ（PBKDF2）としてのみ保存され、平文では保存されません。
- 権限を分けた**ユーザー**と有効期間。権限はリクエストごとに検証されるため、期限切れや無効化は即座に反映されます。パスワードなしのビューは、有効にするまで無効です。
- **ネットワークからのアクセス**: 管理パネルから明示的に有効にするまで無効です。
- **カメラとマイク**: ビデオウォールのブラウザーでは常にブロックされます。
- **独立したブラウザー**: ビデオウォールはユーザーのものとは別の、専用のブラウザー プロファイルを使用します。

- ユーザーがログインした状態のビデオウォール PC に物理的にアクセスできる人は、すでにログイン済みのサイトのセッションを使用できます。社内システムにアクセスできる他の端末と同様に PC を保護してください。

コマンドライン オプション

スクリプトや配布ツールで管理するインストール向け:

```
WallStatus.exe --no-display             管理パネルのみ、ディスプレイを開かない
WallStatus.exe --data "D:\WallData"     別のデータフォルダーを使用
WallStatus.exe --install-autostart      自動起動を有効にして終了
WallStatus.exe --uninstall-autostart    自動起動を無効にして終了
WallStatus.exe --reset-password         管理者ユーザーを削除（再作成が必要）
WallStatus.exe --show-panel             ディスプレイを閉じて管理パネルを開く（WallStatus は稼働を継
続）
WallStatus.exe --quit                   実行中の WallStatus を終了

Windows（インストール版）、Win+R から:
  "%LOCALAPPDATA%\Programs\WallStatus\WallStatus.exe" --reset-password

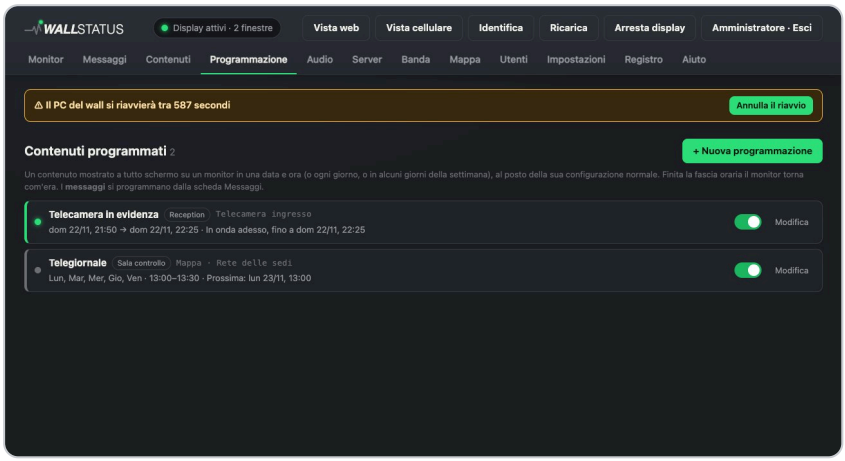
Mac、ターミナルから:
  /Applications/WallStatus.app/Contents/MacOS/WallStatus --reset-password
```



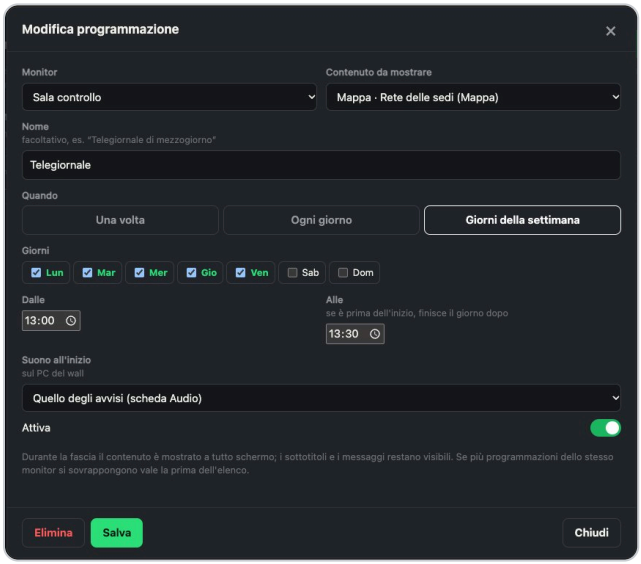
WallStatus 1.20.0 · 使用・インストールマニュアル · 2026 年 11 月

23 コンテンツのスケジュール

指定した日時、毎日、または特定の曜日に、モニターにコンテンツを全画面表示します。昼に会議室でニュースを流す、イベント中にカメラを映す、来訪者の到着時にプレゼンテーションを表示する、といった使い方ができます。時間帯が終わると、モニターは通常の設定に戻ります。



スケジュールタブ。各スケジュールのモニター、コンテンツ、時間帯、状態（現在放映中、次回、終了）。



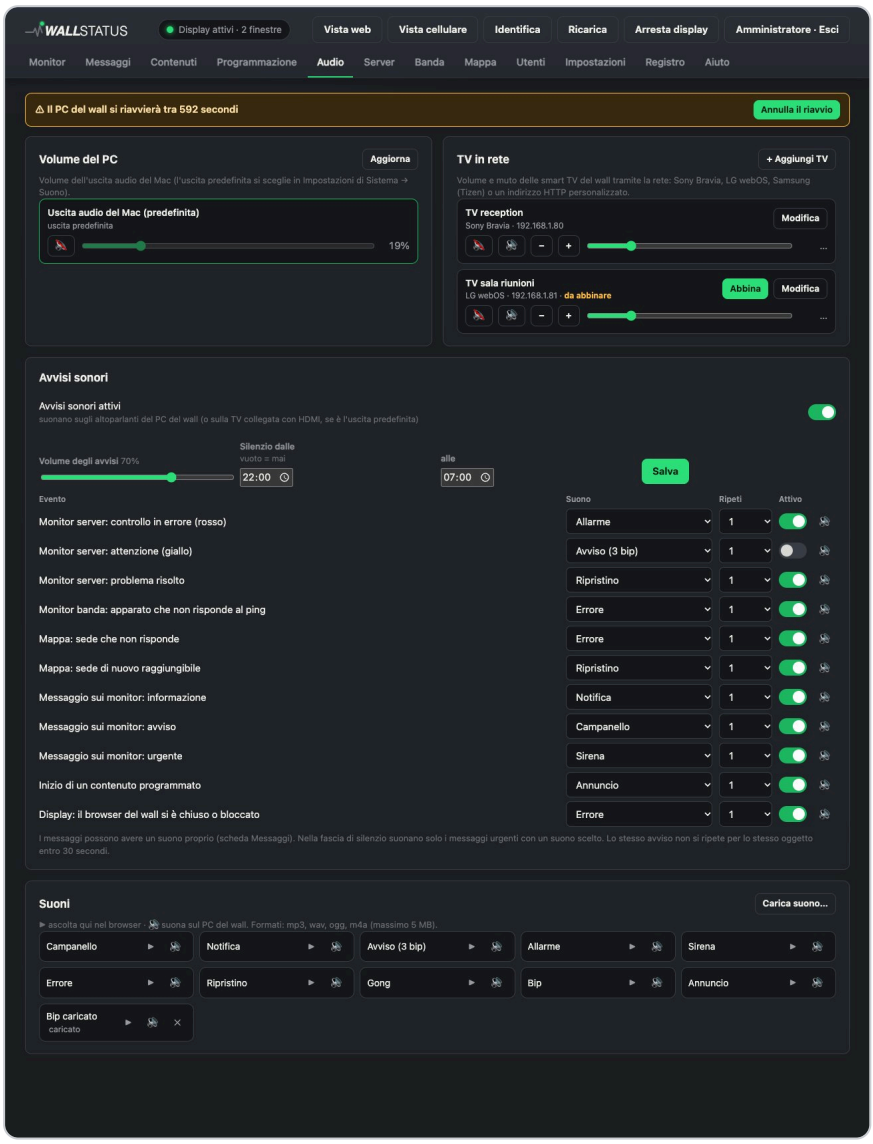
月曜日から金曜日まで繰り返す**新規スケジュール**。

1. **+ 新規スケジュール**
   スケジュールタブ（*モニター*権限）。
2. **モニターとコンテンツ**
   モニター（仮想モニターも可）と表示するコンテンツを選択します。カメラ、文書、サーバー・帯域・マップの画面を含め、あらゆるコンテンツを選べます。
3. **タイミング**
   1 回: 開始日時 … から終了日時 … まで。*毎日*または*曜日*: 開始 … から終了 … まで（終了が開始より前の場合、時間帯は翌日に終了します。例: 22:00〜06:00）。
4. **開始時のサウンド**
   任意: 時間帯の開始時にビデオウォール PC でサウンドを鳴らします（または「スケジュールされたコンテンツの開始」アラートのサウンド）。

- 時間帯中、モニターのカードには「⏰ 予約済み: 名前」と表示されます。ティッカーとメッセージは表示されたままですが、ローテーションの操作は表示されません。
- スケジュールはスイッチで削除せずに有効・無効にできます。削除されたモニターやコンテンツのスケジュールは削除されます。
- 同じモニターの複数のスケジュールが重なる場合は、一覧の最初のものが優先されます。時刻はビデオウォール PC の時刻です。
- 特定の時刻にテキストのお知らせを出すには、**予約メッセージ**を使用してください（第 12 章）。

24 音声、音量、サウンドアラート

音声タブ（*ディスプレイ*権限。設定には*設定*権限が必要）では、PC とテレビの音量を調整し、サウンドを管理し、どのイベントでビデオウォールのスピーカーからアラートを鳴らすかを決めます。



音声タブ。PC の音量、ネットワーク接続テレビ、イベントごとのサウンドアラート、サウンドライブラリ。

PC の音量

- **Windows**: オーディオ出力ごとに 1 つの枠があります — スピーカー、ヘッドホン、そして **HDMI または DisplayPort ケーブルで接続された各テレビ**（Windows は個別の出力として認識します）。それぞれに音量スライダー、🔊 /🔇 ミュート、アラートとコンテンツの音声の出力先を選ぶ**既定**があります。
- **Mac**: 既定の出力（システム設定 → サウンド で選択）の音量とミュート。

ネットワーク接続テレビ

（PC ではなく）テレビ自体の音量をネットワーク経由で調整します。**+ テレビを追加**: 名前、メーカー、IP アドレス、必要に応じて対応するビデオウォールのモニター。

メーカー	準備	操作

Sony Bravia	テレビで: ネットワーク → ホームネットワーク設定 → IP コントロール → 認証「標準と事前共有キー」を選び、キーを決めて *PSK* 欄に入力します。	音量の数値指定、+ / –、ミュート
LG webOS	「LG Connect Apps」（またはネットワーク経由の電源オン）を有効にします。保存して**ペアリング**を押し、テレビで承認します。	音量の数値指定、+ / –、ミュート
Samsung (Tizen)	保存して**ペアリング**を押し、テレビで*許可*を選択します。	+ / –、ミュート（数値指定なし）
HTTP コマンド	各コマンドで呼び出すアドレス（`{v}` = 音量）: Home Assistant、コントローラー、独自 API を持つテレビ。	設定したもの

サウンド

WallStatus には **10 種類のサウンド**が含まれています: チャイム、通知、警告（ビープ 3 回）、アラーム、サイレン、エラー、復旧、ゴング、ビープ、アナウンス。**サウンドをアップロード…**で独自のサウンド（mp3、wav、ogg、m4a、最大 5 MB）、例えば録音したアナウンスを追加できます。各サウンドについて: ▶ でブラウザーで試聴、🔊 でビデオウォール PC で再生、✕ でアップロードしたものを削除します。サウンドはアラート、メッセージ、スケジュールで使用します。

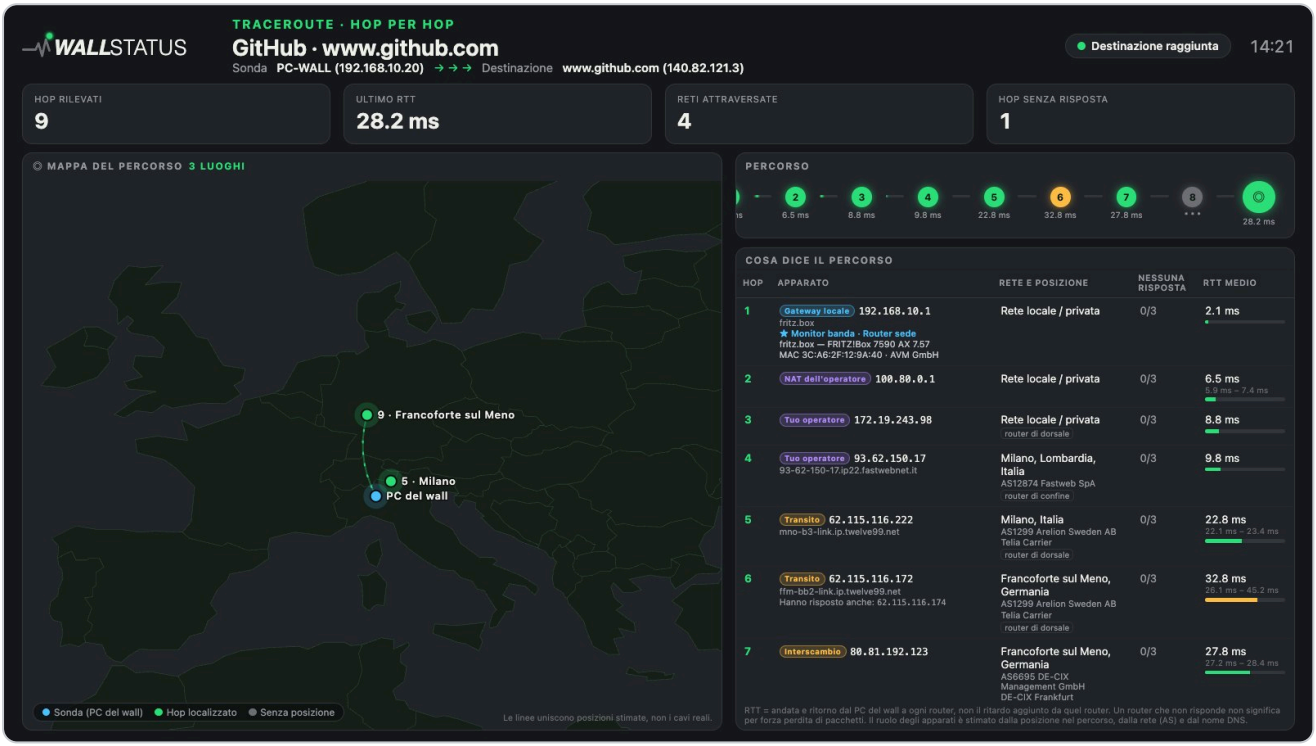
サウンドアラート

- **サウンドアラート有効**、**アラートの音量**（PC の音量に対する相対値）、**サイレント時間帯**（例: 22:00 から 07:00 まで）。
- イベントごとに: サウンド、繰り返し回数（1〜5）、有効、🔊 でテスト。イベント: サーバーモニターのチェックのエラー・注意・解決、帯域モニターの機器が応答しない、マップの拠点が応答しない・再び到達可能、情報・警告・緊急メッセージ、スケジュールされたコンテンツの開始、ビデオウォールのブラウザーの終了・フリーズ。
- 同じ対象に対する同じアラートは 30 秒以内には繰り返されません。複数のアラートが同時に発生するとキューに入ります。
- アラートはディスプレイが停止中でも、PC の既定のオーディオ出力で鳴ります。

> **コンテンツの音声と Web ビュー**
> モニターごとに、動画、ライブ配信、カメラの音声をビデオウォールから出すか、Web ビューを見ている人のブラウザーで出すか、両方で出すかを選択できます（第 6 章、第 16 章）。

25 ビジュアル Traceroute

Traceroute タブ（*監視*権限）は、ビデオウォール PC からアドレスまでパケットがたどる経路を表示します: 経由する各ルーター（ホップ）、応答時間、所属するネットワーク、世界地図上の推定位置。拠点やサービスが遅い、または到達できないときに、経路がどこで止まっているかを把握するのに役立ちます。



モニターに表示した Traceroute。上部にプローブと宛先、概要カード。左に経路マップ、右にホップごとの経路（流れるパケット付き）と表。

Traceroute の開始

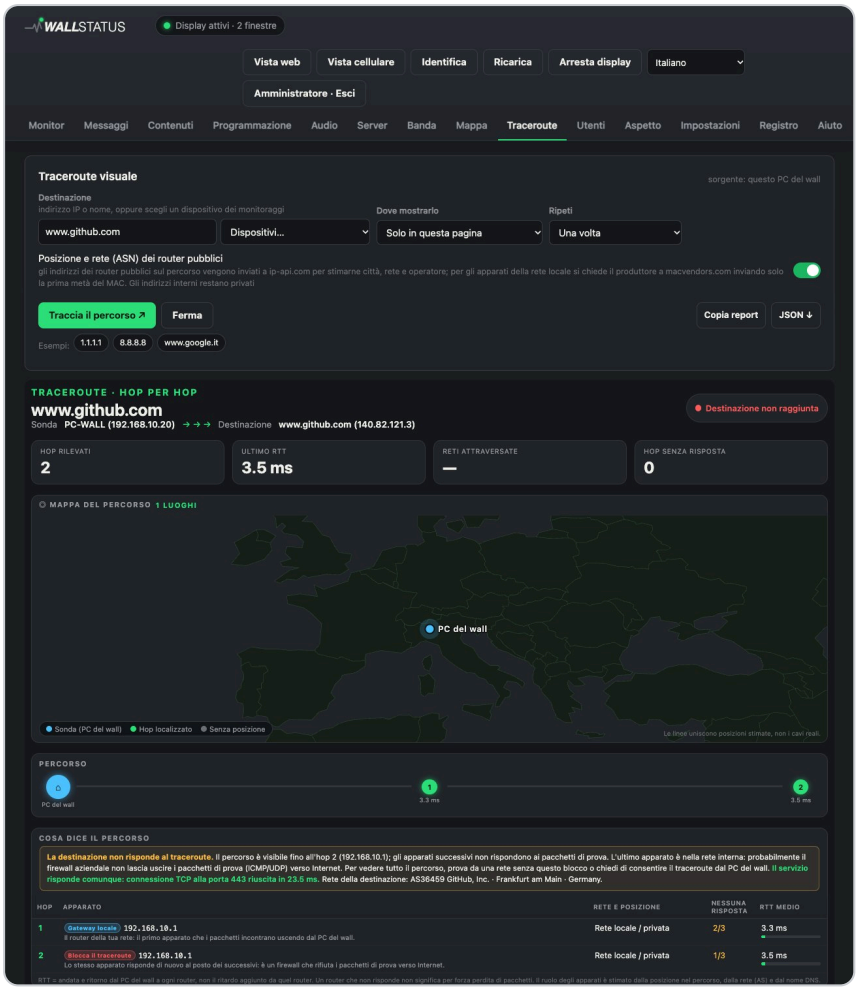
1. **宛先**
   IP アドレスまたは名前（貼り付けた Web アドレスも可）を入力するか、**デバイス…**メニューから登録済みのもの（サーバーモニターのチェック、帯域モニターの機器、マップの拠点、カメラ、Web コンテンツ、ネットワーク接続テレビ）を選択します。

2. **表示する場所**
   このページのみ（管理パネル内）、または *モニター上: …*: Traceroute は選択したモニターに指定した時間（*モニターに表示する時間* 10 分 … 停止するまで）全画面表示され、その後モニターは元に戻ります。

3. **繰り返し**
   1 回、または 30 秒、1 分、5 分ごと: 経路がライブで更新され、断続的な問題を追跡するのに便利です。

4. **位置とネットワーク**
   このオプションを有効にすると、*パブリック*ルーターのアドレスが ip-api.com に送信され、都市、国、ネットワーク（ASN と事業者）が推定されます。内部ネットワークのルーターは送信されません。

5. **経路を追跡** ↗
   ホップは応答するたびに表示されます（最大 30 ホップ、最長 1 分）。**停止**でトレースを中断し、モニターから外します。



Traceroute タブ。上部に入力欄と実行中のトレース（開く、停止）、その下に結果。

見方

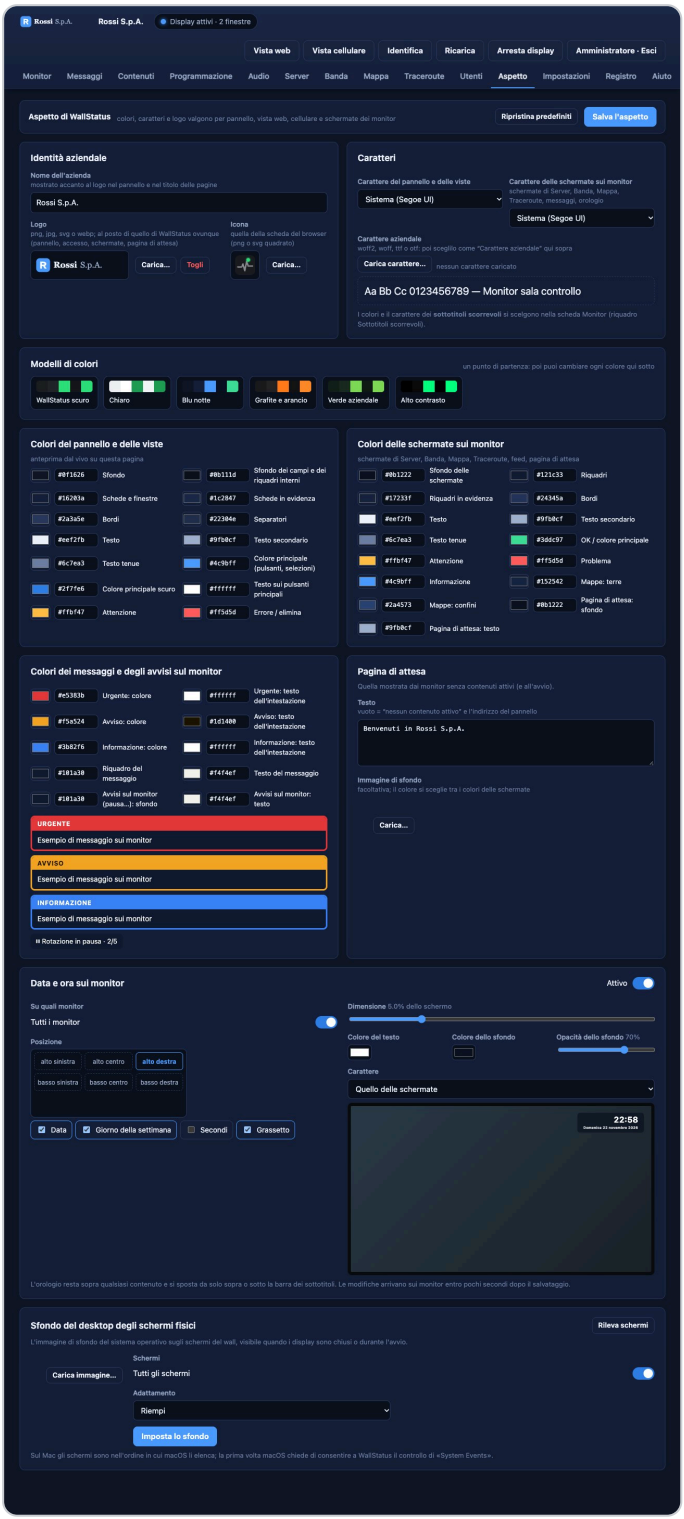
要素	意味
上部のカード	**検出したホップ**、**最終 RTT**（最後に応答したルーターまでの往復時間）、**経由したネットワーク**（異なる ASN の数）、**応答のないホップ**。
経路マップ	プローブ（ビデオウォール PC、水色）と位置を特定したホップを弧で結びます。色は応答時間を示します: 30 ms 未満は緑、120 ms までは黄、それを超えると赤。線は推定位置を結んだもので、実際のケーブルではありません。
経路	PC から宛先（◎）までのすべてのホップを順に、それぞれの時間とともに表示します。「* * *」= 応答なし。
表	**ホップ** · **機器**：役割、アドレス、DNS 名、機器についてわかっている情報 · **ネットワークと場所**：都市、ネットワーク（AS）、組織、ネットワークの種類 · **応答なし**（3 回中、応答のなかったプローブ数）· **平均 RTT**（最小–最大とバー付き）。

機器の役割	**ローカルゲートウェイ**（ネットワークのルーター）、**内部ネットワーク**、**事業者のNAT**、**ご利用の事業者**、**トランジット**、**相互接続点**（IXP）、**宛先のネットワーク**、**宛先**、**トレースルートをブロック**（ファイアウォール）。その下には次の情報が表示されます：WallStatus に設定済みの機器であればその名前（★）、「帯域」タブの機器については SNMP で取得した名前とモデル、ローカルネットワークの機器については MAC アドレスとメーカー、同じホップで応答したほかのルーター、DNS 名（バックボーン、境界、顧客回線、ロードバランサー）やネットワーク（データセンター、モバイルネットワーク）からわかる手がかり。
経路が途中で止まる場合	枠内に、経路がどのホップまで見えているかとその理由（たとえば社内ファイアウォールがテストパケットのインターネットへの送信を許可していない）が表示されます。また、ポート 443 と 80 で宛先への TCP 接続を試します。接続できれば、トレースルートに応答しなくてもサービスには到達できます。

- **レポートをコピー**は結果をテキストとしてコピーし（プロバイダーへの報告に貼り付けられます）、**JSON ↓** はファイルとしてダウンロードします。
- ホップの RTT はそのルーターまでの往復時間であり、そのルーターが追加した遅延ではありません。プローブに応答しない（または応答が遅い）ルーターでも、通常のトラフィックは正常に転送している場合があります。
- Windows では `tracert` を使用します。Mac では ICMP プローブの `traceroute` を使い、宛先に届かない場合は UDP プローブでもう一度試します（より遠くまで届いた結果を採用）。応答のないホップが 6 つ続くとトレースを停止します。完了したトレースは 2 時間参照できます。誰も見ておらず、モニターにも表示されていないトレースは自動的に停止します。

26 外観と企業アイデンティティ

外観タブ（設定権限）では、WallStatus を企業のイメージに合わせられます: ロゴ、名前、フォント、そして管理パネル、Web ビュー、携帯電話、モニター画面、メッセージ、待機ページのすべての色。さらに、モニター上の日付と時刻、物理画面のデスクトップの壁紙も設定できます。



企業テーマを設定した**外観タブ**: アイデンティティ、フォント、テンプレート、色、待機ページ、日付と時刻、デスクトップの壁紙。

企業アイデンティティ

- **会社名**: 管理パネルのロゴの横とページタイトルに表示されます。
- **ロゴ**（png、jpg、svg、webp）: WallStatus のロゴを *すべての場所* で置き換えます — 管理パネル、ログインページ、Web ビューと携帯電話、サーバー・帯域・マップ・Traceroute の画面、待機ページ。鮮明に表示するには、背景が透明な svg、または幅 600 ピクセル以上の png を使用してください。
- **アイコン**: ブラウザーのタブに表示されるアイコン（正方形の png または svg）。

フォント

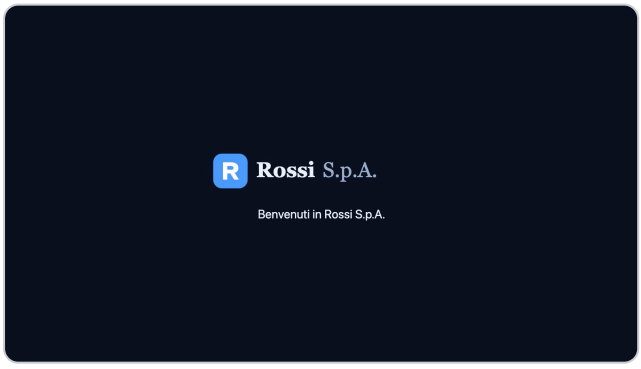
管理パネルとビュー用に 1 つ、モニター画面用（メッセージと時計を含む）に 1 つのフォントを、システムフォントまたはアップロードした**企業フォント**（woff2、woff、ttf、otf）から選択します。サンプル欄で結果をすぐに確認できます。

> **外部サイトでの企業フォント**
>
> モニターに表示される外部の Web ページでは、メッセージと時計が企業フォントを使用するのは、そのフォントがビデオウォール PC のシステムにもインストールされている場合のみです。それ以外はシステムフォントを使用します。WallStatus のページ（画面、待機ページ）では常に使用されます。

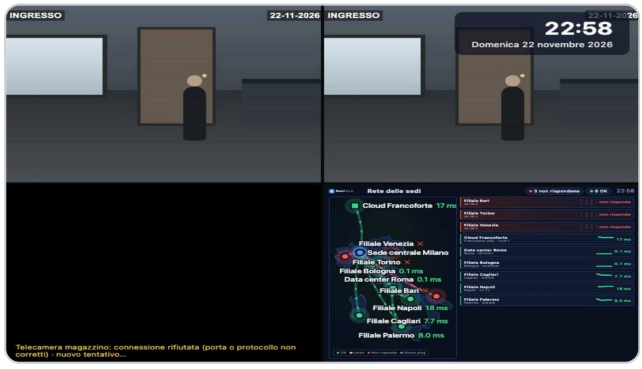
色

- **カラーテンプレート**: WallStatus ダーク（既定）、ライト、ミッドナイトブルー、グラファイト＆オレンジ、コーポレートグリーン、ハイコントラスト。これらは出発点で、その後各色を変更できます。
- **管理パネルとビューの色**: 背景、カード、枠、テキスト、メインカラー（ボタンと選択）、ボタンのテキスト、注意とエラー。プレビューはページ上でライブに反映されます。
- **モニター画面の色**: 背景、枠、境界線、テキスト、状態の色（正常、注意、問題、情報）、マップの陸地と境界、待機ページの背景とテキスト。
- **メッセージの色**: レベルごとの色と見出しのテキスト、メッセージ枠と本文、モニター上に表示されるお知らせ（例:「ローテーション一時停止中」）の色。プレビュー付き。
- 各色はカラーピッカーで選ぶか、コード（例: `#1e7fd0`）を入力します。ライトテーマでは入力欄も明るくなります。

ティッカー（流れる字幕）の色は、モニタータブの専用欄で設定します（第 11 章）。



会社のロゴとテキストを表示した**待機ページ**。



右上に日付と時刻、テーマの色のマップを表示した**モニター**。

待機ページ

有効なコンテンツがないモニターと起動時に表示されるページです。技術的なメッセージの代わりに任意の**テキスト**（例:「ようこそ」）、任意の**背景画像**、画面の色から選んだ色を設定できます。

モニター上の日付と時刻

- **有効**のオン/オフ。**表示するモニター**: すべて、または選択したもののみ（仮想モニターも可）。
- **位置**: 上部または下部の、左・中央・右。時計はすべてのコンテンツの上に表示され、ティッカーバーの上または下に自動的に移動します。
- 日付、曜日、秒、太字。サイズ（画面の高さに対する %）、文字色、背景の色と不透明度（0% = テキストのみ、どの背景でも読めるよう影付き）、フォント。
- プレビューで、時計が実際にどう表示されるかを 16:9 のモニターで確認できます。

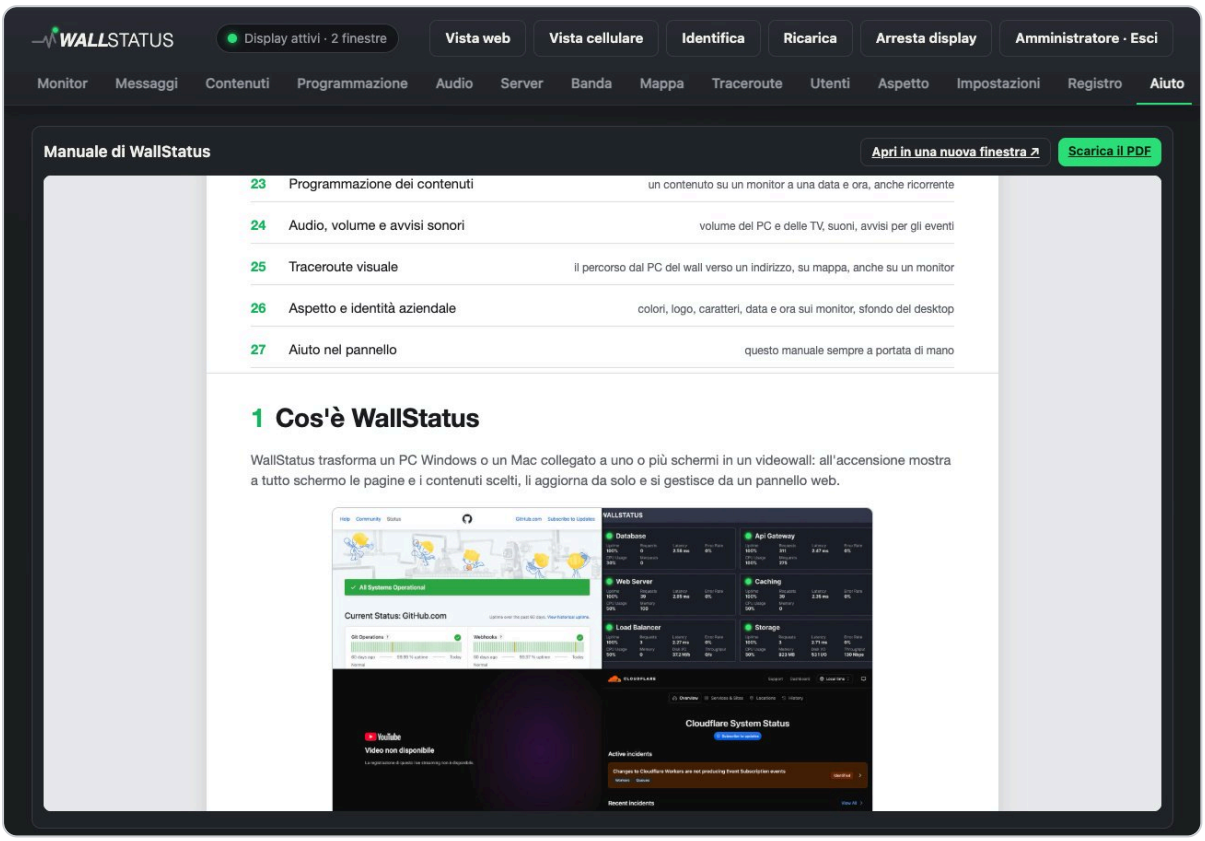
物理画面のデスクトップの壁紙

- 画像をアップロードし、**すべての画面**または必要な画面を選び、**サイズ調整**（全面表示、フィット、拡大、中央、並べて表示、複数の画面に）を選択して**壁紙を設定**を押します。これは OS の壁紙で、ディスプレイが閉じているときや起動中に表示されます。
- **Windows**: 画面ごとに異なる画像を設定できます（別の画像と別の画面で繰り返します）。枠の色は、画面を埋めない画像に適用されます。
- **Mac**: 初回は macOS が WallStatus に「System Events」の制御を許可するよう求めます。壁紙は各画面の現在のデスクトップ（Space）に適用されます。

外観を保存を押すと、アイデンティティ、フォント、色、待機ページ、時計が適用されます。モニター画面は新しい外観で自動的に再読み込みされます。**既定値に戻す**で WallStatus の外観に戻ります。

27 管理パネルのヘルプ

このマニュアルは WallStatus に含まれており、インターネットがなくても、使用中のバージョンに対応した最新版をいつでも参照できます。



ヘルプタブ。管理パネル内のマニュアルと、別ウィンドウで開く・PDF でダウンロードするボタン。

- 管理パネルの**ヘルプ**タブ（管理パネルのすべてのユーザーに表示）：目次と画像付きの完全なマニュアル。
- **新しいウィンドウで開く** ↗: アドレス `http://<indirizzo-del-wall>:8088/help`。管理パネルの横に開いておくと便利です。
- **PDF をダウンロード**: 印刷や送付用の *Manuale WallStatus.pdf* ファイル（`/help/manuale.pdf`）。

同じ PDF は Windows と Mac のインストールパッケージにも含まれています。

28 PC を共有

ネットワーク上のどの PC でも、ブラウザーでリンクを開くだけで、ウォールのモニター（仮想も含む）に自分の画面を表示できます。インストールは不要です。これは**テスト中**のタブで、「プレビュー」オプションを持つ管理者にのみ表示されます。

仕組み

1. **タブを有効にする**
   「マップ」「トレースルート」と同様に、**PC を共有**タブは*プレビュー*オプションを有効にした管理者にのみ表示されます（ユーザータブ）。
2. **モニターを許可する**
   宛先モニター（モニタータブ）で**画面共有を受け入れる**をオンにします。誤ってモニターが占有されないよう、既定ではオフです。
3. **サービスを設定する**
   タブで: サービスを有効にし、**リンクのパス**（既定は `/share`。推測されにくいものに変更）、専用の**ユーザー名とパスワード**、宛先**モニター**、**最長時間**、**音声**を許可するかどうかを設定します。
4. **リンクを渡す**
   共有する人はコンピューターの Chrome、Edge、Firefox で `https://<ウォールのアドレス>:8088/<パス>` を開き、ユーザー名とパスワードを入力し、**画面を共有**を押して画面またはウィンドウを選びます。
5. **モニター上**
   内容が一時停止し、共有された画面が表示されます。共有終了時にモニターは自動的に元に戻ります。

> **HTTPS が必要**
> ブラウザーは安全なページからしか画面を共有できないため、リンクは **https** です。WallStatus が自ら証明書を生成します（有効期間 10 年、自動更新）。各 PC は初回に警告を表示します: **詳細設定** → **続行**（一度だけ）。警告を完全に消すには、会社の証明書を読み込めます。

開始・終了・制限

- 共有は、共有側 PC の**停止**、ページを閉じる、パネルからの**停止**、または**最長時間**に達することで終了します。
- 共有できるのは**一度に 1 画面**です。最初の共有が終わるまで、2 回目は拒否されます。
- スマートフォンやタブレットは共有できません（ブラウザーが対応していません）。最新のブラウザーを備えたコンピューターが必要です。
- 各共有（開始、終了、ログイン試行）はログに記録されます。

ポート切替器を通じて

共有は**ポート切替器**（第 19 章）経由でも機能します。HTTPS の通信はパネルに転送されます。タブには直接リンクと切替器ポートのリンクの両方が表示されます。

> **セキュリティ**
> この機能は、パスワードを知っている人が許可されたモニターに任意のものを表示できるようにします。不要なときはオフにし、強いパスワードを使い、**最長時間**を設定し、必要なモニターだけを許可してください。管理は管理者のみです。

近日公開: 会社のポリシーで制限されブラウザーから共有できない PC 向けの、Windows・Mac 用の**ダウンロード版クライアント**（オプション B）。管理者権限は不要です。

29 パネルからの更新

設定タブから、新しいバージョンの ZIP をアップロードして WallStatus を更新できます。WallStatus はそれを検証し、バックアップを残したうえで終了し、更新された状態で再起動します。**試験中のタブ**で、プレビュー オプションを持つ管理者だけに表示されます。

仕組み

1. **更新 ZIP をダウンロード**
   各バージョンには `WallStatus-<バージョン>-update-windows.zip`（または `-mac.zip`）というファイルがあります。軽量で、プログラムとバージョン・署名を含む確認用ファイルだけが入っています。
2. **タブを開く**
   設定 → **WallStatus を更新**を開きます。このタブは、地図や Traceroute と同様に、*プレビュー* オプションが有効な管理者にのみ表示されます（ユーザータブ）。
3. **アップロードして検証**
   ZIP を選ぶを押してファイルを選びます。WallStatus は、それが WallStatus のもので、正しいシステム用で、破損していない（各ファイルの署名）ことを確認し、どのバージョンからどのバージョンへ移行するかを表示します。
4. **インストールして再起動**
   インストールして再起動を押します。WallStatus は現在のバージョンのバックアップを取り、終了して新しいバージョンで再起動します。ディスプレイは数秒間消え、ページは自動的に再読み込みされます。

> **何も失われません**
> 設定、ユーザー、コンテンツ、パスワード、自動起動はそのまま残ります。直近 3 バージョンのバックアップがデータフォルダ（ `update/backup` ）に保存され、必要なら元に戻せます。

うまくいかないとき

- アカウントがプログラムのフォルダに書き込めない場合、タブにその旨が表示され更新は始まりません。権限のあるアカウントか手動更新を使ってください。
- 置き換えに失敗した場合、以前のバージョンはそのまま残り、WallStatus は元の状態で再起動します。
- 手動更新（Windows の*WallStatus を更新*スクリプト、Mac の新しい DMG）はいつでも利用できます。

> **注意**
> WallStatus の公式更新 ZIP だけをアップロードしてください。署名チェックは破損ファイルや無関係なファイルを防ぎますが、更新は実行中のプログラムを置き換えます。この機能は管理者専用です。